安全にお使いいただくために

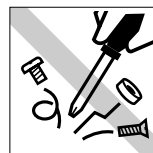
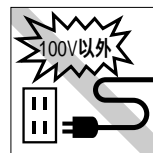
本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。
本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
本書および製品添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

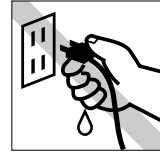
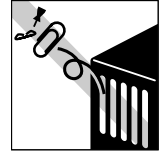
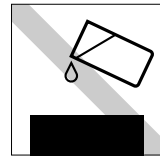
⚠警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

安全上のご注意

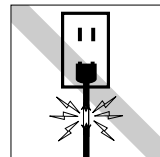
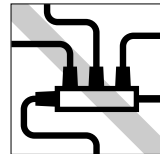
⚠警告

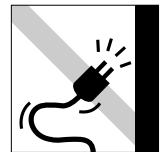
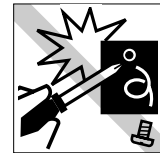
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源ケーブルをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンサービスセンターにご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。

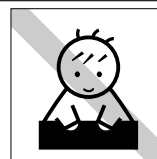
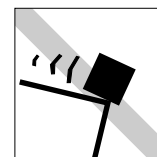
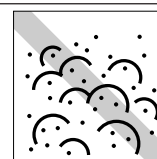
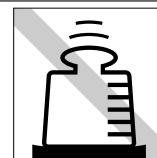
（取扱説明書で指示されている以外の）分解や改造はしないでください。
けがや感電・火災の原因となります。

表示されている電源（交流100ボルト）以外は使用しないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

⚠警告

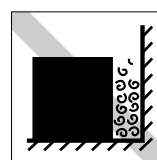
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜き、販売店またはエプソンサービスセンターにご相談ください。

破損した電源ケーブルを使用しないでください。感電・火災の原因となります。
電源ケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。

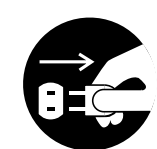
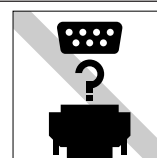
- **電源ケーブルを加工しない**
- **電源ケーブルの上に重いものを乗せない**
- **無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない**
- **熱器具の近くに配線しない**

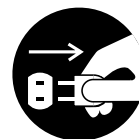
電源ケーブルが破損したら、販売店またはエプソンサービスセンターにご相談ください。

電源ケーブルのたこ足配線はしないでください。
発熱し火災の原因となります。
家庭用電源コンセント（交流100ボルト）から電源を直接取ってください。

電源プラグの取り扱いには注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となります。
電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

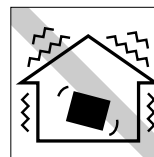
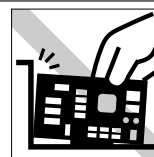
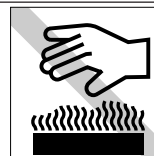
- **電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない**
- **電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む**

取扱説明書で指示されている以外の分解は行わないでください。安全装置が損傷し、プリントヘッド部分の異常加熱・感電などの事故の危険があります。

⚠注意

小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。

本製品の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。
次のような場所には設置しないでください。

- **押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ**
- **じゅうたんや布団の上**
- **毛布やテーブルクロスのような布をかけない**

また、壁際に設置する場合は、壁から10cm以上のすき間をあけてください。

連休や旅行等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災のおそれがあります。

⚠注意

本製品を移動する場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。

本製品は重いので、開梱や移動する場合一人で運ばないでください。必ず2人以上で運んでください。

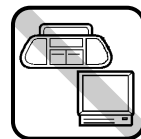
他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。落下によって、そばにいる人がケガをするおそれがあります。

オプション類を装着するときは、表裏や前後をまちがえないでください。まちがえて装着すると、故障の原因となります。**取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。**

使用中に、プリンタカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。高温になっているため、火傷のおそれがあります。

設置上のご注意

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
水 平		5〜35℃ 10〜80%

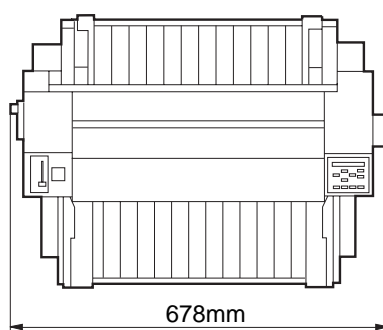
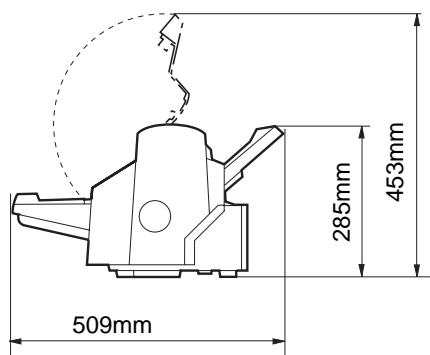
本プリンタは精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

直射日光の当たる場所	ほこりや塵の多い場所	温度変化の激しい場所
湿度変化の激しい場所	火気のある場所	水にぬれやすい場所
揮発性物質のある場所	冷暖房機具に近い場所	震動のある場所
加湿器に近い場所		

- **テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。**
- **静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電防止マットや加湿器などを使用して、静電気の発生を防いでください。**

取り扱い上の注意

- 用紙やリボンカートリッジが取りつけられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中はプリンタカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源を切らないでください。
- インクリボンがたるんだ状態でリボンカートリッジを使用しないでください。

設置スペース

用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。本プリンタの外形寸法は次のとおりです。

ポイント

前から給紙された単票用紙は、プリンタの後部まで送られます。用紙の動きが妨げられないようにプリンタ後方のスペースを確保してください。

本書の構成

もくじ

安全にお使いいただくために

本書の構成

ご使用のまえに

給紙の方法

操作パネルの使いかた

オプションの使いかた

保守のしかた

困ったときは

付録

●本書中のマークについて

マークが付いている文章は次のように重要な注意事項を掲載しています。
必ずお読みください。

マーク	説明
⚠警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。
	この表示はお取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）を記載しています。必ずお読みください。

Microsoft® Windows® operating system Version3.1 日本語版
Microsoft® Windows®95 operating system 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system 日本語版
の表記について

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Microsoft Windows3.1またはWindows3.1、Microsoft Windows95またはWindows95、Microsoft WindowsNTまたはWindowsNTと表記しています。また、Windows3.1、Windows95の総称として「Windows」と表記する場合があります。

ご使用のまえに

ここでは、本書の活用方法、プリンタの簡単な解説、各部の名称と働きを説明しています。

●本機の特長

本プリンタは、双方向通信機能を備えたエプソン最新の24ピン漢字プリンタです。オプションのインターフェイスカードを装置することにより様々なネットワーク環境で使用できます。もちろん、従来のVPシリーズとの互換性を受け継ぎ、オフィスで必要とされる高速、高性能、高品位を兼ね備えています。おもな特長は以下のとおりです。

●各種用紙に対応

連続紙や単票用紙をはじめ、複写紙、ハガキ、ラベル、紙ホチキス紙、封筒などさまざまな用紙が使用できます。カットシートフィーダ（オプション）を取りつけ、単票用紙の連続印刷ができます。

●自動紙厚調整機能

使用する用紙の紙厚を自動検出し、紙厚に適した印字を行います。

●便利な給紙機構

単票用紙をプリンタの手前側と後ろ側の両方から給紙できます。

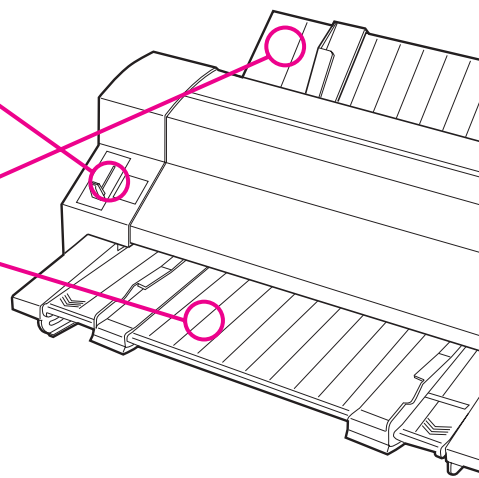
●マルチウェイローディング機構

連続紙をセットしたままの状態で単票用紙が使用できます。

●コピー能力の強化

複写モード（濃い）を設定することにより、オリジナル＋6枚コピーの複写が可能です。

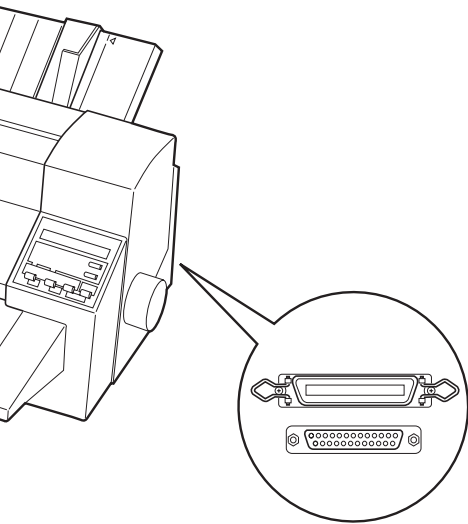
●ESC/Pスーパー機能

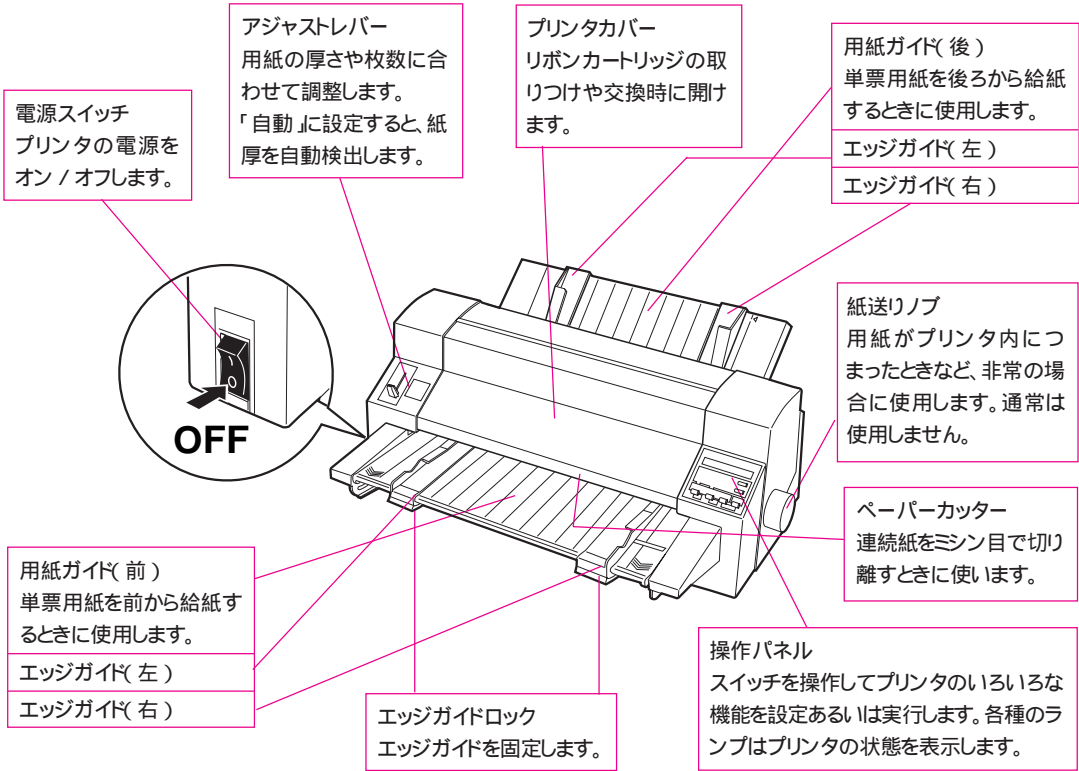
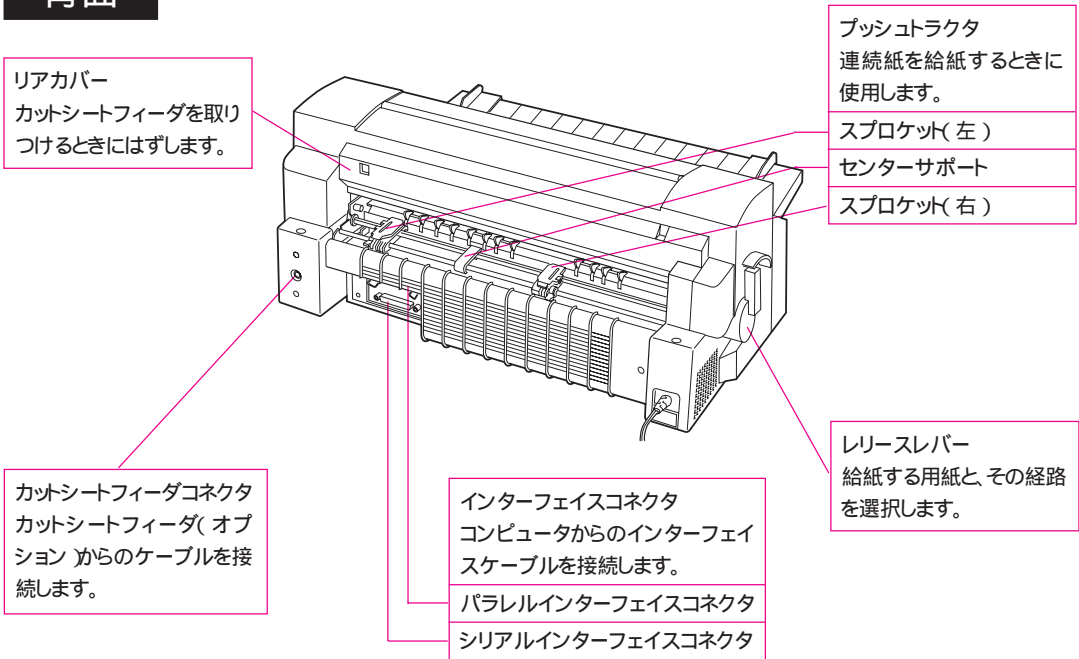
ESC/Pスーパー機能により、エプソン24ドット漢字プリンタ用アプリケーションソフトに加えて、NECプリンタPC-PRシリーズ用のアプリケーションソフトも使用できます。

●専用プリンタドライバ
プリンタの機能をフルに活かすWindowsの専用プリンタドライバ（Windows3.1、Windows95、WindowsNT）を添付しています。

●便利なユーティリティソフト
◇EPSONプリンタウインドウ!2
Windows95環境においてプリンタの状態をモニタすることができます。
◇用紙登録ユーティリティ
Windows95環境において使用する用紙の情報を登録することができます。いったん登録すると操作パネルから用紙番号を呼び出して設定することが可能です。
◇EPSON Remote!
MS-DOS環境およびNetWare環境において、コンピュータからプリンタの各種設定を変更することができます。

●Networkに対応
オプションのインターフェイスカードを装着することにより、NetWareやEtherTalkなどの各種ネットワーク環境下で使用できます。

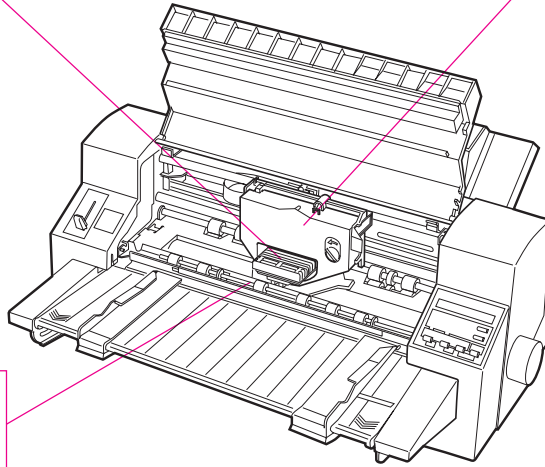
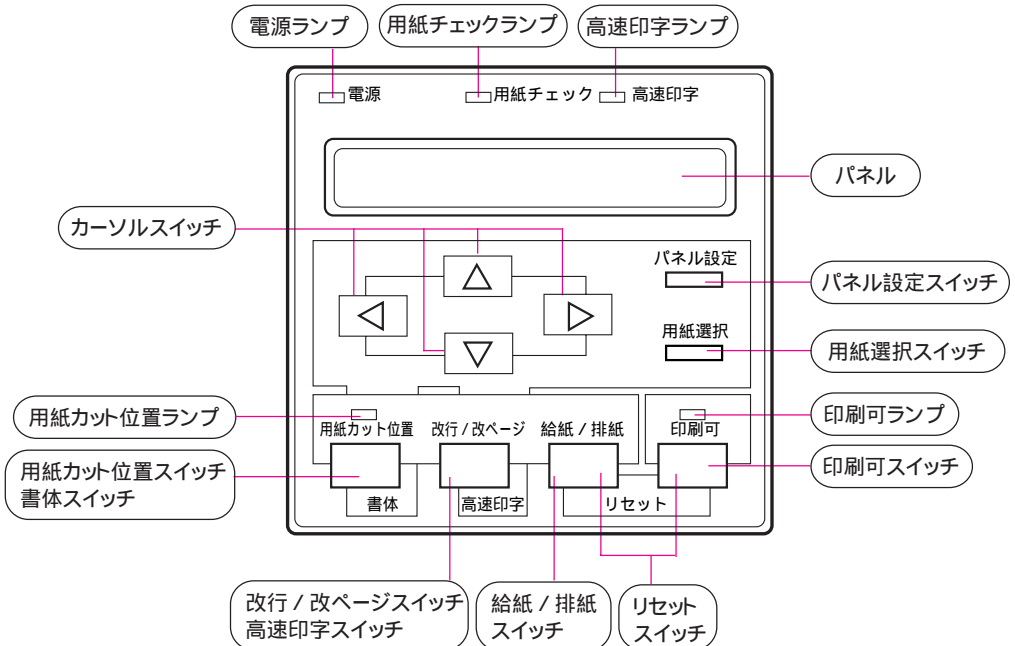
●各種コンピュータに対応
エプソンPCシリーズ、NECPC9800シリーズ、IBMPCシリーズ、東芝J-3100シリーズ、各社AX仕様パソコンおよびDOS/V対応パソコンに接続 対応します。また、アップルコンピュータ社Macintoshシリーズに接続するためのオプションも用意しています。

●インターフェイス自動選択機能
インターフェイス自動選択機能により、オプションのインターフェイスカードを装着した場合に、標準のインターフェイスと同時に接続することができます。データを受信したインターフェイスをプリンタが自動的に判断して使用するインターフェイスを切りかえます。

●各部の名称と働き

全体正面図

内部

プリントヘッド
印刷をする部分です。精密部品ですので、ネジを緩めたり分解したりしないでください。
リボンカートリッジ
印字するためのインクリボンを収めたものです。印字が薄くなったらリボンカートリッジを交換してください。
用紙押さえローラ
用紙を押さえるためのローラです。

操作パネル

電源ランプ
用紙チェックランプ
高速印字ランプ
電源
用紙チェック
高速印字
パネル
カーソルスイッチ
パネル設定
パネル設定スイッチ
用紙選択
用紙選択スイッチ
用紙カット位置ランプ
用紙カット位置
改行／改ページ
給紙／排紙
印刷可
印刷可ランプ
用紙カット位置スイッチ
書体スイッチ
書体
高速印字
リセット
印刷可スイッチ
改行／改ページスイッチ
高速印字スイッチ
給紙／排紙
スイッチ
リセット
スイッチ

●付属品の取りつけ

プリンタの付属品を取りつけます。付属品の取りつけは、プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してから行ってください。

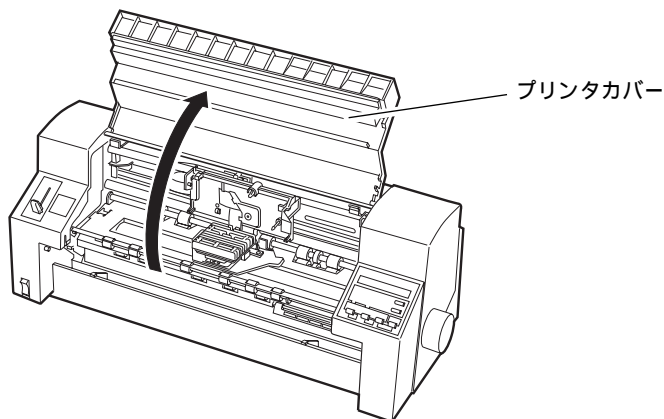
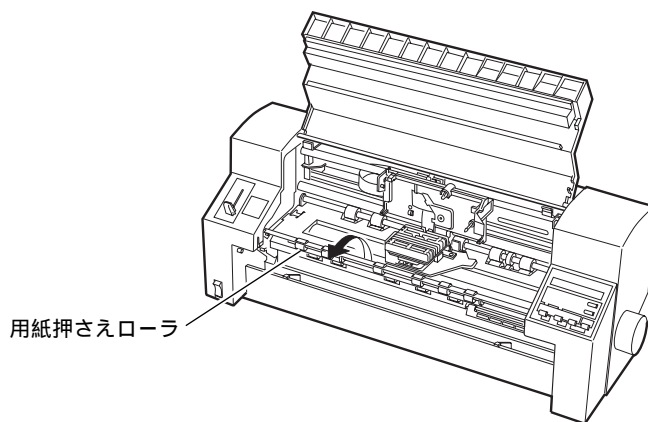
リボンカートリッジの取りつけ

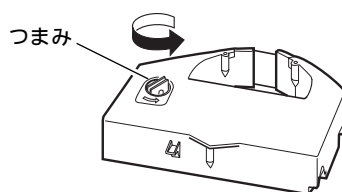
注意

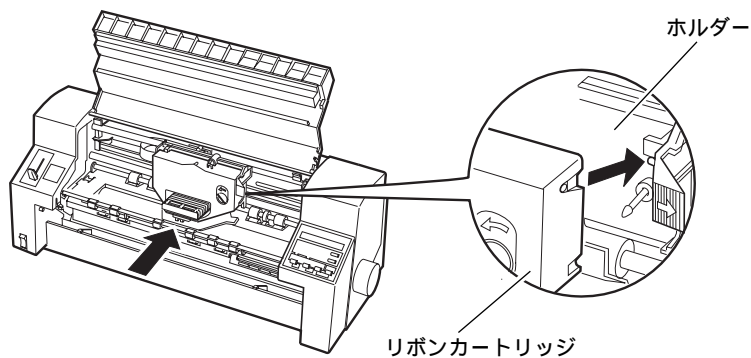
- リボンカートリッジを取りつける前に必ず電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。

⚠注意

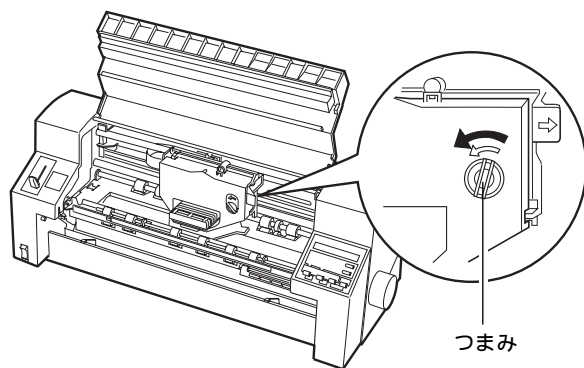
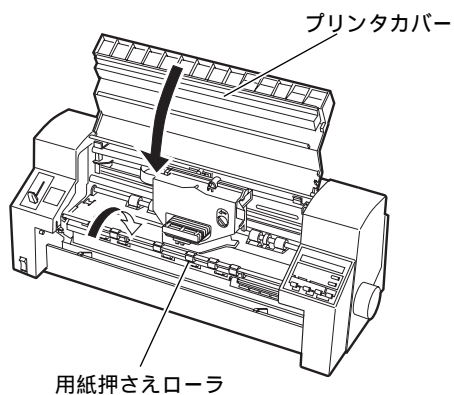
プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

ステップ **1** **プリンタカバーを開けます。**

ステップ 2 用紙押さえローラを手前に倒します。

ステップ 3 リボンのたるみを取ります。

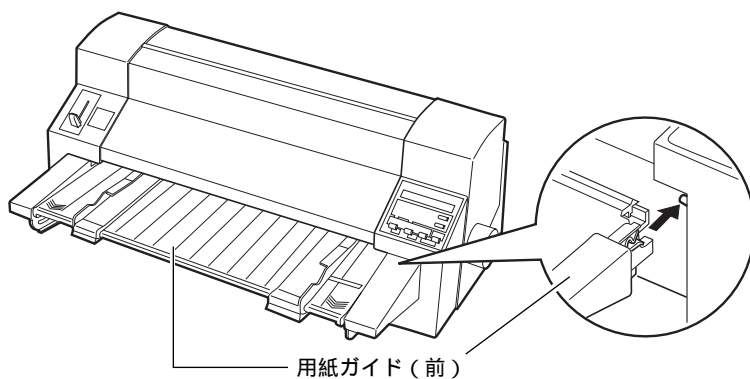
ツマミを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。

ステップ 4 リボンカートリッジを取りつけます。

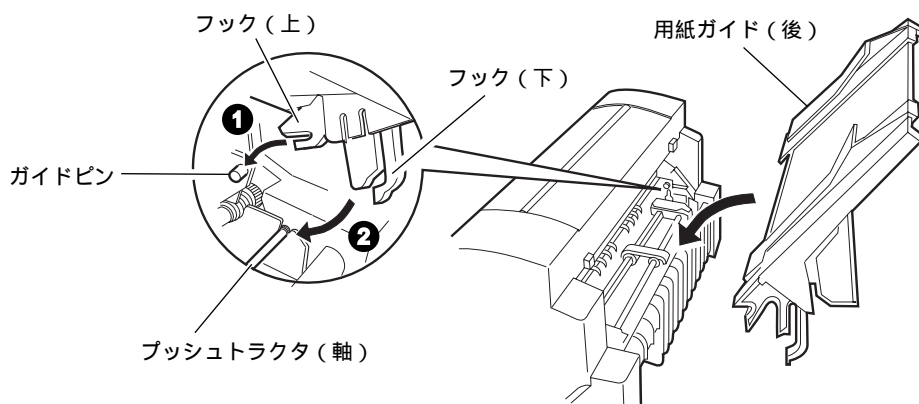
リボンカートリッジを両手で持ち、プリントヘッドの下にリボンを通します。カートリッジ上側両端の穴をホルダー左右の突起に合わせてはめこみます。

カートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確かめてください。

ステップ 5 リボンのたるみを取ります。

再びリボンカートリッジのツマミを矢印方向に回してリボンのたるみを取ります。
リボンが自由に動くのを確認してください。

ステップ 6 用紙押さえローラを閉じてから、プリンタカバーを閉じます。

用紙ガイドの取りつけ

ステップ **1** **用紙ガイド（前）を取りつけます。**

用紙ガイドを両手で持ちます。用紙ガイド左右両端のフックを、プリンタの固定ピンにしっかり差し込みます。

ステップ **2** **用紙ガイド（後）を取りつけます。**

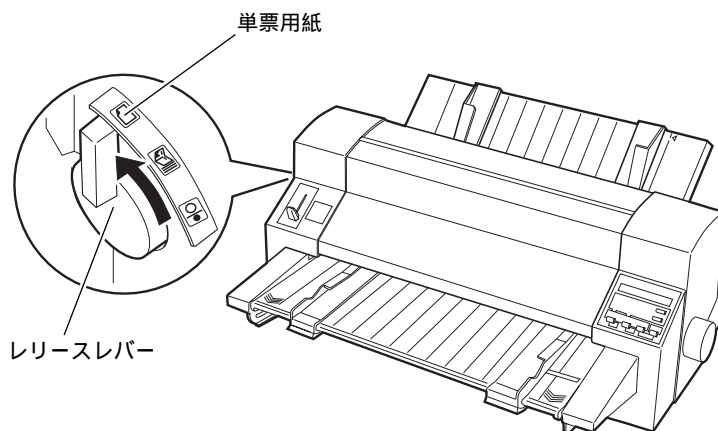
用紙ガイドを両手で持ちます。フック（上）をガイドピンにつきあたるまで差し込み、下に押してフック（下）をプッシュトラクタの軸にかけます。

●動作の確認

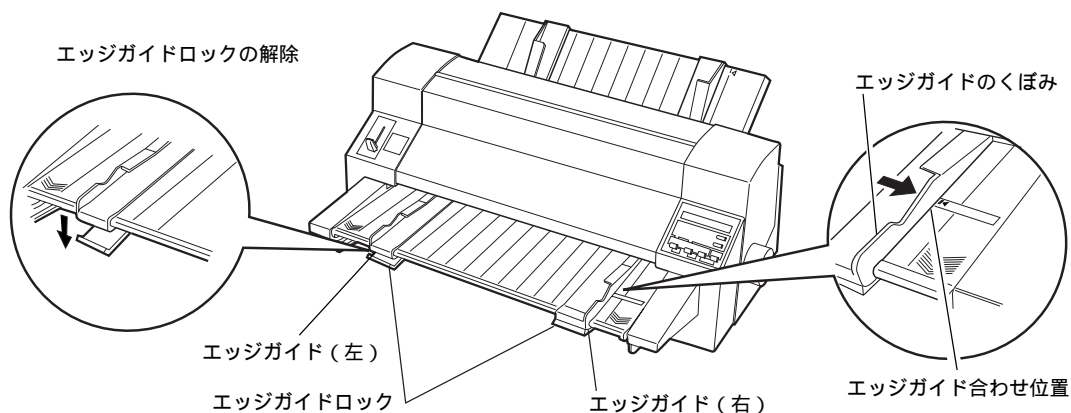
付属品の取りつけが終わったら、プリンタの動作や印刷を確認します（これをセルフテストといいます）。セルフテストはコンピュータとは接続しない状態で行います。

> **⚠警告**
>
> ・「安全にお使いいただくために」（iページ）をお読みのうえ、プリンタを正しく取り扱いください。
>
> ・AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。感電、火災、故障の原因となります。

ステップ **1** **電源スイッチをオフにします。**

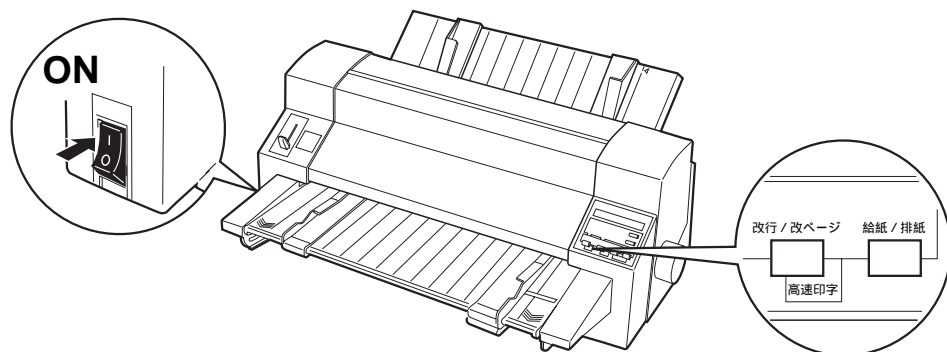
ステップ **2** **電源プラグをコンセントに差し込みます。**

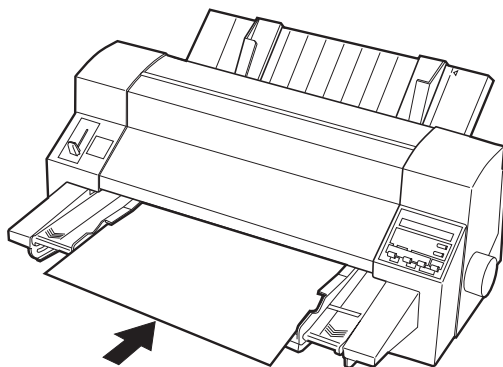
ステップ **3** **レリースレバーを単票用紙位置にします。**

ステップ 4 エッジガイド位置を調整します。

エッジガイドロック（左右）を解除します。
エッジガイド（右）を用紙ガイドのマーク（▶◀）に合わせ、エッジガイド（左）を使用する用紙の幅に合わせます。エッジガイドは、エッジガイド内側（手前部）のくぼみに指をそえてスライドさせるとスムーズに動きます。位置が決まったらエッジガイドロックを上にして固定します。

ポイント

> **左右のエッジガイドの間で用紙がなめらかに動くように、エッジガイドの位置を合わせてください。**

ステップ 5 電源スイッチをオンにします。

［改行／改ページ］スイッチを押しながら電源スイッチをオンにすると、英数カナ文字モードで印刷します。
［給紙／排紙］スイッチを押しながら電源スイッチをオンにすると、漢字モードで印刷します。
用紙チェックランプが点灯します。

ステップ 6 用紙を手差し給紙して、セルフテストを実行します。

エッジガイドに沿って用紙を入れます。用紙の先端が突き当たるまで入れると、自動的に給紙してセルフテストを実行します。

印刷中に[印刷可]スイッチを押すと印刷は停止します。もう一度押すと印刷を再開します。用紙は手前に排紙されます。一枚目の印刷が終了し続いて二枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙をセットすると自動的に印刷します。

印刷結果の例は次のようになります(一部抜粋してあります)。

(漢字モード)

(英数カナ文字モード)

ステップ **7** **セルフテストを終了します。**

セルフテストは印刷を止めるまで繰り返し印字を行います。
印刷可 スイッチを押して印刷を止め、電源スイッチをオフにします。

プリンタの電源スイッチをオフにしてから再びオンにするときは、最低5秒待ってからオンにしてください。オン・オフの間隔が短かすぎるとプリンタの電源部が故障する恐れがあります。

プリンタ内に用紙が残っているときは、電源スイッチをオフにする前に 給紙／排紙 スイッチを押して用紙を排紙してください。

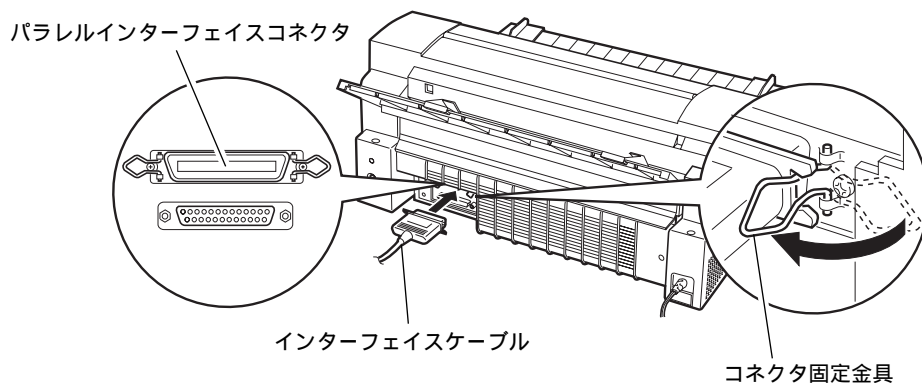
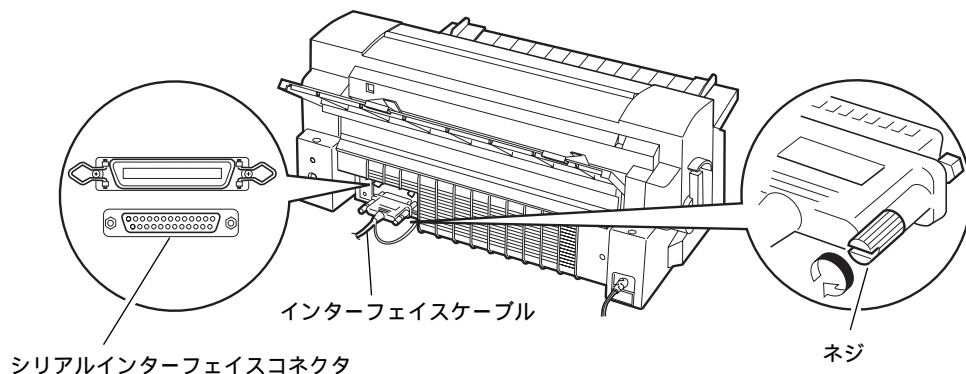
●コンピュータとの接続

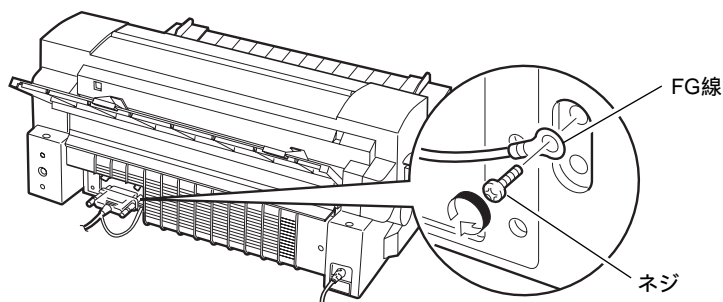
コンピュータの機種に応じたインターフェイスケーブル（オプション）を使って、プリンタとコンピュータとを接続します。「インターフェイスケーブル」（58ページ）を参照して、使用するコンピュータに合ったケーブルを用意してください。

ステップ **1** **電源スイッチをオフにします。**

プリンタの電源スイッチとコンピュータの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

ステップ **2** **インターフェイスケーブルをプリンタに接続します。**

【パラレルインターフェイスの場合】
インターフェイスケーブルをプリンタのインターフェイスコネクタにしっかり差し込み、左右のコネクタ固定金具を内側に倒して固定します。

【シリアルインターフェイスの場合】
インターフェイスケーブルをプリンタのインターフェイスコネクタにしっかり差し込み、コネクタ両側のネジを締めます。

ステップ **3** **FG線を接続します。**

インターフェイスケーブルにFG線（グランド線）がついているときは、コネクタの横にあるFG線取りつけネジを使って接続します。

ステップ **4** **インターフェイスケーブルをコンピュータに接続します。**

インターフェイスケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。

ステップ **5** **プリンタの電源スイッチをオンにしてから、コンピュータの電源スイッチをオンにします。**

●ソフトウェアのプリンタ設定

ほとんどのアプリケーションソフトでは、プリンタの選択・設定をする項目があります。プリンタの機能に合わせた印刷をするために、次の説明を参照して適切なプリンタを選択してください(具体的な設定方法は、ご使用になるソフトウェアの取扱説明書を参照してください)。

DOS のアプリケーションソフトで使う場合

日本版ソフトウェアでの設定

次の表の中の複数のプリンタが設定画面に表示されるときは、優先順位の高いものを選択してください。

優先順位	プリンタ名
1	VP-4200
2	VP-4100/4000
3	FBP-3000
4	ESC/P24-J84
5	VP-1047/1700
6	ESC/P24-J83

上の表のプリンタ名を選択しても正しく印刷できないときは、プリンタのESC/PスーパーをOFFに設定してください(「プリンタの設定値変更」45ページ参照)。

ソフトウェア上に上の表のプリンタ名がないときには、次の表から選択します。

優先順位	プリンタ名
1	VP-135K(PC)
2	VP-130K(PC Ⅱ)
3	VP-130K(PC)
4	PC-PR201H

- **上の4種類の中からプリンタを選択したときは、ESC/PスーパーをONにしてください(「プリンタの設定値変更」45ページ参照)。**
- **用紙の給紙位置はソフトウェアで選択したプリンタによって異なります。**

海外版ソフトウェアでの設定

次の優先順位に従ってプリンタを選択してください。

優先順位	プリンタ名
1	DLQ-3000
2	LQ-1170
3	LQ-1070
4	DLQ-2000
5	LQ-2550

ポイント

- **ESC/PスーパーはOFFに設定してください（「プリンタの設定値変更」45ページ参照）。**
- **文字コード表は拡張グラフィックスコード表に設定してください（「プリンタの設定値変更」45ページ参照）。**
- **カラー印刷をする場合は、DLQ-3000、DLQ-2000、LQ-2550のいずれかを選択してください。**
- **エプソンの9ドットプリンタ（EX、FX、RX、MXシリーズなど）は選択しないでください。**

EPSON Remote!の組み込み

プリンタ機能の基本的な設定は、DOSのアプリケーションで行います。DOSアプリケーション上で設定できないプリンタ機能の設定は、パネル設定ユーティリティEPSON Remote!から行うことができます。EPSON Remote!の詳細は136ページを参照してください。

Microsoft Windows3.1 で使う場合

本プリンタをMicrosoft Windows3.1で使用する場合は、添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMでWindows3.1用プリンタドライバを組み込んでください。組み込み方法は、添付のプリンタドライバの取扱説明書を参照してください。

Microsoft Windows95 で使う場合

本プリンタをMicrosoft Windows95で使用する場合は、添付のCD-ROMでWindows95用のプリンタドライバを組み込んでください。
組み込み方法は、添付のプリンタドライバの取扱説明書を参照してください。
Windows95環境において、プリンタの状態をモニタするEPSONプリンタウインドウ!2と用紙情報を登録するための用紙登録ユーティリティを添付しています。詳細はソフトウェア取扱説明書（EPSONプリンタウインドウ!2・用紙登録ユーティリティ）を参照してください。

Microsoft WindowsNT3.5x で使う場合

本プリンタをMicrosoft WindowsNT3.5xで使用する場合は、添付のCD-ROMでWindowsNT3.5x用のプリンタドライバを組み込んでください。
組み込み方法は、添付のプリンタドライバの取扱説明書を参照してください。

Microsoft WindowsNT4.0 で使う場合

本プリンタをMicrosoft WindowsNT4.0で使用する場合は、添付のCD-ROMでWindowsNT4.0用のプリンタドライバを組み込んでください。組み込み方法は、添付のプリンタドライバの取扱説明書を参照してください。

Macintosh シリーズコンピュータで使う場合

本プリンタをMacintoshシリーズのコンピュータに接続して使用するには、以下のオプションのいずれかが必要です。
オプションには、エプソン製プリンタ用のプリンタドライバEPSON Print!2が添付されています。お使いのMacintoshにEPSON Print!2をインストールし、プリンタドライバを選択してください。

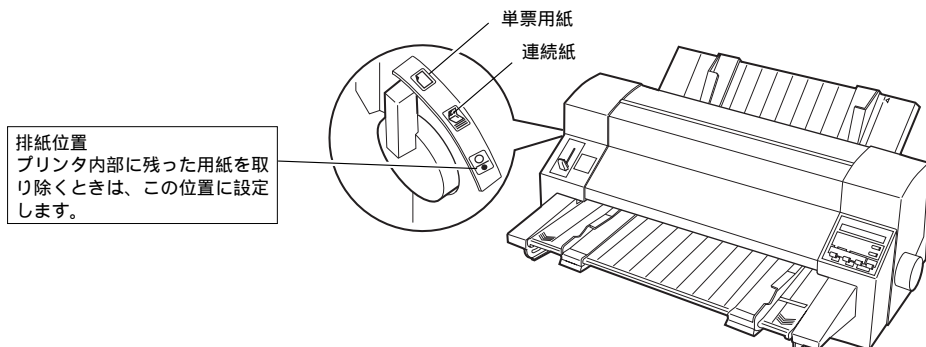
オプション型番	プリンタドライバ
ELINK3	EX-24ESC/P
LTIFS2	AT-24ESC/P
PRIF8S	AT-24ESC/P
PRIF10N	AT-24ESC/P

使用方法は、各オプションの取扱説明書を参照してください。

給紙の方法

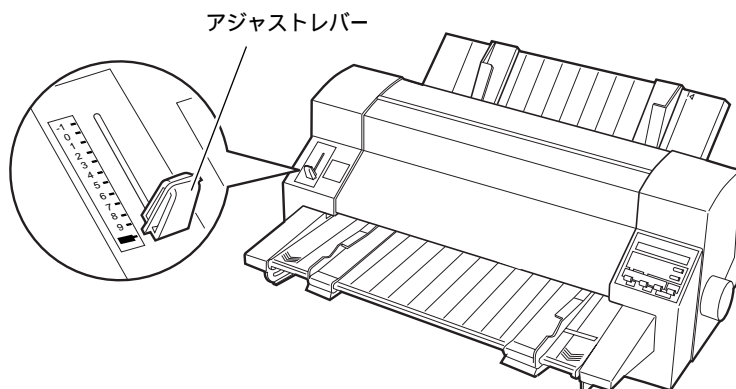
ここでは、プリンタを日常的に使う上で理解しておいていただきたい給紙方法について説明しています。

●レリースレバーと給紙経路

本プリンタでは、プリンタの前後に給紙装置を備え、マルチウェイローディング機構により連続紙をセットしたままの状態で単票用紙の給紙ができます。
給紙する用紙の種類や給紙経路はレリースレバーで選択します。

使用する用紙と給紙経路

	給紙経路	レリースレバーの設定位置	給紙方法
連続紙	排紙 給紙	（連続紙）	プッシュトラクタから連続紙を給紙します。
単票用紙	前から給紙 排紙 給紙	（単票用紙）	用紙ガイド（前）から用紙を手差し給紙します。
	後ろから給紙 排紙 給紙	（単票用紙）	用紙ガイド（後）から用紙を手差し給紙します。
	CSF 給紙 排紙	（単票用紙）	カットシートフィーダ（オプション）から用紙を自動給紙します。

●アジャストレバーの設定

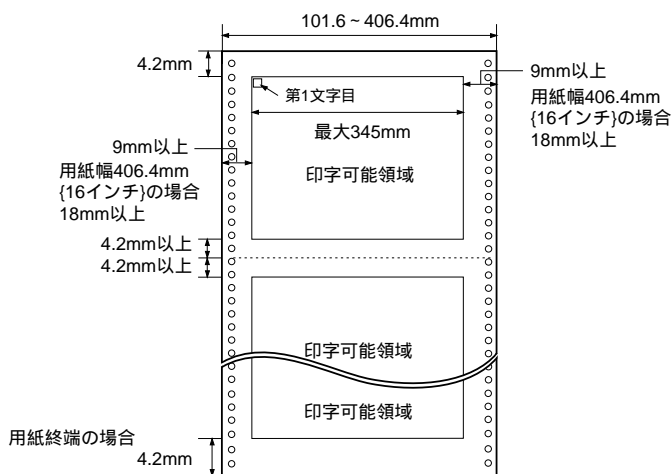
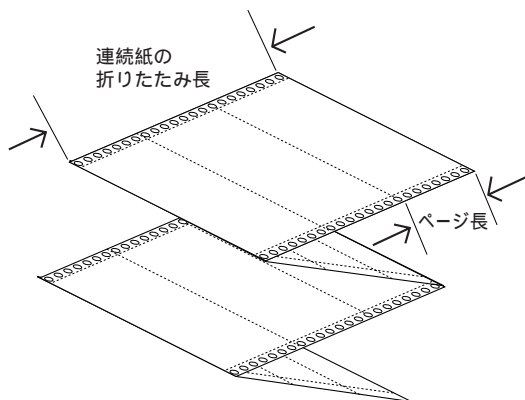
通常、アジャストレバーは「自動」に設定しておきます。「自動」に設定しておくと、給紙された用紙の紙厚に最適な印字をします。
特殊用紙などに印刷する場合に印字濃度が薄かったりばらつく場合にはアジャストレバーの設定が必要です。用紙の厚さに対して最適な設定値に設定してください。アジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。設定値が小さすぎると、リボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。サンプル印刷をしてから設定値を決定することをお薦めします。

用紙の種類		アジャストレバーの設定値
連続紙（1枚紙） 単票用紙		0～1
連続紙（複写紙） 単票複写紙	2枚	1
	3枚	2
	4枚	3
	5枚	4
	6枚	5
	7枚	6
ハガキ		3
封筒		4～9
ラベル		2～3

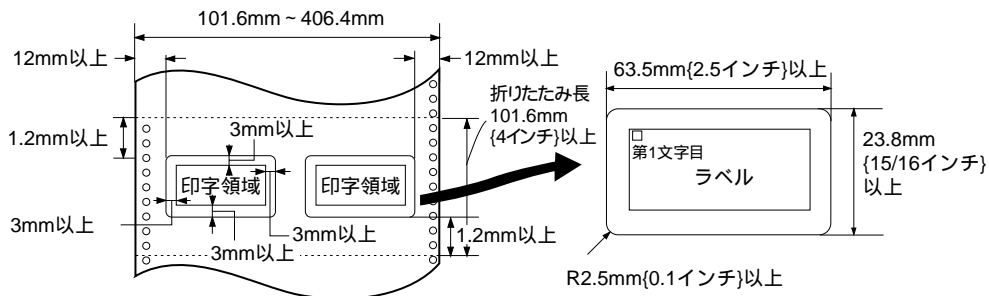
複写モードを使用する場合は、アジャストレバーを3以上に設定してください。
「自動」に設定している場合は、用紙厚が0.2mmを越えると複写モードになります。

●使用できる用紙

本プリンタは、一般的な連続紙や単票用紙のほかに複写紙やラベル紙、紙ホチキス紙、さらに封筒、ハガキなどの特殊用紙も使用できます。ここでは、代表的な用紙について仕様の一部を説明しています。さらに詳しい説明については付録「用紙仕様」（105ページ）を参照してください。カットシートフィーダで使用できる用紙の詳細については64ページをお読みください。
また、用紙を正しくお使いいただくために「紙づまりの防止」（84ページ）を一読されることをお薦めします。

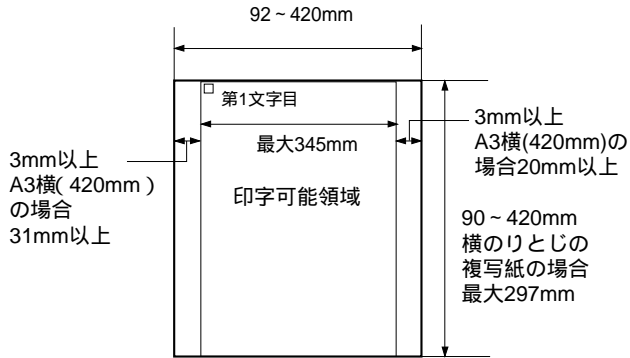
連続紙

・ プッシュトラクタから給紙します。
・ 上質紙あるいは再生紙を使ってください。

ページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）101.6mm｛4インチ｝未満で使用する場合、用紙の折りたたみ長は101.6mm｛4インチ｝以上の用紙をお使いください。図には、ページ長3インチ折りたたみ長9インチの連続紙の例を示します。

ラベル

・ プッシュトラクタから給紙します。
・ 連続紙タイプのものを使ってください。
・ ラベル紙および台紙は、上質紙のものを使ってください。
・ 一般室温環境で使用してください。

ポイント

・逆方向への紙送りはしないでください。
・自動ティアオフ機能はオフに設定してください（45ページ参照）。
・ラベル用紙を印刷しない場合は排紙しておいてください。

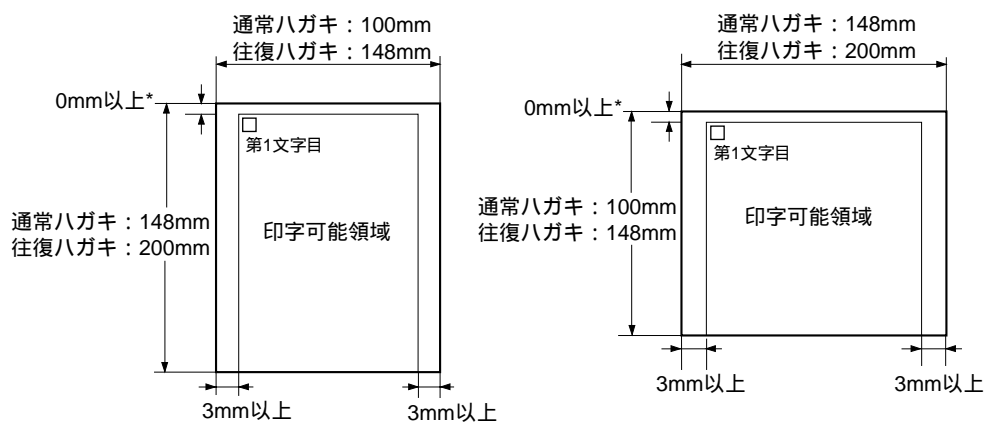
単票用紙

・ 用紙ガイド（前後）またはカットシートフィーダ（オプション）から給紙します。
・ 上質紙あるいは再生紙を使ってください。
・ 再生紙は一般室温環境で使用してください。

使用できる定型用紙

用紙サイズ	前から給紙 用紙ガイド（前）		後ろから給紙 用紙ガイド（後）		カットシートフィーダ （オプション）	
	一枚紙	複写紙	一枚紙	複写紙	一枚紙	複写紙
A3（297×420mm）	○	○	○	○	横長	横長
A4（210×297mm）	○	○	○	○	○	○
A5（148×210mm）	○	○	○	○	○	○
A6（105×148mm）	○	○	○	○	○	○
B4（257×364mm）	○	○	○	○	○	○
B5（182×257mm）	○	○	○	○	○	○
B6（128×182mm）	○	○	○	○	○	○

○　：縦長または横長にセットしてください。
横長：横長にセットしてください。

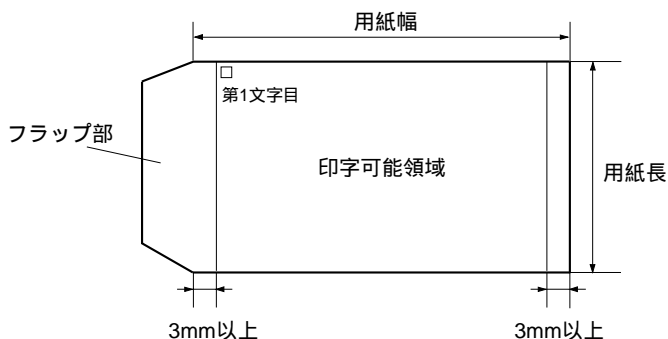
ハガキ

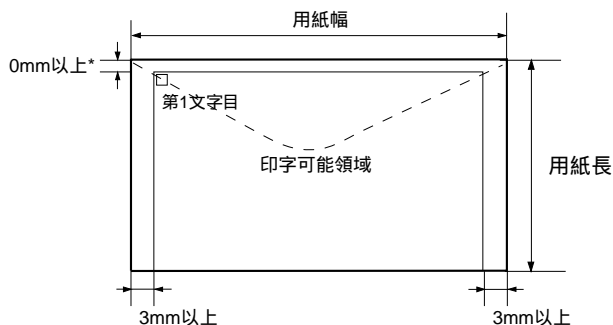
- 用紙ガイド（前後）またはカットシートフィーダ（オプション）から給紙します。
- 官製ハガキまたは通常ハガキを使ってください。
- 往復ハガキは、用紙中央に折り跡がないものを使ってください。
- ハガキモードを設定してから印刷してください。（38ページ参照）
- 一般室温環境で使用してください。

*カットシートフィーダ（オプション）から給紙する場合は4.2mm以上。

封筒

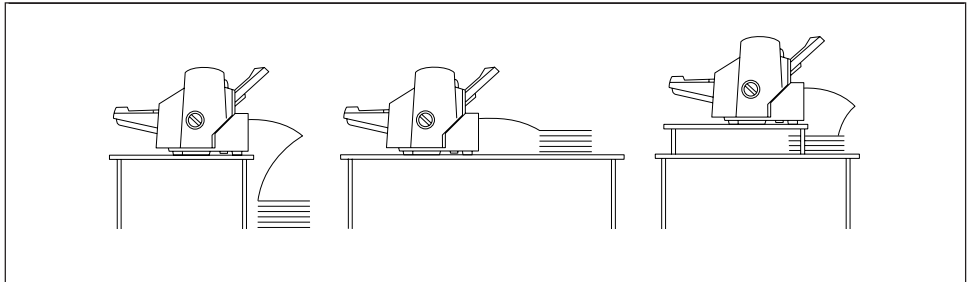
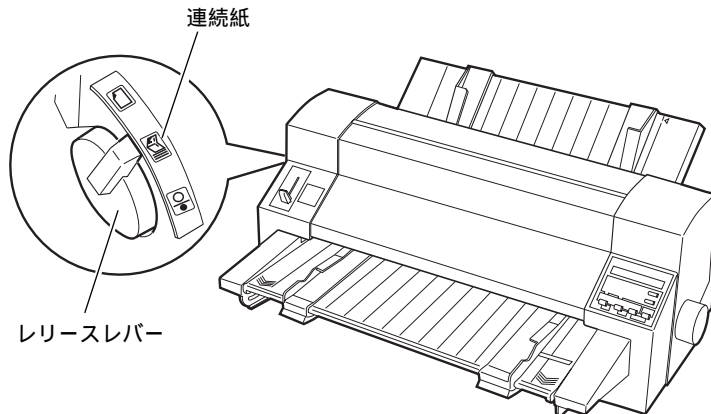
- クラフト紙あるいはケント紙を使ってください。
- 封筒モードを設定してから印刷してください。(38ページ参照)
- 一般室温環境で使用してください。
- 推奨する封筒サイズ(用紙幅と用紙長)については、付録「用紙仕様」(111ページ)を参照してください。

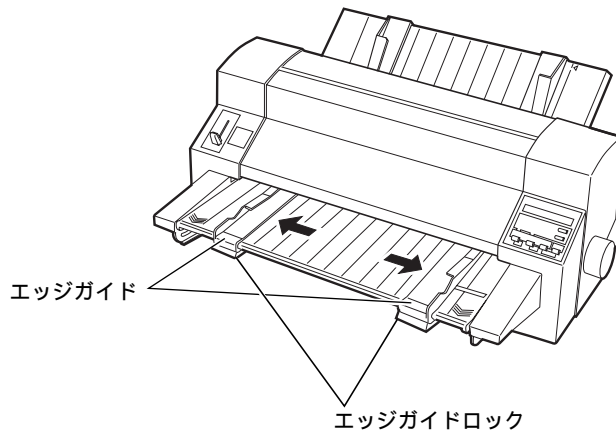
和封筒

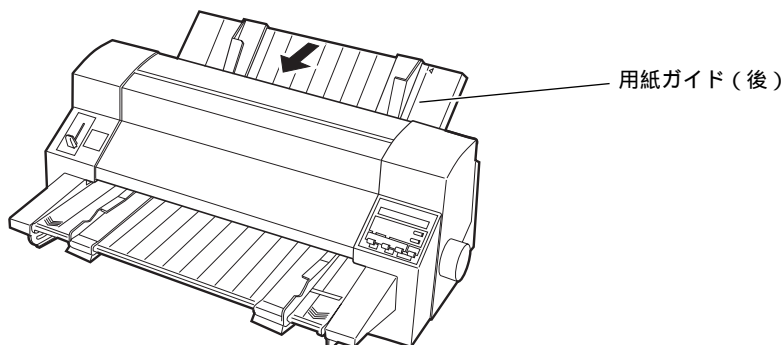
- 用紙ガイド(前後)から給紙します。
- フラップ部は折り曲げない状態で使用してください。

洋封筒

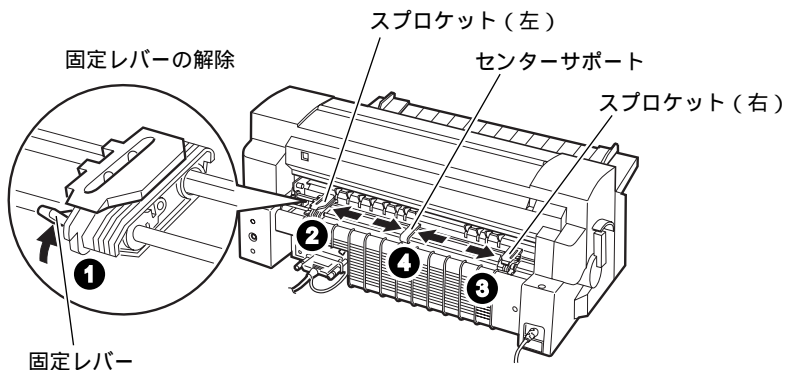
- 用紙ガイド(前後)またはカットシートフィーダから給紙します。
- フラップ部は折り曲げた状態で使用してください。

*カットシートフィーダ(オプション)から給紙する場合は4.2mm以上

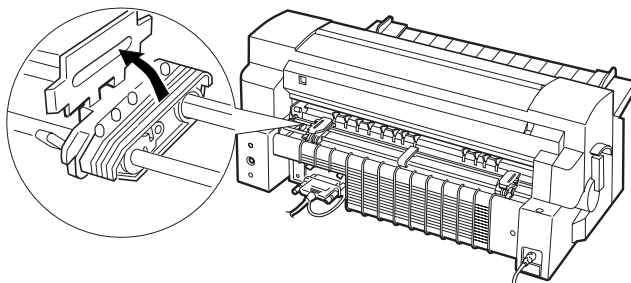
●連続紙への印刷

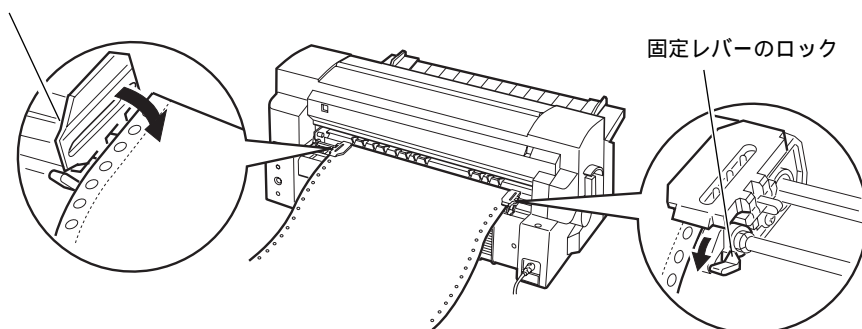
連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

ステップ **1** **レリースレバーを連続紙位置にします。**

ステップ **2** **用紙ガイド（前）のエッジガイドを左右いっぱいに広げます。**

エッジガイドロック（左右）を解除します。
エッジガイドは、エッジガイド内側（手前部）のくぼみに指をそえて左右に動かしてください。

ステップ 3 用紙ガイド（後）を取りはずします。

用紙ガイドをプリンタ本体側に倒すようにして取りはずします。

ステップ 4 スプロケットの位置を調整します。

スプロケット（左右）の固定レバーを上に倒して、ロックを解除します。スプロケット（左）を左端に移動させ、固定レバーを下に倒してロックします。スプロケット（右）を使用する用紙のピン穴の幅に合わせます。センターサポートは左右のスプロケットの中央に移動させます。

左側のスプロケットの上部にある ▽ 印は、印字開始位置を示します。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合はスプロケットの位置を再調整してください。

ステップ **5** **スプロケットカバーを開けます。**

ステップ **6** **用紙をセットし、スプロケットを固定します。**

連続紙のはじめの3つの穴をピンにはめます。スプロケット（左）のカバーを閉じてから、スプロケット（右）を動かして用紙のたるみを取りのぞきます。固定レバーを下に倒してロックします。

ステップ **7** **用紙ガイド（後）を取りつけます。**

用紙ガイド（後）を使用しない場合、この手順は不要です。

ステップ **8** **電源スイッチをオンにします。**

印刷データを受信すると、用紙は自動給紙されて印刷を開始します。

注意

- **プリンタの電源スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。**
- **用紙が給紙されない場合は、用紙をセットし直してください。**
- **用紙が斜めに給紙された場合は、電源スイッチをオフにしてから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい用紙をセットし直して給紙してください。**
- **給紙動作中や印刷中にプリンタカバーを開けないでください。**
- **給紙動作中にカバーを開けるとエラーになります。エラーになった場合は、電源スイッチをオフにして用紙を取り除き、カバーを閉じてから電源を入れ直してください。**
- **印刷中にカバーを開けると、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するにはカバーを閉じてから［印刷可］スイッチを押してください。**

●ティアオフ機能

ティアオフ機能では、印刷終了後に連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送り出し、用紙を簡単に切り離すことができます。印刷を再開すると連続紙は印刷開始位置へ送り戻されます。

注意

- ティアオフ機能は、設定したページ長（初期設定11インチ）を基に連続紙を送ります。使用する連続紙に合わせて、ページ長を正しく設定してください。ページ長の設定については、「プリンタの設定値変更」（45ページ）をお読みください。
- ラベル紙に印刷するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないでください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙づまりをおこします。

手動ティアオフ機能

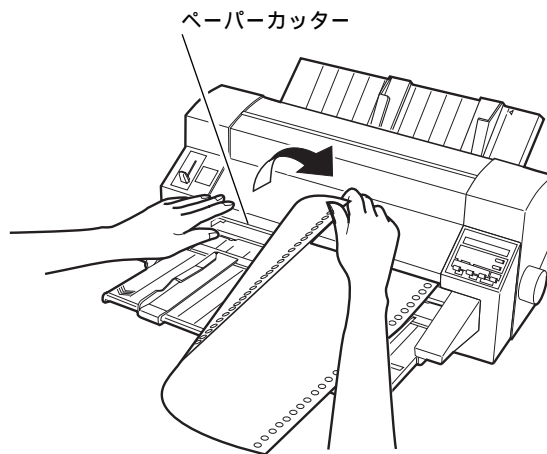
ステップ **1** **印刷が終了していることを確認します。**

ステップ **2** **用紙カット位置 スイッチを押します。**

連続紙のミシン目が用紙カット位置まで送られ、用紙カット位置ランプが点灯します。

ミシン目が用紙カット位置に合わない場合は微小送りスイッチで調整してください。詳しくは、「微小送り」（53ページ）をお読みください。

ステップ **3** **連続紙を切り離します。**

ペーパーカッターで連続紙を切り離します。

ステップ **4** **用紙カット位置 スイッチを押します。**

連続紙は印刷開始位置へ戻ります。

次の印刷データを送ると、印刷を開始します。

自動ティアオフ機能

自動ティアオフ機能を利用するには、プリンタの設定値を変更(自動ティアオフをONに設定)してください。詳しくは、「プリンタの設定値変更」(45ページ)をお読みください。

ステップ **1** **印刷を行います。**

印刷が終わり3秒程たつと、連続紙のミシン目を用紙カット位置まで自動的に送ります。

ミシン目が用紙カット位置に合わない場合は微小送りスイッチで調整してください。 詳しくは、「微小送り」(53ページ)をお読みください。

ステップ **2** **連続紙を切り離します。**

ステップ **3** **次の印刷を行います。**

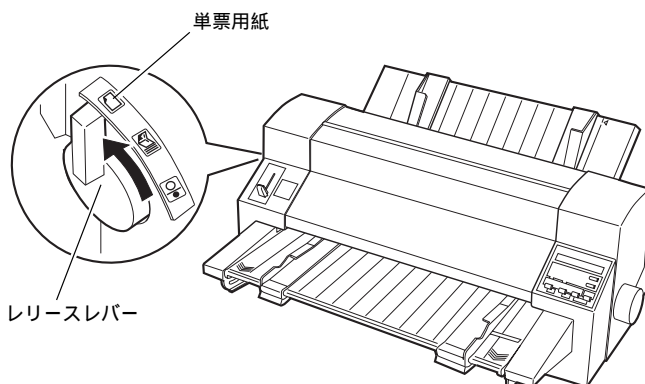
連続紙を印刷開始位置へ自動的に戻し、印刷が始まります。

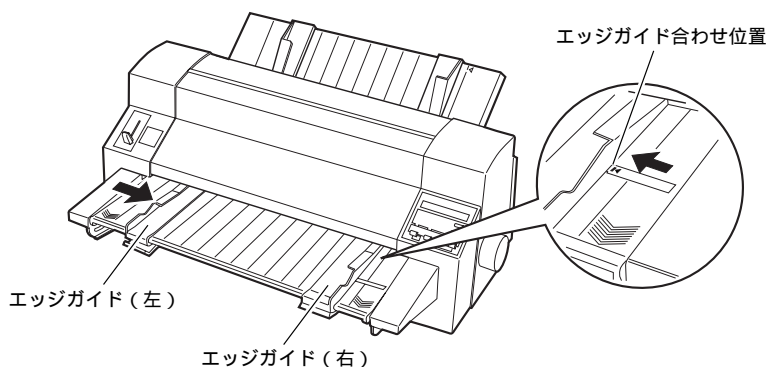
用紙カット位置 スイッチを押して連続紙を戻すこともできます。

●単票用紙への印刷

用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。
単票用紙で印刷することが多い場合には、オプションのカットシートフィーダをご利用ください。単票用紙を連続して給紙することができます。詳しくは「オプションの紹介」(58ページ)をお読みください。

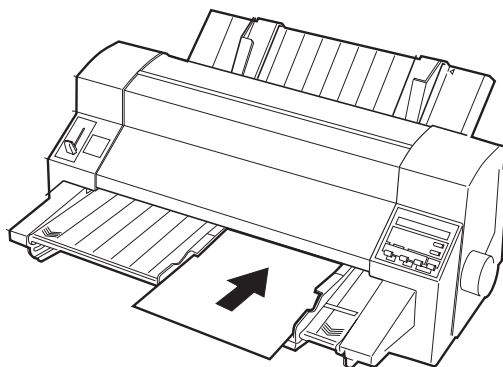
前からの給紙

ステップ **1** **レリースレバーを単票用紙位置にします。**

ステップ **2** **エッジガイド位置を調整します。**

エッジガイドロック(左右)を解除します。
エッジガイド(右)を用紙ガイドのマーク(▌◀)に合わせ、エッジガイド(左)を用紙の幅に合わせます。エッジガイドは、エッジガイド内側(手前部)のくぼみに指をそえてスライドさせるとスムーズに動きます。位置が決まったらエッジガイドロックを上にしてロックします。

エッジガイド(右)の位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を再調整してください。

ステップ **3** **電源スイッチをオンにします。**

ステップ **4** **用紙を手差し給紙します。**

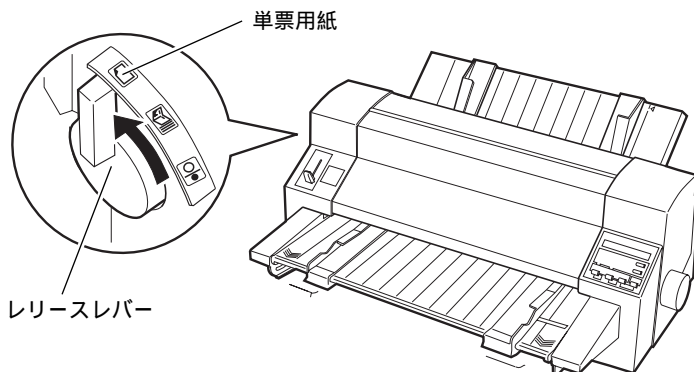
用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。用紙は一旦奥へ送られ、給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

用紙は手前に排紙されます。

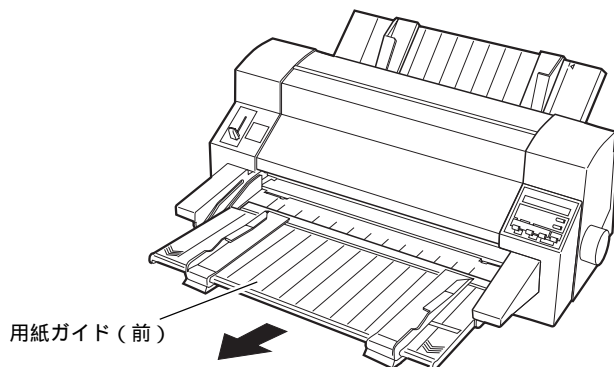
注意

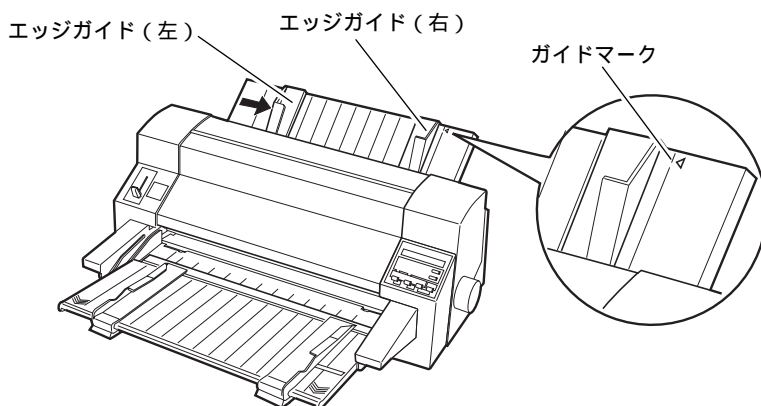
- **プリンタの電源スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。**
- **給紙動作中や印刷中にプリンタカバーを開けないでください。**
- **給紙動作中にカバーを開けるとエラーになります。エラーになった場合は、電源スイッチをオフにして用紙を取り除き、カバーを閉じてから電源を入れ直してください。**
- **印刷中にカバーを開けると、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するにはカバーを閉じてから［印刷可］スイッチを押してください。**

- 用紙の途中で印刷終了した場合は、［給紙／排紙］スイッチを押して排紙します。
- 給紙位置はパネル設定やEPSON Remote!で調整できます。詳しくは、「プリンタの設定値変更」（45ページ）をお読みください。
- 印刷開始位置は微小送りスイッチで微調整できます。詳しくは、「微小送り」（53ページ）をお読みください。

後ろからの給紙

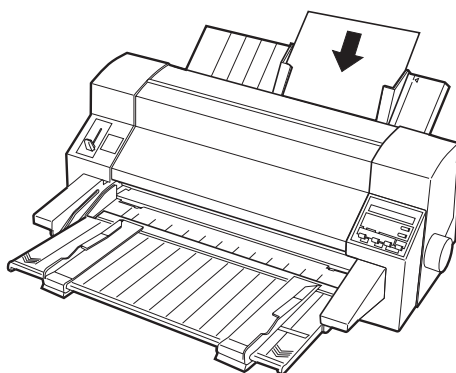
ステップ **1** **レリースレバーを単票用紙位置にします。**

ステップ **2** **用紙ガイド（前）を引き伸ばします。**

用紙ガイドの両端を持って引き出します。
印刷された用紙を手前の用紙ガイドに積み重ねない場合には、この手順は不要です。

ステップ **3** **エッジガイド位置を調整します。**

エッジガイド（右）を用紙ガイドのマーク（◀）に合わせます。エッジガイド（左）を用紙幅に合わせます。

エッジガイド（右）の位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を再調整してください。

ステップ **4** **電源スイッチをオンにします。**

ステップ **5** **用紙を手差し給紙します。**

用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。
用紙は自動給紙されます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

注意

- **プリンタの電源スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。**
- **給紙動作中や印刷中にプリンタカバーを開けないでください。**
- **給紙動作中にカバーを開けるとエラーになります。エラーになった場合は、電源スイッチをオフにして用紙を取り除き、カバーを閉じてから電源を入れ直してください。**
- **印刷中にカバーを開けると、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するにはカバーを閉じてから 印刷可 スイッチを押してください。**

- 用紙の途中で印刷終了した場合は、 給紙／排紙 スイッチを押して排紙します。
- 給紙位置はパネル設定やEPSON Remote!で調整できます。詳しくは、「プリンタの設定値変更」（45ページ）をお読みください。
- 印刷開始位置は微小送りスイッチで微調整できます。詳しくは、「微小送り」（53ページ）をお読みください。

●連続紙と単票用紙の切りかえ

プッシュトラクタに連続紙をセットしたまま、連続紙の給紙と単票用紙の給紙を簡単に切りかえることができます。

連続紙から単票用紙への切りかえ

ステップ **1** **連続紙の印刷が終了したら、用紙カット位置 スイッチを押します。**

ステップ **2** **連続紙を切り離します。**

ポイント

- **印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、用紙がつまります。**
- **ラベル紙を使用するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙づまりをおこします。トラクタの位置で給紙前のラベル紙を切り離し、改行／改ページ スイッチで排紙します。再びラベル紙を使用するときは、トラクタにセットし直してください。**

ステップ **3** **給紙／排紙 スイッチを押します。**

セットした連続紙はトラクタの位置まで逆に戻りますが、トラクタからははずれません。

ステップ **4** **レリースレバーを単票用紙位置に切りかえます。**

ステップ **5** **単票用紙を用紙ガイド（前）または（後）にセットします。**

エッジガイドを用紙幅に合わせて、単票用紙を奥まで差し込みます。詳しくは、「単票用紙への印刷」（32ページ）をお読みください。

単票用紙から連続紙への切りかえ

ステップ **1** **単票用紙の印刷が終了したら、［給紙／排紙］スイッチを押します。**

単票用紙を排紙します。

ステップ **2** **レリースレバーを連続紙位置に切りかえます。**

ステップ **3** **用紙ガイド（前）のエッジガイドを左右いっぱいに広げます。**

エッジガイド位置の調整のしかたについては27ページのステップ2を参照してください。

ステップ **4** **印刷します。**

印刷データを受信すると、自動的に連続紙を給紙して印刷を開始します。

●特殊用紙への印刷

ハガキや封筒などの特殊用紙も使用できます。

ハガキ

使用できるハガキの詳細は、「使用できる用紙」(22ページ)と「用紙仕様」(105ページ)を参照してください。
印刷の手順は次のとおりです。

ステップ **1** **ハガキモードを設定します。**

パネル設定モード2の単票用紙種類(表示メッセージは「タンピョウ シュルイ」)の「ハガキ」を選択します。

ステップ **2** **ハガキをセットします。**

用紙ガイド(前後)またはカットシートフィーダにハガキをセットします。

ステップ **3** **印刷をします。**

ハガキの給紙、印刷、排紙は単票用紙の印刷と同じです。

封筒

使用できる封筒の詳細は、「使用できる用紙」(22ページ)と「用紙仕様」(105ページ)を参照してください。
印刷の手順はつぎのとおりです。

ステップ **1** **封筒モードを設定します。**

パネル設定モード2の単票用紙種類(表示メッセージは「タンピョウ シュルイ」)の「封筒」を選択します。

ステップ **2** **封筒をセットします。**

和封筒は用紙ガイド(前後)に、洋封筒は用紙ガイド(前後)またはカットシートフィーダにセットします。

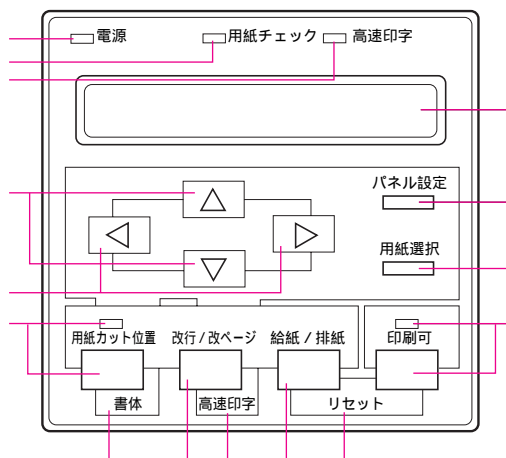
ステップ **3** **印刷をします。**

封筒の給紙、印刷、排紙は単票用紙の印刷と同じです。

操作パネルの使いかた

プリンタの操作パネルについて説明しています。

●操作パネルについて

操作パネル上のランプにより、プリンタの状態を知ることができます。また、スイッチ操作により各種機能の設定や実行ができます。

①電源ランプ

電源が入っているときに点灯します。

②用紙チェックランプ

紙なし状態で点灯します。
紙がつまったときまたはレリースレバーの設定が間違っているときに点滅します。

③高速印字ランプ

高速印字モードがオンに設定されているときに点灯します。

④ 用紙カット位置 スイッチとランプ

ティアオフ機能で連続紙が用紙カット位置にあるときにランプが点灯します。用紙カット位置以外の位置にあるときは消灯します。詳しくは「ティアオフ機能」(30ページ)をお読みください。

⑤ 改行／改ページ スイッチ

連続紙のとき：　スイッチを短く押すと改行します。
　　　　　　　　スイッチを押し続けると改ページします。
単票用紙のとき：スイッチを短く押すと改行します。
　　　　　　　　スイッチを押し続けると排紙します。

⑥ 給紙／排紙 スイッチ

連続紙のとき：　プッシュトラクタに用紙をセットした状態でスイッチを押すと、給紙します。印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、トラクタ位置へ排紙します。

単票用紙のとき：印刷位置に用紙がない状態でスイッチを押すと、カットシートフィーダ（オプション）にセットされた用紙を給紙します。
印刷位置に用紙がある状態でスイッチを押すと、排紙します。

用紙ガイド（前、後）から給紙するには、用紙をセットして用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。用紙は自動給紙されます。

⑦ 印刷可 スイッチとランプ

プリンタが印刷できる状態（印刷可）と印刷不可状態とを切りかえます。印刷できる状態のときはランプが点灯します。印刷の途中でスイッチを押すと印刷が中断します。印刷を再開するには、もう一度スイッチを押します。

⑧ 用紙選択 スイッチ

登録された用紙を選択します。
登録は用紙登録ユーティリティで行います。登録した用紙情報は用紙番号でパネルに表示されます。初期設定は「0」です。
用紙登録ユーティリティの使いかたについては『ソフトウェア取扱説明書EPSONプリンタウインドウ!2・用紙登録ユーティリティ』を参照してください。

⑨ パネル設定 スイッチ

パネル設定モードに移行します。
パネル設定モードの詳細は「設定値の変更方法」（49ページ）を参照してください。

⑩ ▲ ▼ スイッチ

微小送りスイッチまたは機能選択スイッチとして機能します。
微小送りスイッチ：前方または後方へ1/180インチずつ用紙を送ります。
機能選択スイッチ：パネル設定モードで、プリンタの機能を選択します。

⑪ ▶ と ◀ スイッチ

パネル設定モードで、メニュー画面の選択と終了、選択した設定内容を有効にするために使います。

⑫ 書体 スイッチ

印刷するプリンタ内蔵書体を選択します。

【設定方法】
1 パネル設定 スイッチを押してパネル設定モードに移行します。
2 書体 スイッチを押します。
3 ▲ （または ▼ ）スイッチを押して、設定する書体の名前を表示します。
4 ▶ スイッチを押して書体を設定します。
　設定する書体にアスタリスク（＊）マークがつきます。
5 パネル設定 スイッチを押して設定モードを終了します。

設定できる書体は次のとおりです。

表示	選択書体	説　　明
ジドウ	自動	ソフトウェアの書体設定に従って印刷します。ソフトウェア上で書体の設定がない場合は、漢字は明朝体、英数文字はローマンで印刷します。
ミンチョウ	明朝体	漢字は明朝体、英数文字はローマンで印刷します。ただし、ソフトウェア上でTrue Typeフォントなどを設定した場合は、ソフトウェア上で設定した書体で印刷することがあります。
ゴシック	ゴシック体	漢字はゴシック体、英数文字はサンセリフで印刷します。ただし、ソフトウェア上でTrue Typeフォントなどを設定した場合は、ソフトウェア上で設定した書体で印刷することがあります。

プリンタ内蔵書体の印字例
・明朝体
・エプソンローマン

・ゴシック体　　　　　　　　　　・エプソンサンセリフ

⑬ 高速印字 スイッチ

文字パターンのドットを間引きして、通常より高速に印字します。高速印字モードの時にランプが点灯します。試し印刷やリボンカートリッジの消耗を抑えたいときに設定します。

【設定方法】
1 パネル設定 スイッチを押してパネル設定モードに移行します。
2 高速印字 スイッチを押します。
3 ▲ または ▼ スイッチを使って「コウソク　オン」（高速印字をする）または「コウソク　オフ」（通常の印字をする）を選択します。
4 ▶ スイッチを押して決定します。
設定した値にアスタリスク（＊）マークがつきます。
5 パネル設定 スイッチを押して設定モードを終了します。

⑭ リセット スイッチ

印刷可 スイッチを押しながら 給紙／排紙 スイッチを押すとリセットスイッチとして機能します。リセットはプリンタを初期化するときに行います。

⑮パネル

いろいろなメッセージや設定項目を文字で表示します。
表示されるメッセージとその意味は次のとおりです。パネル設定モードで行うプリンタ設定値の表示については「プリンタの設定値変更」（45ページ）を参照してください。　　　はエラーメッセージを表します。

表示メッセージ	意　　味
インサツ　カノウ：#0	コンピュータからのデータを受信できます。
インサツチュウ：#0	印刷中です。
インサツ　テイシ：#0	印刷が一時中断しています。
カバー　オープン	プリンタカバーが開いています。
シバラク　オマチクダサイ	プリントヘッドの過熱により停止中です。
セッテイ　インサツ	現在のパネル設定状態を印刷中です。
セッテイモード　1	設定モード1を選択した状態です。
セッテイモード　2	設定モード2を選択した状態です。
セルフ　テスト	セルフテストを実行中です。
データガ　ノコッテイマス	データがバッファに残っていて、印刷できない状態です。
デンゲンヲ　キッテクダサイ	エラーが発生しています。電源スイッチをオフにして数分後に入れ直してください。
ヘキサ　ダンプ	16進ダンプモードです。
カミヲ　キリハナシテクダサイ	ティアオフモードで、用紙がカット位置にあります。
カミガ　アリマセン	用紙がなくなった状態です。
レバーヲ　モドシテクダサイ	レリースレバーが間違った位置にあります。
カミサイズガ　チガイマス	セットされている用紙サイズが異なっています。
カミヲ　キリカエラレマセン	用紙が選択できません。
カミヲ　トリノゾイテクダサイ	用紙がつまっています。
カミヲ　ヒキヌイテクダサイ	排紙が完了していません。

エラーメッセージが表示されたときの処置方法については、「困ったときは」（85ページ）に記載してありますので、参照してください。

●プリンタの設定値変更

プリンタは設定した内容に従って動作します。設定値を変更するには、操作パネルから設定するか添付されているソフトウェアEPSON Remote!を使用します。

ほとんどの場合、プリンタ購入時の初期設定値のままで使用できます。使用するオペレーティングシステムやアプリケーションソフトから設定を変更できない場合は、操作パネルやEPSON Remote!で設定値を変更してください。

操作パネルでの設定項目

本プリンタのパネル設定は、設定モード1と設定モード2に分かれています。設定モード別の設定項目と設定値は下表のとおりです。

＊のついている設定値が出荷時の初期設定です。

設定モード1

設定項目 【】は表示メッセージ	設定値	説　明
給紙位置(連続紙) 【キュウシイチ(レンゾクシ)】	4.2～33.9mm (8.5mm＊)	連続紙の給紙位置を設定します。
給紙位置(後ろからの手差し給紙) 【キュウシイチ(リアテサシ)】	0～33.9mm (8.5mm＊)	用紙ガイド(後)から給紙する単票用紙の給紙位置を1/180インチ単位で設定します。
給紙位置(前からの手差し給紙) 【キュウシイチ(フロントテサシ)】	0～33.9mm (8.5mm＊)	用紙ガイド(前)から給紙する単票用紙の給紙位置を1/180インチ単位で設定します。
給紙位置(CSF) 【キュウシイチ(CSF)】	0～33.9mm (8.5mm＊)	カットシートフィーダから給紙される用紙の給紙位置を1/180インチ単位で設定します。 ます。
文字品位 【モジヒンイ】	コウヒンイ＊	英数カナ文字を高品位文字で印刷します。
	ドラフト	英数カナ文字をドラフト文字で印刷します。
文字ピッチ 【モジピッチ】	10CPI＊、12CPI、15CPI、17CPI、20CPI、プロポーショナル	文字の印字間隔を選択します。 設定単位はCPI(Characters Per Inch: 1インチ(25.4mm)あたりの文字数)です。
文字コード表 【モジコードヒョウ】	カタカナ＊	カタカナコード表(123ページ)を使って英数カナ文字を印字します。国内のDOSアプリケーションソフトを使用するときは、ほとんどの場合このコード表を選択します。

設定項目 【】は表示メッセージ	設定値	説　明
文字コード表 【モジコードヒョウ】	グラフィックス	拡張グラフィックスコード表（123ページ）の文字を使って印字します。海外版のDOSアプリケーションソフトを使用するときはこのコード表を選択します。
	マルチリンガル	マルチリンガルコード表（124ページ）の文字を使って印字します。
ページ長（連続紙） 【ページチョウ（レンゾクシ）】	11インチ＊、 12インチ、ソノタ	連続紙のページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）を設定します。改ページ、ティアオフ機能、ミシン目スキップが正しく働くように、使用する用紙に合ったページ長を設定してください。 「ソノタ」を選択すると、改行幅1/6インチ単位、1ページ24行から132行まで設定できます。設定は、「ソノタ」を選択してから ▲ ▼キーで値を設定し、▶ キーで確定します。
ページ長（CSF） 【ページチョウ（CSF）】	ソノタ＊、B5、A4	カットシートフィーダから給紙される単票用紙のページ長を設定します。 「ソノタ」を選択すると、改行幅1/6インチ単位、1ページ24行から132行まで設定できます。設定は、「ソノタ」を選択してから ▲ ▼キーで値を設定し、▶キーで確定します。
改行量 【カイギョウリョウ】	1/6インチ＊、 1/8インチ	改行の幅を設定します。
左マージン 【ヒダリマージン】	0〜80ケタ （0ケタ＊）	印刷ページの左余白を設定します。（桁表示の値は、用紙の左端印字値を0として数えた数値です。）
右マージン 【ミギマージン】	80〜136ケタ （136ケタ＊）	印刷ページの右余白を設定します。
ミシン目スキップ 【ミシンメスキップ】	オン	連続紙のミシン目の前後25.4mm{1インチ}の範囲には印刷できません。アプリケーションソフトで上下マージンが設定できない場合でも、ミシン目にかからないように印刷したい場合に設定します。
	オフ＊	連続紙使用時に、アプリケーションソフトで上下マージンをゼロに設定してページいっぱいに印刷すると、ミシン目に関係なく続けて印刷します。通常はアプリケーションソフトで上下マージンを設定しますので、オフのまま印刷してもミシン目で印刷が途切れることはありません。
印字方向 【インジホウコウ】	ソウホウコウ＊	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷しますので、より速く印刷できます。文字の高速印字に適しています。
	タンホウコウ	プリントヘッドが左方向へ移動するときだけ印刷しますので、縦方向の印刷がより正確になります。グラフィックの印刷に適しています。
	ジドウ	印字方向を自動で選択します。紙送り量が3.39mm{48/360インチ}以下の場合は、前印字行と同一の印字方向で印字し、その他の場合は双方向で印字します。

設定モード2

設定項目 【】は表示メッセージ	設定値	説　明
単票用紙種類 【タンピョウシュルイ】	ツウジョウ＊	ハガキや封筒以外の単票用紙に印字するときに設定します。
	ハガキ	ハガキに印字するときに設定します。
	フウトウ	封筒に印字するときに設定します。
複写モード 【フクシャモード】	コイ	アジャストレバーが3段目以上または「自動」に設定しているときは紙厚が0.2mmを越える場合に、複写モード（濃い）で印刷します。複写モード（通常）では印字が不十分の場合に設定します。
	ツウジョウ＊	アジャストレバーが3段目以上または「自動」に設定しているときは紙厚が0.2mmを越える場合、複写モード（通常）で印刷します。複写モードとは、通常の印字時に比べ印字圧を高めて印字することにより複写能力を強化したモードのことをいいます。
インターフェイス 【インターフェイス】	ジドウ＊	データを受信するインターフェイスを自動的に選択します。選択したインターフェイスに送られたデータが終了するか、I/F固定解除時間の設定した時間になると、インターフェイスの選択が解除されます。「ジドウ」では、最大3台のコンピュータが本プリンタを共用できます。
	パラレル	標準のパラレルインターフェイスを使用します。
	シリアル	標準のシリアルインターフェイスを使用します。
	オプション	オプションのインターフェイスを使用します。オプションのインターフェイスが装着されている場合のみ選択できます。
インターフェイス 固定解除時間 【I/Fコテイカイジョジカン】	1～256ビョウ （10ビョウ＊）	インターフェイス「ジドウ」のときに、自動選択したインターフェイスに対して設定した時間が経過してもデータが送られてこない場合にそのインターフェイスの選択を解除します。
受信バッファ 【ジュシンバッファ】	オン＊	データを受信バッファにためてから印刷します。サイズの大きいファイルでも、比較的はやくコンピュータを解放できます。
	オフ	データを受信しながら同時に印刷します。
ボーレート 【ボーレート】	300～19,200BPS （19,200BPS＊）	シリアルインターフェイスのボーレート（通信速度）を設定します。値が大きいほどデータの転送速度が速くなります。接続しているコンピュータの設定に合わせて設定します。
パリティ 【パリティ】	ナシ＊	シリアルインターフェイスの通信データのパリティチェックを行いません。
	グウスウ	偶数パリティをチェックします。
	キスウ	奇数パリティをチェックします。

設定項目 【】は表示メッセージ	設定値	説　明
自動ティアオフ 【ジドウティアオフ】	オン	印刷の終了や開始に合わせて自動的にティアオフ機能が働きます。詳しくは「自動ティアオフ機能」(31ページ)を参照してください。
	オフ*	自動ティアオフ機能は働きません。ラベル紙を使用するときは必ずオフに設定してください。
自動改行 【ジドウカイギョウ】	オン	キャリッジリターン(CR)コードに対して、自動的に改行(LF)コードを付け加えます。使用するオペレーティングシステムやソフトウェアによっては、改行しないで同じ行で印刷し続ける場合があります。改行するときはオンに設定します。
	オフ*	キャリッジリターン(CR)コードに対して、改行(LF)コードを付け加えません。DOSやWindowsなどのオペレーティングシステムで印刷する場合はオフのまま使用します。
ESC/Pスーパー 【ESC/Pスーパー】	オン*	ESC/PとPCPR201H(エミュレーションモード)を自動判別します。国内版のDOSアプリケーションソフトから印刷する場合に、エプソンプリンタを選択しても正しく印刷できないときはオンに設定します。詳しくは「DOSのアプリケーションソフトで使う場合」(16ページ)を参照してください。
	オフ	使用するオペレーティングシステムやソフトウェアでのプリンタ設定によって、オフに設定します。海外版のDOSアプリケーションソフトを使用するときはオフにします。詳しくは「DOSのアプリケーションソフトで使う場合」(16ページ)を参照してください。
ブザー鳴動 【ブザー】	オン*	ブザーが鳴ります。
	オフ	ブザーが鳴りません。
設定の初期化 【セッテイリセット】	ヒョウジュンセッテイ?	パネル設定の内容を工場出荷時の設定に戻します。「ヒョウジュンセッテイ?」と表示されたら ▶ キーを押します。

書体の選択や高速印字の設定には、操作パネルに専用のスイッチがあります。

設定値の変更方法

操作パネルを使う場合は、次の手順で「一覧表」を印刷してから設定値を変更してください。
一覧表を印刷しないでパネル設定モードに入る場合は、印刷可状態になっていることを確認してからステップ3以降の操作を行ってください。

ステップ **1** **連続紙をセットします。**

単票用紙（A4縦以上）に印刷する場合は、ステップ2の操作のあとで用紙をセットしてください。

ステップ **2** **[パネル設定] スイッチを押しながら、電源スイッチをオンにします。**

用紙が給紙され、現在の設定の一覧表が印刷されます。
単票用紙を使用する場合は、用紙チェックランプが点灯したら次の用紙をセットして次ページを印刷します。

ステップ **3** **[パネル設定] スイッチを押して、設定モードに入ります。**

設定モードは、「セッテイ　モード1」と、「セッテイ　モード2」があります。
[パネル設定] スイッチを押すとモードが切りかわります。[▶] スイッチを押すと、設定モードが決定し設定項目が表示されます。

ステップ **4** **[▲] または [▼] スイッチを押して、設定する項目を選択します。**

[▲] スイッチで前の項目、[▼] スイッチで次の項目が表示されます。

ステップ **5** **[▶] スイッチを押して、設定する項目を決定します。**

現在の設定値は“ ＊ ”マークがついて表示されます。

ステップ **6** **[▲] または [▼] スイッチを押して、設定値を選択します。**

[▲] スイッチで前の設定値、[▼] スイッチで次の設定値が表示されます。

ステップ **7** **[▶] スイッチを押して設定値を決定します。**

アスタリスク（＊）マークが選択した設定値につきます。

ステップ **8** **[◀] スイッチを押して、元の画面に戻ります。**

さらに変更する項目がある場合は、ステップ3以降の操作を繰り返します。

- 「ソノタ」という表示を選択すると、項目の設定値をさらに選択することができます。「ソノタ」を選択して表示される設定値を選択する手順は、ステップ4〜5と同じです。元の画面に戻るには、［◀］スイッチを押してください。
- 有効でないキー操作をすると、「ピッ」とブザーが鳴ります。

ステップ **9** **［パネル設定］スイッチを押して設定モードを終了します。**

給紙位置の調整

設定値の変更方法の例として、給紙位置の調整のしかたを説明します。
給紙位置には複数の項目があります。設定する正しい項目を選んでください。
設定された給紙位置は、次の給紙から有効になります。

給紙位置の調整はEPSON Remote!からも行えます。EPSON Remote!については136ページを参照してください。

ステップ **1** **［パネル設定］スイッチを押して「セッテイ　モード１」を表示します。**

［▶］スイッチを押して、設定モード1を決定します。

ステップ **2** **［▲］または［▼］スイッチを押して、給紙位置の項目（「キュウシイチ（XXXXX）」）を選択します。**

ステップ **3** **［▶］スイッチを押して、設定項目を決定します。**

ステップ **4** **［▲］または［▼］スイッチを押して、設定したい数値（mm）を選択します。**

工場出荷時の初期値は8.5mmです。

ステップ **5** **［▶］スイッチを押して、設定値を決定します。**

アスタリスク（＊）マークが選択した設定値につきます。

ステップ **6** **［パネル設定］スイッチを押して、設定モードを終了します。**

「インサツカノウ」とパネル表示されます。

ステップ **7** **用紙を給紙して印刷を行います。**

設定した給紙位置に用紙がセットされます。

リモート設定機能での設定項目

リモート設定機能とは、添付のパネル設定ユーティリティソフト“EPSON Remote!”を使ってコンピュータからプリンタに命令を送って設定値を変更する機能です。プリンタのある場所まで移動してパネルスイッチを操作する必要がなく、アプリケーションソフトごとに設定を変更する場合や、複数のユーザがプリンタを共有している場合に便利です。

ここでは、EPSON Remote!で変更できる設定値について簡単に説明します。EPSON Remote!のインストール方法、起動方法、設定方法については、「EPSON Remote!について」(136ページ)をお読みください。

設定項目	スタートアップユーティリティ	設定ユーティリティ
書体	◎	○
文字ピッチ	◎	−
文字品位	◎	−
単票用紙種類	◎	−
文字コード表	◎	−
ページ長F　(F:プッシュトラクタ)	◎	−
給紙位置F	◎	○
ページ長C　(C:カットシートフィーダ)	◎	−
給紙位置C	◎	○
ページ長MF　(MF:用紙ガイド(前))	◎	−
給紙位置MF	◎	○
ページ長MR　(MR:用紙ガイド(後))	◎	−
給紙位置MR	◎	○
高速印字	◎	○
改行量	◎	−
左マージン	◎	−
右マージン	◎	−
ミシン目スキップ	◎	−
印字方向	◎	−
I/F(インターフェイス)	◎	−
I/F固定解除時間	◎	−

設定項目	スタートアップユーティリティ	設定ユーティリティ
ボーレート	◎	ー
パリティ	◎	ー
自動ティアオフ	◎	ー
自動改行	◎	ー
ESC/Pスーパー	◎	○
受信バッファ	◎	ー
ブザー鳴動	◎	○
複写モード	◎	ー

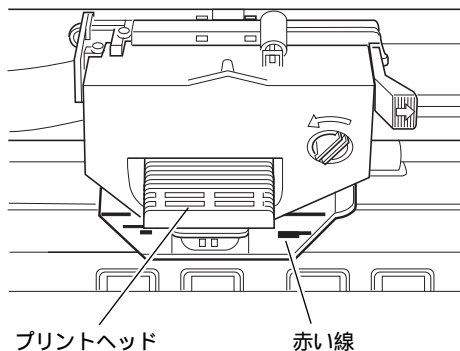
◎：初期設定値としてプリンタのメモリに記憶されますので、電源スイッチをオフにしても消えません。毎回同じ設定を使用する場合は、スタートアップユーティリティで初期設定値を変更します。
○：設定ユーティリティを使って、印刷作業ごとに設定値を一時的に変更できます。電源スイッチがオンであれば再度変更するまで有効です。電源スイッチをオフにすれば初期設定値に戻ります。
ー：設定項目はありません。

設定項目については、EPSON Remote!画面下の説明をお読みください。

プリンタの初期設定は、操作パネルとEPSON Remote!の両方から変更できます。後から変更した初期設定が有効です。

●微小送り

連続紙の用紙カット位置や印刷位置を微調整するときは、微小送り機能を使用します。微小送り機能では、1/180インチ単位で前後両方向に用紙を動かすことができます。

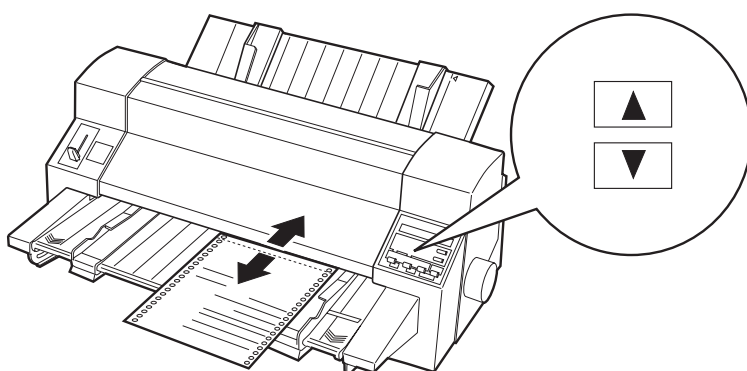
・微小送りの位置確認は、プリントヘッドの表示（図の赤線）を目安にすると便利です。

・印刷結果を見て、微小送りで印刷位置を合わせることもできます。プレ印刷されている枠線などに合わせて印刷する場合に便利です。ただし、カットシートフィーダ使用時の調整範囲は逆方向へは8.5mm｛1/3インチ｝までとしてください。
・給紙位置の調整は、パネル設定（設定モード1）またはEPSON Remote!から行います。パネル設定の方法については「給紙位置の調整」（50ページ）を参照してください。

用紙カット位置の調整

ステップ **1** **用紙カット位置の調整の準備をします。**

ティアオフ機能を使い連続紙のミシン目を用紙カット位置へ送ります。

ステップ **2** **微小送りスイッチを押して位置を合わせます。**

ミシン目をペーパーカッターに合わせて調整します。
▼ スイッチを押すと、用紙は前方へ戻ります。
▲ スイッチを押すと、用紙は後方へ進みます。

ポイント

- 用紙カット位置の微調整範囲は、-25.4～+25.4mmです。
- 用紙カット位置を微調整するとき、前後どちらの方向に用紙を動かしても、途中でブザーが鳴り一旦停止する位置があります。これは工場出荷時の基準位置です。微調整時の目安としてください。また、前後どちらの方向にも微調整できる限度があります。上限あるいは下限に達するとブザーが鳴り、用紙はそれ以上動かなくなります。

ステップ **3** **用紙を印刷開始位置までもどします。**

給紙／排紙 スイッチを押して、用紙を印刷開始位置までもどします。
微調整した用紙カット位置は、プリンタのメモリに記憶されます。電源スイッチをオフにしても設定した内容は保持されます。

印刷位置の調整

ステップ **1** **印刷可状態または印刷不可状態になっていることを確認します。**

ステップ **2** **微小送りスイッチを押して位置を調整します。**

> **⚠注意**
>
> **プリンタカバーを開けて印刷位置を確認する場合は、次の点に注意してください。**
>
> - **プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドには触らないでください。**
> - **プリンタカバーを開けると微小送りスイッチは機能しません。印刷位置を確認したらプリンタカバーを閉じ、再び微小送りスイッチで位置を調整してください。**

ステップ **3** **印刷可ランプが点灯していることを確認します。**

印刷可ランプが消灯している場合は、[印刷可] スイッチを押して印刷可状態にしてください。
調整した印刷位置は、電源スイッチをオフにしたり、新しい用紙を給紙したときに失われます。

● 16進ダンプ

16進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを16進数とそれに対応する英数カナ文字で印刷する機能です。正しくデータが送られているか確認できるので、自作プログラムのチェックなどに便利です。

ステップ **1** **改行／改ページ スイッチと 給紙／排紙 スイッチの両方を押しながら、電源スイッチをオンにします。**

ステップ **2** **用紙をセットします。**

ステップ **3** **コンピュータからプリンタへデータを送ります。**

受信したデータは、16進数とそれに対応する英数カナ文字で印刷されます。

印刷終了時プリンタ内に用紙が残った場合は、給紙／排紙 スイッチを押して排紙します。

ステップ **4** **電源スイッチをオフにします。**

オプションの使いかた

ここでは、用意されているオプションを紹介し、その使いかたについて説明しています。

●オプションの紹介

本プリンタをより幅広くご活用していただくために、次のオプション(別売品)が用意されています。型番は'97年8月現在のものです。最新の型番についてはFAXインフォメーションでご確認ください。FAXインフォメーションの連絡先については、本書の裏表紙にてご案内しております。

インターフェイスケーブル

コンピュータとプリンタを接続するためのケーブル(別売)には種類があります。コンピュータや使用目的に応じた適切なケーブルをご使用ください。

パラレルインターフェイスケーブル

メーカ	機種	接続ケーブル	備考
EPSON	PCｼﾘｰｽﾞﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ(98互換機)	# 8238	*1*3
	NOTEｼﾘｰｽﾞ(98互換機)	市販品(ﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ20ﾋﾟﾝ)をご使用ください	*1*2 *3
	オフィス/プロスパート/Vividyシリーズ (DOS/V仕様機)	PRCB4N	
NEC	PC-9821ｼﾘｰｽﾞ、PC-H98(ﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ36ﾋﾟﾝ)	PRCB5N	*1
	PC-9801ｼﾘｰｽﾞﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ(14ﾋﾟﾝ)	# 8238	*1*2 *3
	PC-9801ｼﾘｰｽﾞNOTE(ﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ20ﾋﾟﾝ)	市販品(ﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ20ﾋﾟﾝ)をご使用ください	*1*2 *3
東芝	J-3100ｼﾘｰｽﾞ	PRCB4N	
IBM	DOS/V仕様機、PC XT/AT、PS/2	PRCB4N	
各社	DOS/V仕様機、AX仕様機	PRCB4N	

*1：拡張漢字(表示専用7921〜7C7E)は印刷できません。
*2：ハーフピッチ36ピンのコンピュータにはPRCB5Nをご使用ください。
*3：Windows95の双方向通信機能およびEPSONプリンタウインドウ!2はコンピュータの機能制限により対応できません。

ポイント

- **NEC PC-98LT/DOシリーズとは接続できません。**
- **NEC PC-9801LV/LX/LS/NシリーズはNEC製の専用ケーブルを使用してください。**
- **富士通　FM/R、FM TOWNSは富士通製の専用ケーブルを使用してください。**
- **推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウエアのコピー防止のためのプロテクタ(ハードウエアキー)などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。**
- **ECPモード対応コンピュータをECPモードで接続する場合、PRCB4Nをご使用ください。**

インターフェイスカード

インターフェイスを増設したい場合に使用します。
取りつけかたは、「インターフェイスカード」(62ページ)を参照してください。また、各インターフェイスカードの詳細についてはカードの取扱説明書を参照してください。

型番	名称
PRIF4	32KBシリアルI/Fカード
PRIF5E	IEEE-1284双方向パラレルI/Fカード
PRIF6	32KB IEEE-488 I/Fカード
PRIFNW1S	10BASE-T/2対応 マルチプロトコルEthernet I/Fカード
PRIFNW2S	100BASE-TX、10BASE-T対応 マルチプロトコルEthernet I/Fカード
PRIFNW2SAC	100BASE-TX、10BASE-T対応 マルチプロトコルEthernet I/Fカード
PRIF13	IBM5577プリンタエミュレーションカード

EPSON Link3

アップルコンピュータ社Macintoshシリーズに接続して使用できます。プリンタ標準のパラレルインターフェイスコネクタに接続することができ、プリンタドライバも添付されています(ただしLocalTalkプリンタとしては使用できません)。
取りつけかたは、EPSON Link3の取扱説明書を参照してください。

型番	名称
ELINK3	Macintosh用プリンタアダプタEPSON Link3

LocalTalk I/F セット 2

アップルコンピュータ社Macintoshシリーズに接続してLocalTalkプリンタとして使用できます。LocalTalk I/Fカードとプリンタドライバがセットになっています。LocalTalk I/Fカードの取りつけかたは、「インターフェイスカード」(62ページ)をお読みください。そのほかの設定方法はLocalTalk I/Fセット2の取扱説明書を参照してください。

型番	名称
LTIFS2	Macintosh用LocalTalk I/Fセット2

カットシートフィーダ

単票用紙(単票複写紙)、洋封筒、ハガキを連続して印刷することができます。カットシートフィーダの仕様および取りつけと使いかたについては、「カットシートフィーダ」(64ページ)を参照してください。

型番	名称
VP4200CSF	カットシートフィーダ

ESC/P リファレンスマニュアル

エプソンプリンタのコントロールコードであるEPSON ESC/P24-J84を中心に解説しています。コントロールコードを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

型番	名称
ESCPML1	ESC/Pリファレンスマニュアル

リボンカートリッジ

リボンカートリッジは消耗品です。印字が薄くなったら新品と交換してください。
リボンカートリッジの取り扱いは、「リボンカートリッジの取りつけ」（6ページ）、「リボンカートリッジの交換」（72ページ）を参照してください。

型番	名称
VP4000RC	リボンカートリッジ（黒）
VP4000CRC	カラーリボンカートリッジ

●インターフェイスカード

プリンタに取りつける前に、まずインターフェイスカードの取扱説明書をよくお読みください。インターフェイスカード上のディップスイッチやジャンパースイッチの設定が必要な場合もあります。

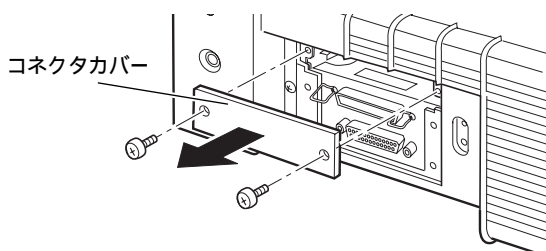
インターフェイスカードの取りつけかた

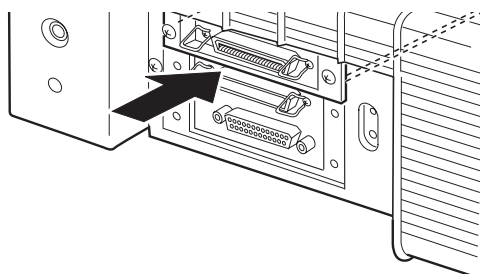
ステップ **1** **電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜きます。**

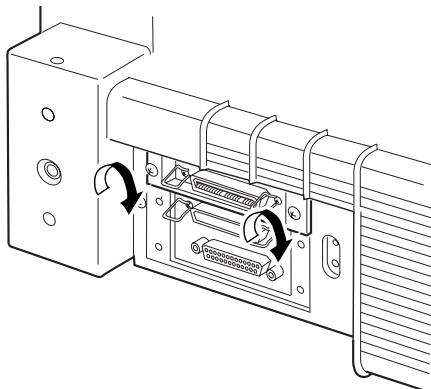
注意

インターフェイスカードを取りつける前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かずに取りつけると、プリンタやコンピュータが故障することがあります。取りはずすときも、電源プラグは抜いてください。

ステップ **2** **コネクタカバーを取りはずします。**

コネクタカバーのネジをドライバではずします。

ステップ **3** **インターフェイスカードを差し込みます。**

インターフェイスカードをプリンタ内部の溝に合わせて差し込みます。プリンタ内部のコネクタとインターフェイスカードのコネクタが合うように、しっかり差し込んでください。

ステップ 4 インターフェイスカードを固定します。

インターフェイスカードの両側のネジをしめて固定します。

オプションのインターフェイスカードを使用する場合は、インターフェイス：自動またはオプションに設定しているか確認してください。詳しくは、「プリンタの設定値変更」（45ページ）をお読みください。

●カットシートフィーダ

仕様

使用できる用紙

紙種	用紙幅（mm）	用紙長（mm）	用紙厚（mm）	容量
上質紙 再生紙	100～420	92～364	0.08～0.12 （55～70kg）	最大250枚（55kg）
複写紙	100～420	92～364	0.53以下 （34～55kg）	最大40枚（オリジナル＋5枚の場合）
通常ハガキ 往復ハガキ	100、148 148、200	148、100 200、148	0.22 （165kg）	最大50枚
封筒 　洋形2号 　洋形5号	 162 217	 114 95	0.12～0.46	

- 用紙厚の（kg）は、連量を示します。連量は四六判（788×1091mm²）の用紙1000枚の重量をkgで表わしたものです。
- セットする用紙枚数の総厚は20mm以下でお使いください。
- A3サイズの用紙をセットする場合は130枚以下としてください。
- 複写紙は、天のりとじのノンカーボン紙（オリジナル＋6枚まで）を使用してください。
- 往復ハガキは用紙中央に折り跡のないものを使用してください。
- 封筒の印字領域内の紙厚差は0.25mm以下としてください。
- 再生紙、ハガキ、封筒は、一般室温環境で使用してください。

- **外形寸法**
  プリンタ取りつけ時　：幅678mm×奥行き673mm×高さ417mm

- **重量**
  プリンタ取りつけ時　：約18Kg

- **用紙残量検出**：最大収容量を100%として用紙残量を検出します。

カットシートフィーダの取りつけかた

ステップ **1** **カットシートフィーダを組み立てます。**

カットシートフィーダの取扱説明書に従って、カットシートフィーダを組み立てます。

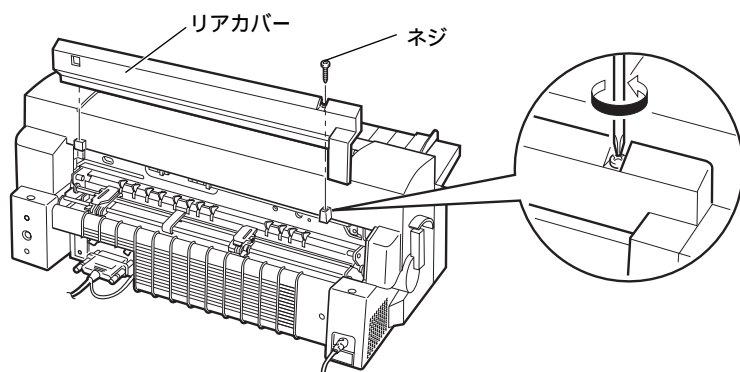
ステップ **2** **電源スイッチがオフになっていることを確認します。**

ステップ **3** **用紙ガイド（後）を取りはずします。**

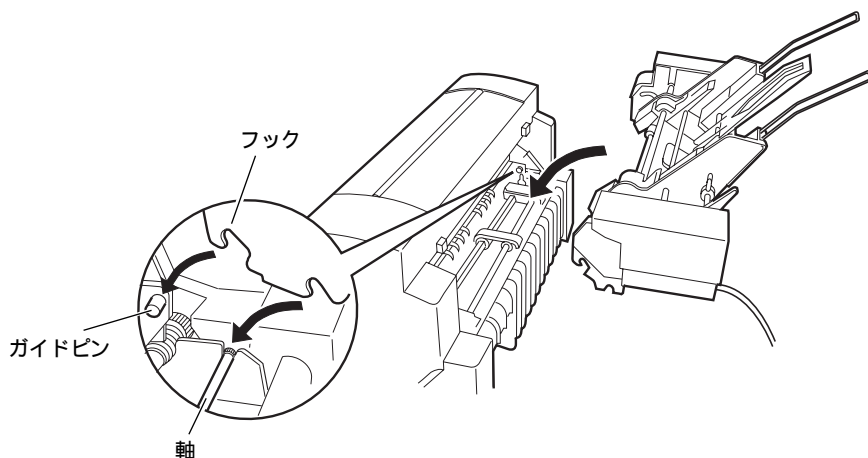
用紙ガイド（後）の取りはずしかたは9ページを参照して、取りつけの逆の手順で行ってください。

> **用紙ガイド（後）は、カットシートフィーダを取りはずして後ろから給紙するときに必要となります。大切に保管してください。**

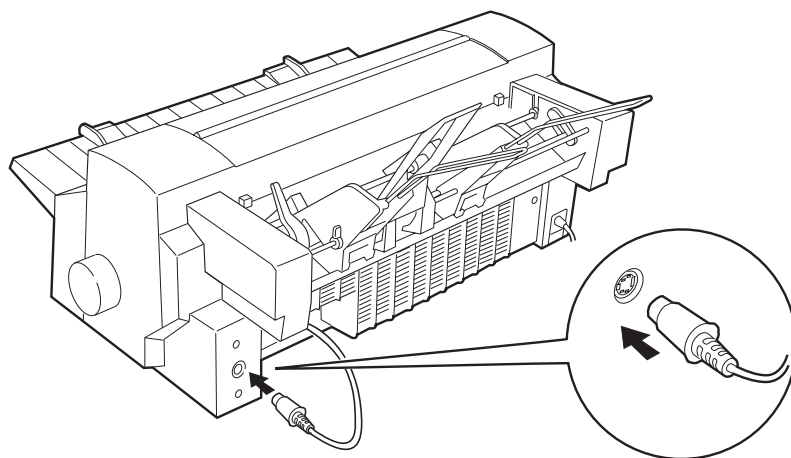
ステップ **4** **リアカバーをはずします。**

リアカバーのネジをはずし、リアカバーをまっすぐ上に引き上げて取りはずします。

> **リアカバーとネジは、カットシートフィーダを取りはずして、用紙ガイド（後）を使用するときに必要となります。大切に保管してください。**

ステップ5 カットシートフィーダを取りつけます。

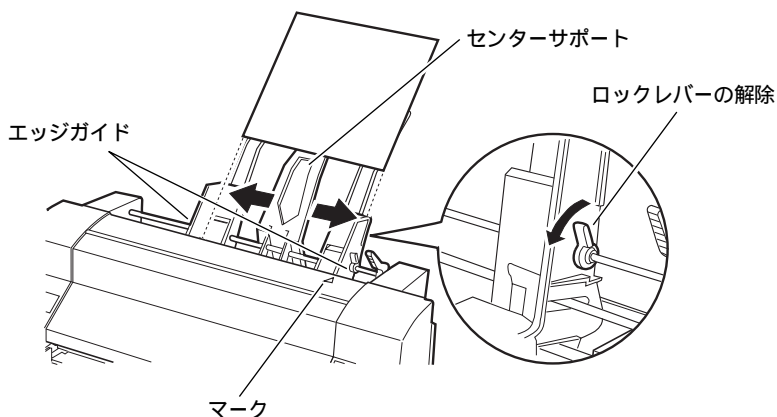
カットシートフィーダを両手で持ち、少し手前に傾けた状態で上のフックの部分をガイドピンの左右に合わせます。下のフックは軸に合わせます。

ステップ6 カットシートフィーダのケーブルのコネクタをプリンタに差し込みます。

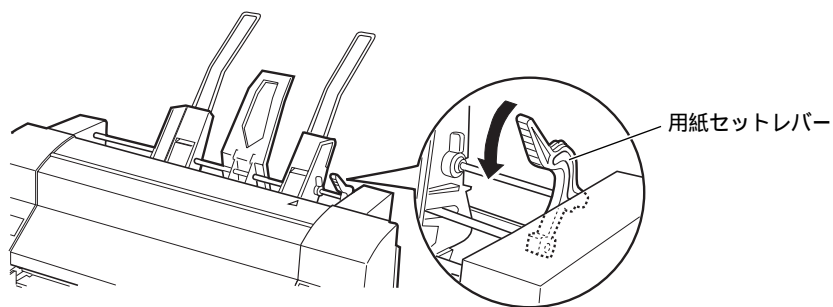
ケーブルは、奥まで確実に差し込んでください。

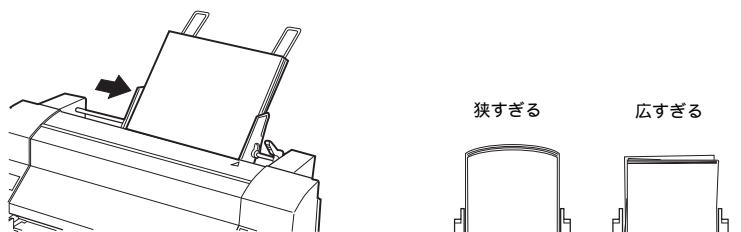
ケーブルの接続は、必ずプリンタの電源スイッチをオフにしてから行ってください。

カットシートフィーダの取りはずしは、プリンタの電源スイッチをオフにしたあと、取りつけの逆の手順で行ってください。

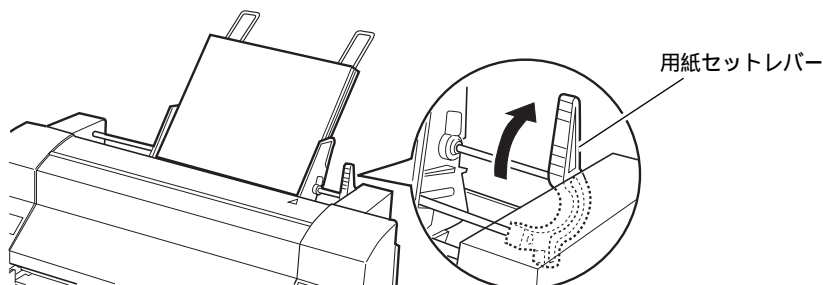
カットシートフィーダの使いかた

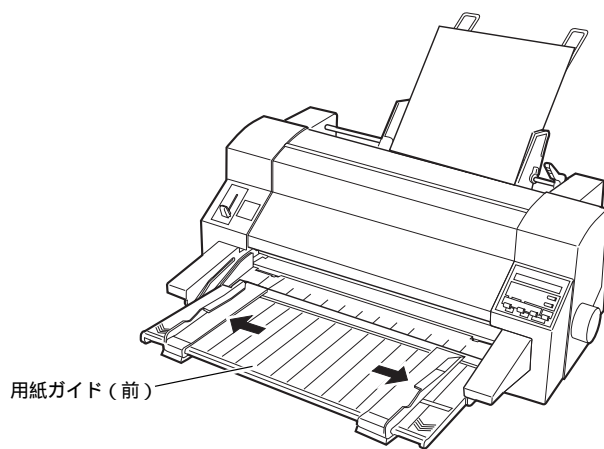
ステップ **1** **エッジガイドの位置を調整します。**

エッジガイドのロックレバーを前に倒してロックを解除します。エッジガイド（右）の位置をマーク▼に合わせてからロックレバーを後ろに倒してロックします。エッジガイド（左）の位置を用紙の幅に合わせます。

カットシートフィーダのセンターサポートは、用紙幅に合わせたエッジガイド（右）および（左）の中央に合わせてください。センターサポート位置が片寄っている場合は正しく給紙されないことがあります。

ステップ **2** **用紙セットレバーを手前に倒します。**

ステップ 3 用紙をセットします。

用紙はよくさばいてから用紙の端をそろえ、用紙をセットします。
エッジガイド（左）は用紙がなめらかに給紙されるように調整してからロックレバーを後ろに倒してロックします。

用紙とエッジガイドとの間にすき間がある場合は、エッジガイド（左）を右へ動かしてすき間をなくしてください。エッジガイドを用紙に押しつけた状態で給紙すると、給紙不良を起こすことがあります。

ステップ 4 用紙セットレバーを後ろへ倒します。

ステップ 5 レリースレバーを単票用紙位置にします。

ステップ **6** **用紙ガイド（前）を引き出し、エッジガイド（左右）を両端まで広げます。**

ステップ **7** **電源スイッチをオンにします。**

コンピュータからデータを送ると自動的に給紙します。

保守のしかた

ここでは、日常の手入れや保守のしかたについて説明しています。

●リボンカートリッジの交換

インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなった場合などには、次の手順に従ってリボンカートリッジを交換してください。

注意

- **リボンカートリッジ型番：VP4000RC（黒）**
  VP4000CRC（カラー）
- **リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。**

ステップ **1** **電源スイッチをオンにします。**

ステップ **2** **印刷可 スイッチを押して、印刷不可状態にします。**

プリンタヘッドが中央に移動して停止します。

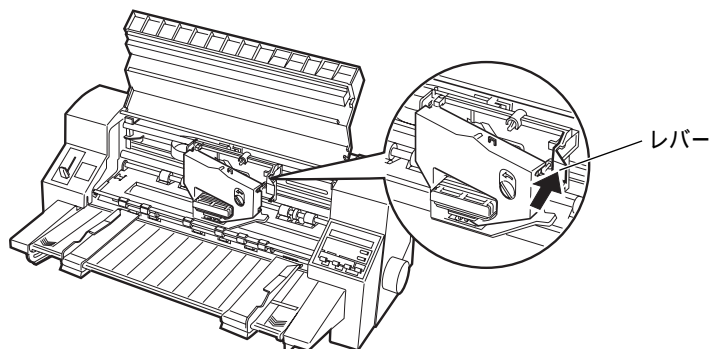
ステップ **3** **電源スイッチをオフにします。**

⚠注意

- **プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらくは触らないでください。**
- **使用済みのリボンカートリッジはビニール袋などに入れて、地域の条例に従って廃棄してください。**

ステップ **4** **プリンタカバーを開けて、用紙押さえローラを手前に倒します。**

ステップ **5** **リボンカートリッジをはずします。**

ホルダー上部のレバーを押して、カートリッジを取りはずします。

ステップ **6** **リボンカートリッジを取りつけます。**

リボンカートリッジの取りつけの詳細は、「リボンカートリッジの取りつけ」(6ページ)をお読みください。

ステップ **7** **用紙押さえローラを閉じてから、プリンタカバーを閉じます。**

●プリンタの手入れ

プリンタをいつも良好な状態で使用できるように、定期的にプリンタの手入れをしてください。

- 電源スイッチをオフにして、柔らかいブラシでほこりを払います。
- 汚れがひどいときには、水に中性洗剤を少量入れたものを用意します。そこに柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふきとります。最後に乾いた柔らかい布で水気をふきとります。

⚠警告

プリンタ内部に水気が入らないように、プリンタカバーは閉めてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートすることがあります。

注意

- **ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質・変形する恐れがあります。**
- **硬いブラシを使用しないでください。プリンタケースを傷つけることがあります。**
- **プリンタ内部に潤滑油を注油しないでください。プリンタメカニズムが故障する恐れがあります。潤滑油の補給が必要な場合には、販売店かエプソンサービスセンターにご連絡ください。**

●プリンタの輸送

プリンタを再輸送する場合は、プリンタを衝撃から守るために十分注意して梱包してください。

⚠注意
プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

ステップ1 リボンカートリッジをはずします。

リボンカートリッジのはずしかたは、「リボンカートリッジの交換」(72ページ)を参照してください。

ポイント

プリントヘッドが中央にあることを確認してください。中央にないと保護具の装着ができません。中央にない場合は次の手順で、プリントヘッドを中央に移動させてください。

1 プリンタカバーが閉じていることを確認します。
2 電源スイッチをオンにします。
3 印刷可 スイッチを押して、印刷不可状態にします。
プリントヘッドが中央に移動して停止します。

ステップ2 電源スイッチをオフにします。

用紙がプリンタ内に残っている場合は、その前に 給紙／排紙 スイッチを押して排出しておきます。
カットシートフィーダを取りつけてある場合は、あらかじめ取りはずしておきます。

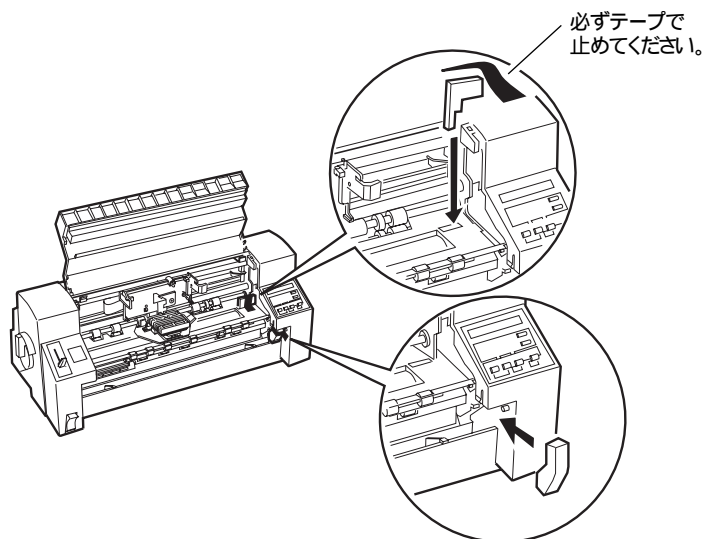
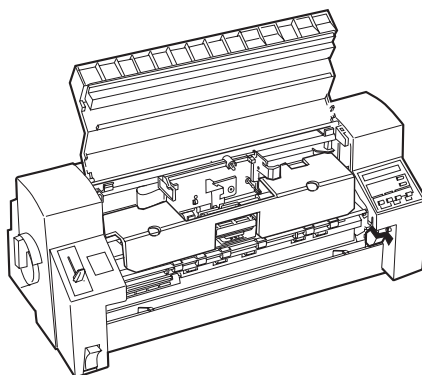
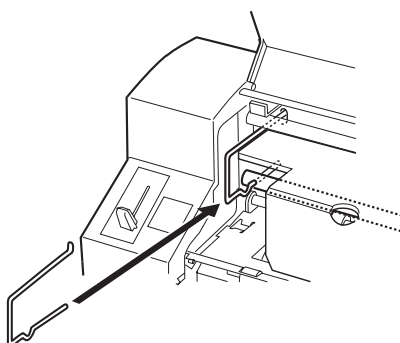
ステップ3 電源ケーブルとインターフェイスケーブルをはずします。

電源ケーブルをコンセントから抜きます。インターフェイスケーブルをプリンタから取りはずします。

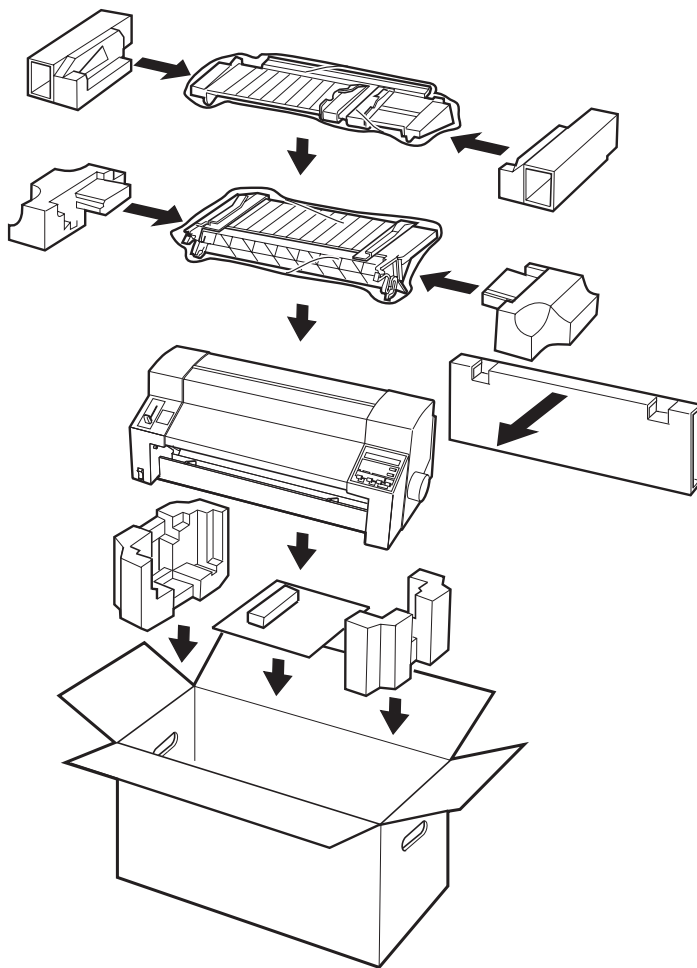
ステップ4 用紙ガイドをはずします。

用紙ガイド(前後)を取りはずします。取りはずしは「用紙ガイドの取りつけ」(9ページ)を参照して、取りつけの逆の手順で行ってください。

ステップ5 プリンタカバーを開けます。

ステップ6 保護具を取りつけます。

プリントヘッドを固定します。

軸を固定します。

ステップ **7** プリンタカバーを閉じます。

ステップ **8** 梱包材を取りつけて、プリンタを水平に梱包箱に入れます。

プリンタの輸送時には、上下を逆にしないでください。

困ったときは

ここでは、思うようにプリンタが動作しない場合の手引きを掲載しています。

●排紙が未完了のときは

前から給紙した単票用紙がきちんと排紙されなかったときに「カミヲ　ヒキヌイテクダサイ」というメッセージがパネル表示されます。
このメッセージが表示されたときは、次の手順で用紙を引き抜いてください。

ステップ **1** **電源スイッチはオンのままにしておきます。**

ステップ **2** **排紙されなかった用紙を手前に引き抜きます。**

注意

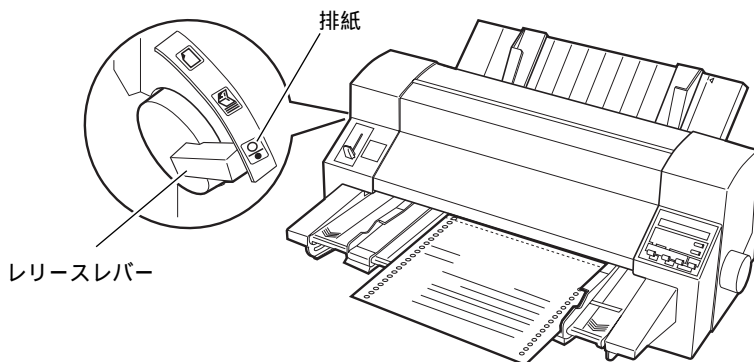
プリンタの電源がオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。

●用紙がつまったときは

用紙がつまったときはむやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取りのぞいてください。

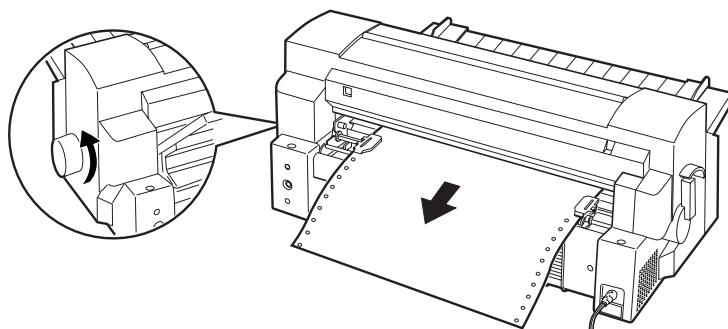
連続紙の処置方法

ステップ **1** **電源スイッチをオフにします**

ステップ **2** **レリースレバーを排紙位置にします。**

ステップ **3** **給紙する前の用紙をミシン目で切り離します。**

ステップ **4** **紙送りノブを手でゆっくりと時計回りに回します。**

紙送りノブを回すときは、必ず電源スイッチをオフにしてください。

用紙を後退させながら、静かに引き抜きます。プリンタ内に紙が残った場合は、「プリンタ内に紙が残ったときは」(82ページ)をお読みください。

ステップ **5** **レリースレバーを連続紙位置にします。**

ステップ **6** **連続紙をスプロケットにセットし直します。**

電源スイッチをオンにして、用紙を給紙します。

単票用紙の処置方法

ステップ **1** **電源スイッチをオフにします。**

ステップ **2** **レリースレバーを排紙位置にします。**

ステップ **3** **紙送りノブを手でゆっくりと反時計回りに回します。**

注意

紙送りノブを回すときは、必ず電源スイッチをオフにしてください。

用紙を前進させながら、静かに引き抜きます。プリンタ内に紙が残った場合は、次の「プリンタ内に紙が残ったときは」をお読みください。

ステップ **4** **レリースレバーを単票用紙位置にします。**

ステップ **5** **用紙をセットし直します。**

電源スイッチをオンにして、用紙を給紙します。

プリンタ内に紙が残ったときは

ステップ **1** **電源スイッチをオフにします。**

⚠注意

プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

ステップ **2** **プリンタカバーを開けて、用紙押さえローラを手前に倒します。**

ステップ **3** **プリントヘッドを移動します。**

プリントヘッドを手で右の端まで移動させます。

ステップ **4** **用紙を取りのぞきます。**

ステップ **5** **用紙押さえローラを閉じてから、プリンタカバーを閉じます。**

ステップ **6** **用紙をセットし直します。**

カットシートフィーダで用紙がつまったときは

ステップ **1** **電源スイッチをオフにします。**

ステップ **2** **カットシートフィーダのケーブルをはずします。**

カットシートフィーダのケーブルをプリンタから取りはずします。

ステップ **3** **カットシートフィーダを取りはずします。**

カットシートフィーダをプリンタから取りはずします。

ステップ **4** **用紙を取りのぞきます。**

紙送り方向へ用紙を引き抜きます。
プリンタ内に用紙が残った場合は、「プリンタ内に紙が残ったときは」（82ページ）をお読みください。

ステップ **5** **カットシートフィーダを取りつけてから用紙をセットし直します。**

紙づまりの防止

紙づまりをおこさないために、以下の点を守ってください。

使用するときは

- 用紙ガイド（前後）には、用紙を1枚（複写紙の場合は1部）だけセットしてください。カットシートフィーダ（オプション）に用紙をセットするときは、複数枚の用紙をセットしてください。用紙一枚で使用すると、正しく給紙されないことがあります。
- のり付け部が波打ったり硬くなっている単票複写紙は使用しないでください。
- ラベル紙を使用するときは、「プリンタの設定値変更」（45ページ）を参照して自動ティアオフ機能をOFFに設定してください。また、ラベル紙を排紙するときは、必ず 改行／改ページ スイッチを押してください。給紙／排紙 スイッチを押して排紙しないでください。
- 湿度の影響などで、丸くなっているラベル紙は使用しないでください。
- フラップ部がのり付けされた封筒は使用しないでください。
- 切手、シールなどを貼り付けた封筒は使用しないでください。
- 仕様に合った用紙を使用してください。薄すぎる用紙や厚すぎる用紙、折り目やしわのある用紙は、紙づまりの原因となります。
- カットシートフィーダに用紙をセットするときは、用紙をよくさばいてから、そろえてセットしてください。

詳しくは、「使用できる用紙」（22ページ）や「用紙仕様」（105ページ）をお読みください。

保存するときは

- 用紙は直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 用紙は常に水平に保管してください。
- 用紙は風通しのよい冷暗所に保管してください。乾燥しすぎた用紙や湿った用紙の給紙は正しく行われないことがあります。

●エラーメッセージが表示されたら

パネルにエラーメッセージが表示された場合は、次のような処置をとってください。メッセージの意味については44ページを参照してください。

表示メッセージ	処　　置
インサツ　テイシ：#0	印刷可 スイッチを押してください。
カバーオープン	プリンタカバーを閉じてから 印刷可 スイッチを押してください。
カミガ　アリマセン	用紙を補充してから 印刷可 スイッチを押してください。
カミサイズガ　チガイマス	正しいサイズの用紙をセットしてから 印刷可 スイッチを押してください。
カミヲ　キリカエラレマセン	使用したい用紙をセットしてください。レリースレバーと 用紙選択 スイッチの設定をその用紙に合わせてから、印刷可 スイッチを押してください。
カミヲ　キリハナシテクダサイ	カット位置にある用紙を切り離してから 印刷可 スイッチを押してください。
カミヲ　トリノゾイテクダサイ	電源スイッチをオフにして、つまっている用紙を取り除いてください。
カミヲ　ヒキヌイテクダサイ	電源スイッチはオンのまま、つまっている単票用紙を静かに引き抜いてください。このとき紙送りノブは絶対に回さないでください。
シバラク　オマチクダサイ	プリントヘッドの温度が下がれば自動的に印刷を再開しますので、そのままお待ちください。
データガ　ノコッテイマス	残っているデータを出力するか、プリントバッファをクリアしてください。 プリントバッファをクリアするときには、初期化を行います。初期化の方法は119ページを参照してください。
デンゲンヲ　キッテクダサイ	電源スイッチをオフにして、数分後に入れ直してください。再度エラー表示される場合には、電源をオフにしてからプリンタ内部に輸送用の保護具や異物が入っていないかを確認してください。さらにエラー表示される場合は、お買い求めいただいた販売店またはエプソン販売（株）までお問い合わせください。
レバーヲ　モドシテクダサイ	レリースレバーを正しい位置に設定してから 印刷可 スイッチを押してください。

●故障かな？と思ったら

プリンタが思うように動作しないときや、操作をしていて困ったときは、次の内容をチェックしてください。これらのことをチェックしても直らない場合は、お買い求めいただいた販売店またはお近くのエプソン販売㈱にご相談ください。なお、エプソン販売㈱のご相談先は裏表紙にあります。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、アプリケーションソフトウェアの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本機の名称（VP-4200）をご確認のうえ、ご連絡ください。

電源が入らない

電源スイッチをオンにしても操作パネルのランプが１つも点灯しない

原　因	処　置
電源コードがコンセントから抜けています。	しっかりと差し込んでください。
コンセントに問題がある可能性があります。	ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで動作するかどうかを確かめてください。
コンセントとプリンタの電圧が違います。	コンセントの電圧とプリンタのラベルに印刷されている電圧を確かめてください。万一、違う電圧を使用した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはエプソン販売㈱へご相談ください。

印刷しない

印刷可ランプが消灯している

原　因	処　置
印刷可ランプが消えているときは、プリンタが印刷不可状態になっています。	印刷可 スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させてください。→41ページ

印刷可ランプが点灯しているのに印刷しない

原　因	処　置
インターフェイスケーブルがはずれています。	プリンタ側もコンピュータ側も、しっかり接続してください。→14ページ
インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていません。	インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類や本プリンタの仕様に合ったケーブルを使用してください。→58ページ
アプリケーションソフトでのプリンタの設定が誤っています。	アプリケーションソフトの取扱説明書を参照し、本書の優先順位に従ってプリンタを設定してください。→16ページ

異常音がしたあと、電源以外の全ランプが点滅して印刷が止まった

原　因	処　置
用紙やリボンなどが引っかかって、プリントヘッドの動作を妨げています。	電源スイッチをオフにして、引っかかっているものを取り除いてください。

プリントヘッドは動くが印刷しない

原　因	処　置
リボンカートリッジが取りつけられていません。	「リボンカートリッジの取りつけ」(6ページ)を参照してリボンカートリッジを取りつけてください。
アジャストレバーの設定が適切ではありません。	アジャストレバーを紙厚に適した設定にしてください。

印刷可ランプが点滅して印刷しない、または印刷が突然止まった

原　因	処　置
ヘッドホット状態(プリントヘッドの温度が許容範囲を越えた高温になったために自動的に印刷が中断された状態)になっています。	ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開します。

以上のことを確認しても印刷しない場合は、インターフェイスケーブルを取りはずしてセルフテストをしてください(10ページ参照)。セルフテストをしても印刷しない場合は、お買い求めいただいた販売店またはエプソン販売㈱へご相談ください。

印刷が鮮明ではない

印刷が横一列に欠ける

	原　　因	処　　置
ABCD	プリントヘッドのピンが折れています。	お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスセンターへご相談ください。

印刷の下の部分が欠ける

	原　　因	処　　置
ABCD	リボンカートリッジが正しく取りつけられていません。	印刷を中止し、「リボンカートリッジの取りつけ」(6ページ)を参照して、リボンカートリッジを取りつけ直してください。

印刷が次のように欠ける

	原　　因	処　　置
ABCD	リボンがたるんだり、ねじれたりしています。	印刷を中止し、「リボンカートリッジの取りつけ」(6ページ)を参照して、リボンカートリッジを取りつけ直してください。

印刷が薄い

原　　因	処　　置
アジャストレバーの設定が適切ではありません。	アジャストレバーを紙厚に適した設定にしてください。→21ページ
リボンカートリッジが古くなっています。	「リボンカートリッジの交換」（72ページ）を参照して、新しいリボンカートリッジと交換してください。
高速印字が設定されています。	高速印字モードを解除してください。→43ページ

画面のとおりに印刷できない

この場合は、まず次の①あるいは②をチェックしてください。①②をチェックしても正しく印刷できない場合は、表の中のチェックを行ってください。

① ソフトウェアでのプリンタ設定が間違っていないかを確認してください。→16ページ
② 「ESC/Pスーパー」がOFFになっている場合はONに、ONになっている場合はOFFにしてください。→48ページ

カタカナがグラフィック文字で印刷される、またはグラフィック文字がカタカナで印刷される	
原　　因	処　　置
文字コード表の選択が間違っています。	プリンタ設定値の「文字コード表」の設定を変更してください。→46ページ
特定の文字や記号が違う文字や記号で印刷される	
原　　因	処　　置
国際文字の選択が違っています。	ソフトウェア上でコントロールコードを送ることができる場合は、国際文字選択（ESC R n）により、使用する国の文字に変更してください。

他の文字が混入する、または全く違う文字や記号が印刷される

原　因	処　置
ソフトウェア上のプリンタ設定が間違っています。	ソフトウェア上のプリンタ設定を本書に記載されている優先順位に従って設定してください。→16ページ
ESC/Pスーパーの設定が間違っています。	・PC-9800シリーズ／エプソンPCシリーズを使用している場合は、プリンタ設定値の「ESC/Pスーパー」をONにしてください。→48ページ ・ソフトウェア上のプリンタ設定がエプソンプリンタのときは、プリンタ設定値の「ESC/Pスーパー」をOFFにしてください。→48ページ ・海外版ソフトウェアを使用している場合は、プリンタ設定値の「ESC/Pスーパー」をOFFにしてください。→48ページ
「インターフェイス」が自動のときにウェイト時間が経たないうちに、もう一方のインターフェイスからデータを送っています。	・プリンタ設定値の「インターフェイス固定解除時間」で設定した時間が経ってからデータを送ってください。 ・プリンタ設定値の「インターフェイス」を「オプション」にし、インターフェイスカード上のディップスイッチによって、インターフェイスを選択してください。→47ページ

給紙位置が上すぎる、または下すぎる

原　因	処　置
給紙位置の設定が不適切です。	アプリケーションソフトで上マージンが設定できる場合には、上マージンを正しく設定してください。

行間隔が広すぎる、または狭すぎる

原　因	処　置
改行量の設定が間違っています。	アプリケーションソフト上でコントロールコードを送ることが可能な場合には(ESC 0)、(ESC 2)、(ESC 3)コードで改行量を設定してください。

1行余分に改行される

原　因	処　置
自動改行が設定されています。	コンピュータから改行命令が送られてくるので、自動改行は必要ありません。プリンタ設定値の「自動改行」をOFFにしてください。 →48ページ
左右のマージンが狭すぎます。	アプリケーションソフト上でコントロールコードを送ることが可能な場合には(ESC l)や(ESC Q)コードで左右のマージンを設定してください。

改行されずに重なって印刷される。

原　因	処　置
改行命令がコンピュータから送られていません。	自動改行の設定が必要です。プリンタ設定値の「自動改行」をONにしてください。 →48ページ

1ページ分の印刷が2ページにわたって印刷される

原　因	処　置
プリンタに設定されているページ長と、実際に使用している用紙の長さが異なっています。	・アプリケーションソフトやプリンタの設定を、実際に使用している用紙の長さに合わせてください。 ・アプリケーションソフト上でコントロールコードを送ることが可能な場合には(ESC C)コードでページ長を設定してください。 ・連続紙のページ長は、プリンタ設定値の「ページ長(連続紙)」で設定し直してください。→46ページ

印刷途中で数行分の空白ができる

原　　因	処　　置
ミシン目スキップが設定されています。	・プリンタ設定値の「ミシン目スキップ」をOFFにしてください。→46ページ ・アプリケーションソフト上でコントロールコードを送ることが可能な場合には、(ESC O)コードでミシン目スキップを解除してください。

ミシン目スキップを設定したが、うまく動作しない

原　　因	処　　置
プリンタに設定されているページ長と、実際に使用している用紙の長さが異なっています。	・アプリケーションソフトやプリンタの設定を、実際に使用している用紙の長さに合わせてください。 ・アプリケーションソフト上でコントロールコードを送ることが可能な場合には、(ESC C)コードでページ長を設定してください。
給紙位置が短かすぎるか、あるいは長すぎます。	パネル設定で給紙位置の調整をしてください。→45ページ

縦罫線がずれる

原　因	処　置
双方向で印刷すると、微妙なずれを生じることがあります。	・プリンタ設定値の「印字方向」を単方向に設定してください。→46ページ ・アプリケーションソフト上でコントロールコードを送ることが可能な場合には、(ESC U)コードで単方向印字を設定してください。
アプリケーションソフトでのプリンタ設定に問題があります。処置の内容を、上から順にチェックしてください。	・ソフトウェア上のプリンタ名を本書の優先順位に従って設定してください。→16ページ ・アプリケーションソフトでの用紙の設定をプリンタで実際に印刷する用紙と一致させてください。 ・PC-9800シリーズを使用している場合には、コンピュータ本体のメモリスイッチで「PC-PR201系プリンタを使用する」を設定する必要があります。PC-9801/E/F/U2/VF/VM2以前の機種はメモリスイッチの出荷時設定が「PC-PR201系プリンタを使用しない」になっていますので、変更が必要です。 ・プリンタにカットシートフィーダを取りつけている場合、アプリケーションソフトでカットシートフィーダが使用できることを確認してください。カットシートフィーダが使用できる場合にはソフトウェアのプリンタ設定で「カットシートフィーダを使用する」に設定します。カットシートフィーダが使用できない場合や、プリンタ設定でPC-PR系のプリンタ（PC-PR201Hなど）を選択した場合にはプリンタからカットシートフィーダを取りはずしてください。

以上のことを確認しても正しく動作しない場合には、お買い求めいただいた販売店またはエプソン販売㈱へご相談ください。

プログラム実行時のトラブル

プログラムを実行しても正しく印刷されない

原　　因	処　　置
プリンタの設定に問題があります。	いったん電源スイッチをオフにしてから、プリンタ設定値の「ESC/Pスーパー」の設定を変更してください。→48ページ
プログラムの内容に問題があります。	・ESC/Pのコントロールコードを使用してプログラムを作成してください。 ・印刷プログラムの最初で、プリンタに初期化コード（ESC @）を送ってください。 ・16進ダンプ機能を使って、プリンタに正しくコードが送られているかどうか確かめてください。→56ページ ・使用しているコンピュータや言語によっては、プリンタ用の特殊命令を持っているものもあります。コンピュータや言語の説明書を参照してください。

プログラムリストやハードコピーが正しく印刷されない

原　　因	処　　置
プリンタの設定に問題があります。	いったん電源スイッチをオフにしてから、プリンタ設定値の「ESC/Pスーパー」をONにしてください。→48ページ
コンピュータの設定に問題があります。	・PC-9800シリーズを使用している場合には、コンピュータ本体のメモリスイッチで「PC-PR201系プリンタを使用する」を設定する必要があります。PC-9801/E/F/U2/VF/VM2以前の機種はメモリスイッチの出荷時設定が「PC-PR201系プリンタを使用しない」になっていますので、変更が必要です。 ・PC-9800シリーズ以外のコンピュータを使用している場合には、プリンタ設定値の「ESC/Pスーパー」をOFFにしてください。→48ページ

紙送りがうまくいかない

プラテンは回るが給紙されない　または別の用紙が給紙される

原　　因	処　　置
レリースレバーの設定が間違っています。	レリースレバーの位置を使用する用紙位置に設定してください。
エッジガイドの間隔が狭すぎて、単票用紙がなめらかに給紙できません。	左右のエッジガイドの間で用紙がなめらかに上下できる程度にエッジガイドの位置を合わせてください。
単票用紙がしっかりと差し込まれていません。	厚い用紙を使用するときには、エッジガイドの間から用紙を入れて、上から指で軽く押すようにして差し込んでください。

用紙が曲がって送られる

原　　因	処　　置
用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。	用紙ガイドを正しく取りつけた状態で使用してください。
エッジガイドの間隔が広すぎます。	エッジガイドを単票用紙の幅に合わせてください。
用紙が仕様に合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。 →105ページ

用紙が完全に排紙されない

原　　因	処　　置
改行／改ページ スイッチを押して排紙しています。	単票用紙の排紙には、給紙／排紙 スイッチを使用してください。

連続紙が給紙されない

原　　因	処　　置
連続紙がプッシュトラクタからはずれています。	連続紙をセットし直してください。 →27ページ

連続紙が曲がって送られる、またはプリンタの中で引っかかってしまう

原　因	処　置
用紙ガイド（前）に連続紙が引っかかっています。	用紙ガイドを押し込んだ状態にしてください。
連続紙の両端の穴が、左右ずれた状態でプッシュトラクタにセットされています。	連続紙の穴がプッシュトラクタに並行になるようにセットし直してください。
プッシュトラクタの左右スプロケット間隔が狭すぎて連続紙が横方向にたるんでいます。	右側のスプロケットを動かして、連続紙のたるみを取り除いてください。
連続紙の上に物が置いてあったり、経路の途中でケーブルなどに引っかかっています。	連続紙の動きを妨げているものを取り除いてください。
連続紙がプリンタに対してまっすぐに入っていません。	連続紙をプリンタに対してまっすぐ入る位置へ動かしてください。
連続紙の置き場所がプリンタから遠すぎます。	連続紙をプリンタから1m以内の場所に置いてください。
連続紙が仕様に合っていません。	仕様に合った連続紙を使用してください。 →22、105ページ

印刷の途中で数行分の空白ができる

原　因	処　置
ミシン目スキップが設定されています。	プリンタ設定値の「ミシン目スキップ」をOFFにしてください。 →46ページ

ミシン目スキップを設定したが、実際のミシン目とずれてしまう

原　因	処　置
アプリケーションソフトのページ長の設定が、実際に使用している連続紙のページ長と異なっています。	・ プリンタ設定値の「ページ長（連続紙）」で正しいページ長を設定してください。 →46ページ ・ アプリケーションソフト上でコントロールコードを送ることができる場合には、（ESC C）コードでページ長を設定してください。

印刷が終わると急に紙送りされてしまう。

原　　因	処　　置
自動ティアオフ機能が設定されています。	プリンタ設定値の「自動ティアオフ」をOFFに設定してください。 →30、48ページ

自動ティアオフ機能を設定しているのに実行されない

原　　因	処　　置
印刷終了位置が、ページ先頭行になっていません。	・1ページの印刷データの最後にFF(改ページ)コードを送ってください。(このとき、FFコードに続けて改行命令を送らないでください。たとえばEPSON日本語Disk BASICでプログラムを作成している場合には次のようにします。 LPRINT CHR$(12); ・印刷データが連続して送られている間はティアオフ機能は働きません。

用紙が完全に排紙されない、またはプリンタ内で引っかかってしまった

原　　因	処　　置
印刷を終了している用紙が長すぎるため、[給紙／排紙]スイッチを1回押しただけでは完全に排紙できないことがあります。	印刷の終了しているページはプリンタに近いミシン目で切り離してください。
ラベル紙を[給紙／排紙]スイッチで排紙しようとしています。	ラベル紙を逆送りするとプリンタ内部に貼りついてしまいます。必ず[改行／改ページ]スイッチを押して排紙します。印刷が完了したら、排紙する前に給紙前のミシン目で連続紙を切り離してください。プリンタ内部にラベルが貼りついて正常に印刷できない場合には、お買い求めの販売店かエプソン販売㈱にご相談ください。

用紙の切りかえがうまくいかない

単票用紙をセットして 給紙／排紙 スイッチを押したら、連続紙が後方へ送られてしまう	
原　因	**処　置**
レリースレバーが単票用紙位置になっていません。	連続紙が排紙されていることを確認して、レリースレバーを単票用紙位置にしてから単票用紙を給紙してください。→36ページ
給紙／排紙 スイッチを押しても連続紙が給紙されない	
原　因	**処　置**
レリースレバーが単票用紙位置になっています。	レリースレバーを連続紙位置にしてから給紙します。→36ページ
プラテンは回るが、給紙されない	
原　因	**処　置**
連続紙がプッシュトラクタからはずれています。	連続紙をプッシュトラクタに正しくセットし直してください。→27ページ

以上の項目を確認しても直らない場合には、お買い求めいただいた販売店またはエプソン販売㈱へご相談ください。

カットシートフィーダでうまく紙送りできない

給紙／排紙 スイッチを押しても用紙が給紙されない	
原　因	処　置
カットシートフィーダのケーブルがプリンタに接続されていません。	カットシートフィーダのケーブルをプリンタのコネクタにしっかり差し込んでください。 →65ページ

コンピュータから印刷命令を送ってもプラテンが回らず、用紙が給紙されない	
原　因	処　置
プリンタが印刷不可状態になっています。	印刷可 スイッチを押してプリンタを印刷可状態にしてから印刷命令を送ってください。 →41ページ

プラテンは回るが、給紙されずにブザーが鳴って用紙チェックランプが点灯する	
原　因	処　置
用紙がセットされていません。	用紙をカットシートフィーダにセットしてください。
レリースレバーが単票用紙側になっていません。	レリースレバーを単票用紙側にしてください。
カットシートフィーダが正しくセットされていません。	正しく取りつけ直してください。とくにプリンタ本体とカットシートフィーダのギヤがうまくかみ合うことを確認してください。 →65ページ
カットシートフィーダのエッジガイドの間隔が狭すぎて、用紙がなめらかに給紙されません。	エッジガイドを用紙がなめらかに上下できる程度の幅に調整してください。 →67ページ
カットシートフィーダにある最後の1枚は給紙されないことがあります。	カットシートフィーダの用紙が残り少なくなったら新しい用紙を加えてください。

一度に2枚以上の用紙が送られる

原　因	処　置
カットシートフィーダにセットしてある用紙の枚数が多すぎます。	カットシートフィーダにセットできる用紙の枚数は、A4サイズまでの場合、55kg紙で250枚までにしてください。
用紙と用紙が静電気などでくっついている場合があります。	用紙は、セットする前に十分さばいておいてください。

用紙が曲がって送られる

原　因	処　置
用紙に折り目やしわがあります。	使い古しの紙や、折れ曲がった紙はうまく紙送りされず、プリンタ内で引っかかることがあります。新しい用紙を使用してください。
カットシートフィーダのエッジガイドの間隔が広すぎます。	エッジガイドを用紙の幅に合わせて調整してください。→67ページ
用紙が仕様に合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。→64ページ

1枚紙の手差しができない

原　因	処　置
用紙を差し込む位置が間違っています。	用紙ガイド（前後）にセットしてください。→32ページ

レリースレバーを単票用紙位置にしたが、連続紙が送られた

原　因	処　置
レリースレバーを切りかえる前に、連続紙が完全に後方へ排紙されていませんでした。	レリースレバーを切りかえる前に 給紙／排紙 スイッチを押して連続紙をトラクタ位置まで排紙します。それからレリースレバーを切りかえてください。→36ページ

インターフェイスカードを使用するとうまく印刷されない

印刷ができない、印刷がおかしい	
原　　因	処　　置
「インターフェイス」の設定が間違っています。	プリンタ設定値の「インターフェイス」を「オプション」にし、インターフェイスカード上のディップスイッチによって、インターフェイスを選択してください。→47ページ
インターフェイスカード上のディップスイッチやジャンパーの設定が間違っています。	インターフェイスカードの取扱説明書を参照して、設定し直してください。
アプリケーションソフト上の設定が間違っています。	アプリケーションソフトの説明書を参照して、正しく設定してください。
インターフェイスカードとコンピュータの条件設定が一致していません。	それぞれの説明書を参照して、同じ条件に設定してください。
インターフェイスカードがはずれています。	正しく取りつけてください。→62ページ
インターフェイスカードが仕様に合っていません。	「インターフェイスカード」(59ページ)を参照して、仕様に合ったインターフェイス基板を使用してください。

以上のことを確認しても正しく動作しない場合には、お買い求めいただいた販売店またはエプソン販売㈱へご相談ください。

付録

プリンタの仕様や文字コード表などを記載しています。必要に応じて参照してください。

●プリンタの仕様

基本仕様

- **・印字方式**　：　インパクトドットマトリクス
- **・ピン配列**　：　24ピン
- **・印字方向**　：　双方向最短距離印字（ロジカルシーキングつき）
- **・印字桁数／印字速度**：

CPL・・・ Characters per Line
CPI・・・ Characters per Inch
CPS・・・ Characters per Second

英数カナ文字

文字ピッチ	印字桁数（CPL）	印字速度（CPS）	
		ドラフト	高品位
10CPI	136	360	120
12CPI	163	432	144
15CPI	204	540	180
17.1CPI（10CPI縮小）	233	309	206
20CPI（12CPI縮小）	272	360	240

漢字

印字モード	印字桁数（CPL）	文字密度（CPI）	印字速度（CPS）	
			高速	高品位
漢字全角	90	6.7	160	80
漢字半角	188［181］	13.8［13.3］	332［320］	166［160］
1/4角文字	174［168］	12.8［12.4］	309［298］	154［149］

＊［　］内は半角文字間スペース補正時

- **・紙送り方式**　：　フリクションフィード
  紙幅可変プッシュトラクタフィード
  カットシートフィーダ（オプション）
- **・改行間隔**　：　初期設定4.23mm｛1/6インチ｝
  （コントロールコードで4.23mm｛1/6インチ｝、3.18mm｛1/8インチ｝あるいは0.07mm｛1/360インチ｝単位に設定可能）
- **・改行速度**　：　42ms／行（行間隔4.23mm｛1/6インチ｝）
  152.4mm｛6インチ｝／秒（連続送り時）
- **・入力データバッファ**：　128Kバイト／1Kバイト（プリンタ設定にて選択）
- **・紙厚調整**　：　自動／手動紙厚調整機能

文字仕様

	英数カナ文字	漢字
文字コード	カタカナコード 拡張グラフィックスコード マルチリンガルコード	漢字コード （JISX0208-1990準拠）
文字種	英数カナ文字 グラフィックス 拡張グラフィックス 国際文字	第1水準 第2水準 特殊文字
書体	EPSON ROMAN EPSON SANS SERIF EPSON OCR-B	明朝 ゴシック

バーコード書体　：　EAN-13、EAN-8、Interleaved 2of5、UPC-A、UPC-E、Code39、Code128、POSTNET

用紙仕様

●連続紙

項目	詳細	
	一枚紙	複写紙
品質	上質紙	ノンカーボン紙
用紙幅	101.6～406.4mm{4～16インチ}	
折りたたみ長	101.6mm{4インチ}以上	
用紙厚	0.065～0.12mm	0.12～0.53mm
用紙重量（連量*1）	45～90Kg	34～50Kg

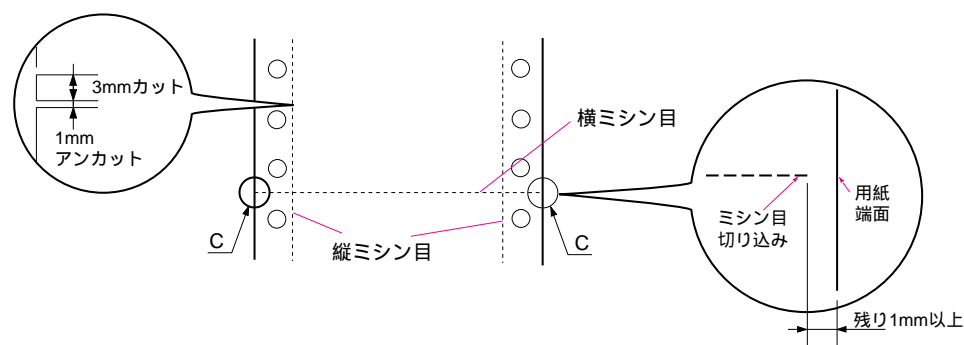
*1　連量は四六判（788×1091mm²）の用紙1000枚の重量をkgで表したものです。

用紙詳細　　　　　：

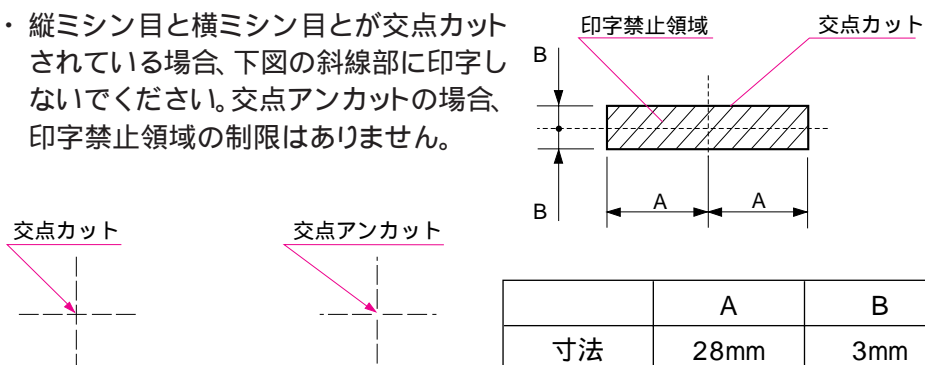
用紙の種類	枚数	連量(kg)	備考
1枚紙	1	45,55,70,90	
ノンカーボン紙 *1	2 3 4 5 6 7	34,43,50 34,43,(50) 34,(43,50) 34,(43,50) 34,(43,50) 34,(43,50)	ただし、総紙厚0.53mm {0.021インチ}以下とする。 (　)内の連量用紙は、複写最下層のみ使用可能。

*1　ノンカーボン紙の連量はメーカーによって異なるため、表の数値にいちばん近い連量の用紙を選んでください。

ミシン目の入れ方　　：

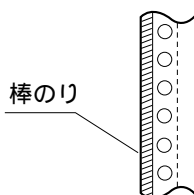
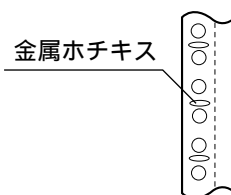
・1枚用紙のミシン目のカット、アンカットの比率は約3：1～5:1としてください。
・横ミシン目の両端部Cのアンカット寸法は1mm以上としてください。

・縦ミシン目と横ミシン目とが交点カットされている場合、下図の斜線部に印字しないでください。交点アンカットの場合、印字禁止領域の制限はありません。

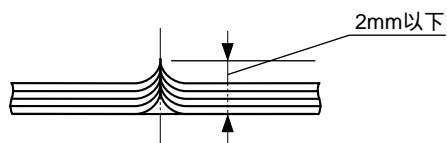
交点カット

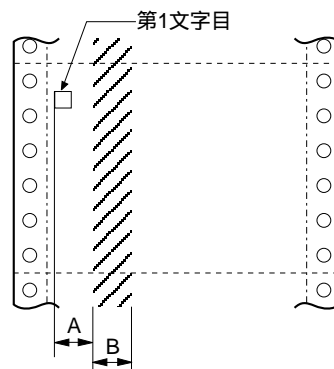
交点アンカット

	A	B
寸法	28mm	3mm

連続複写紙のとじ方 ：
複写紙を使用する場合は、必ず以下のとじ方の用紙を使用してください。本プリンタで最も推奨するとじ方は両側点のりとじ（千鳥とじ）です。

名称	両側点のりとじ（千鳥とじ）	両側紙ホチキスとじ（ダブルギャザー）	片側点のりとじ（千鳥）＋片側紙ホチキスとじ（ダブルギャザー）
とじ方	1インチ以下	3インチ以下 印字面	1インチ以下 3インチ以下

注意

折り畳み部分のふくらみ：
用紙の折り畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは2mm以下のものを使用してください。

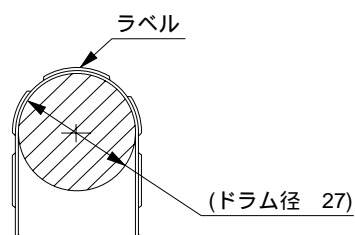
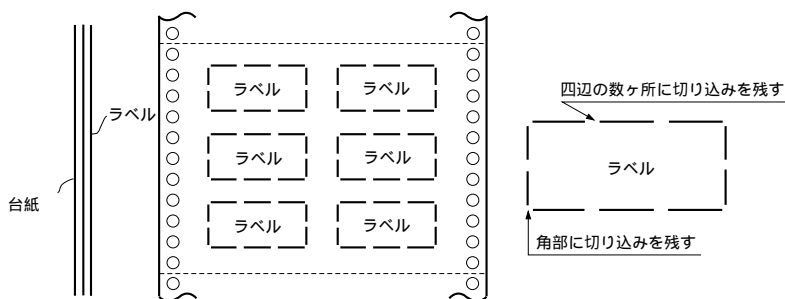
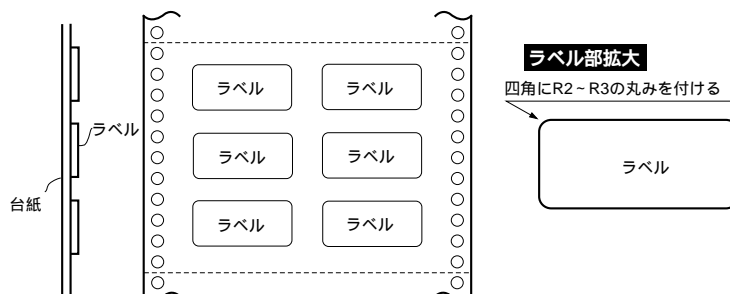
2mm以下

とじ穴のあけ方 ：
・ とじ穴は斜線部内にかからないようにあけてください。

	A	B
寸法	36	14

●ラベル紙

項目	詳細
品質	ラベルおよび台紙は上質紙
台紙用紙幅	101.6～406.4mm{4～16インチ}
台紙折りたたみ長	101.6mm{4インチ}以上
用紙厚（台紙を含む）	0.16～0.19mm

- **ラベル紙は一般室温環境で使用してください。**
- **ラベル紙および台紙は、用紙表面の光反射率が60%以上のものを使用してください。**

ラベルの貼付強度　：
次の条件でめくれないラベルを使用してください。

巻付ドラム径	φ27mm
巻付角度	180 °
巻付時間	24時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%

用紙の形式　：
カストリ（ラベル以外の粘着シールをはぎとること）をしない用紙を使用してください。

カストリをした用紙を使用するときは、ラベルの角にR2～3mmの丸みをつけてください。アジャストレバーを用紙厚に適した位置に設定してください。

●単票用紙（単票複写紙）

項目	詳細	
	一枚紙	複写紙*3
品質	上質紙*1、普通紙 PPC用紙、再生紙	ノンカーボン紙
用紙幅	92～420mm{3.6～16.5インチ}	
用紙長	90～420mm{3.6～16.5インチ}*4	
用紙厚	0.065～0.12mm	0.12～0.53mm
用紙重量（連量*2）	45～90Kg	34～50Kg

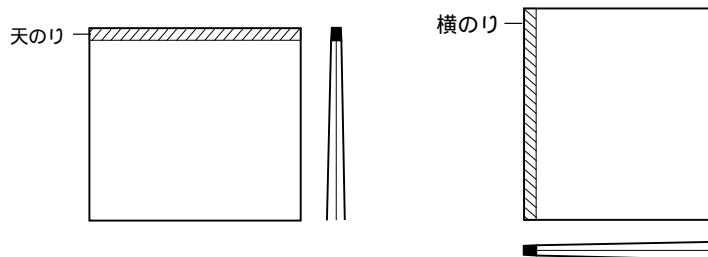
*1　本説明書では、上質紙、普通紙、PPC用紙を総称として、上質紙と表記します。
*2　連量は、四六判（788×1091mm²）の用紙1000枚の重量をkgで表したものです。
*3　複写紙は、ノンカーボン紙を使用し、裏カーボン紙・中カーボン紙は使わないでください。
*4　横のりとじの複写紙の用紙長は最大297mmまでです。

用紙詳細　　　　　　　：

用紙の種類	枚数	連量(kg)	用紙ガイド(前)	用紙ガイド(後)	備考
1枚紙	1	45,55,70,90	○	○	
ノンカーボン紙 *1	2	34,43,50	○	○	ただし、総紙厚0.53mm{0.021インチ}以下とする。( )内の連量用紙は、複写最下層のみ使用可能。
	3	34,43,(50)	○	○	
	4	34,(43,50)	○	○	
	5	34,(43,50)	○	○	
	6	34,(43,50)	○	○	
	7	34,(43,50)	○	ー	

表中の○印は、用紙ガイド(前)または(後)で使用できる単票用紙を示します。

*1　ノンカーボン紙の連量はメーカーによって異なるため、表の数値にいちばん近い連量の用紙を選んでください。

- **複写紙は天のりとじまたは横のりとじの用紙を使用してください。**
- **とじののり付けは、用紙一端面全面にあるものを使用してください。**
- **のり付け部が波打ったり硬くなったりしていないものを使用してください。**

●ハガキ

項目	詳細	
品質	通常ハガキ	往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	約0.22mm	

- **ハガキは一般室温環境で使用してください。**
- **往復ハガキは折り跡のないものを使用してください。**
- **官製ハガキを原則的に使用してください。私製ハガキを使用するときは、上記の仕様を満たし、用紙表面が白色（光反射率が60%以上）で、シミ・ピンホール・しわ・カール・毛羽立ちのない上質紙を使用してください。**

●封筒

項目	詳細
品質	クラフト紙、ケント紙
用紙厚(総厚)*1	0.12～0.46mm

*1　ただし、印字領域内における紙厚差は0.25mm{0.01インチ}以下とします。

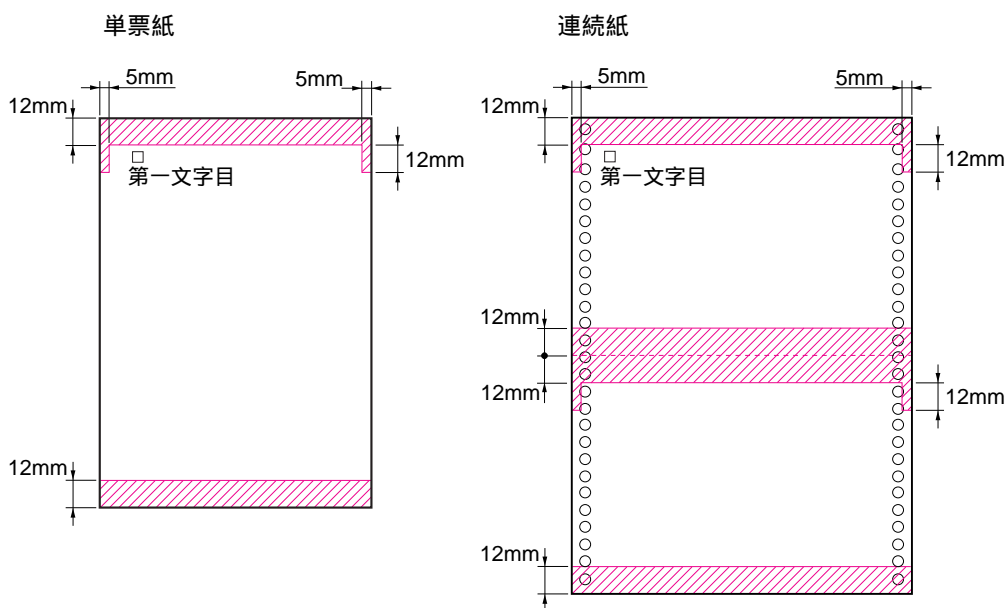
推奨する封筒サイズ(JIS S5502準拠)

名称		用紙幅(mm)	用紙長さ(mm)	用紙重量(坪量)*1
和封筒	長形4号	205	90	50～85
	長形3号	235	120	50～85
	角形3号	277	216	70～85
	角形2号	332	240	70～120
洋封筒	洋形2号	162	114	50～85
	洋形5号	217	95	50～85

*1　坪量は、用紙サイズ1m²の重量(g)を表したものです。

- **フラップ部がのり付け加工された封筒は使用しないでください。**
- **切手やシールなどを貼りつけた封筒は使用しないでください。**
- **一重封筒を使用してください。**
- **封筒は一般室温環境で使用してください。**
- **封筒は、必ず長手方向が横になるようにセットしてください。**
- **用紙表面の光反射率が60%以上の封筒を使用してください。**
- **和封筒は、フラップ部を折り曲げていない状態で給紙してください。**
- **和封筒の表面に印字する場合は、印字開始位置が封筒の肩（フラップ部を除いた位置）から3mmの場所になるように、エッジガイドの位置を調整してセットしてください。**
- **和封筒は、カットシートフィーダ（オプション）からは、給紙しないでください。**
- **洋封筒は、フラップ部を折り曲げた状態で給紙してください。**

●プレ印刷について

単票紙、単票複写紙、連続紙などの用紙面に、あらかじめ罫線や文字や図形など（規定書式）の印刷を行なうことをプレ印刷といいます。
プレ印刷では、光反射率60%未満の色（例えば黒）の使用を制限する次の領域（下図斜線部）があります。

注意

- パンチ穴なども、光反射率60%未満の色と同様になりますので、制限領域への穴あけは避けてください。
- プレ印刷した用紙をお使いになる前に、サンプルを使ってプリンタでの印刷が可能であることをお確かめください。

電気関係仕様

- **定格電圧** ： AC 100V
- **入力電圧範囲** ： AC 90～110V
- **定格周波数** ： 50～60Hz
- **入力周波数範囲** ： 49.5～60.5Hz
- **定格電流** ： 1.4A（最大5.0A）
- **消費電力**
  - 連続印刷時平均 ： 約60W（ISO/IEC 10561レターパターン印字）
  - 待機時 ： 15W以下
- **絶縁耐力** ： AC1000V RMS 1分またはAC1200V RMS 1秒

総合仕様

- **総印字量** ： 9,000,000行（プリントヘッド寿命は除く）
- **プリントヘッド寿命** ： 2億ドット（1ピン当たり／黒リボンカートリッジ使用時）
  ： 1億ドット（1ピン当たり／カラーリボンカートリッジ使用時）
- **温度** ： 動作時：5～35℃
  保存時：－30～65℃
- **湿度** ： 動作時：10～80％（非結露）
  保存時：5～85％（非結露）
- **一般室温環境** ： 温度15～25℃、湿度30～60％（非結露）
- **プリンタ本体重量** ： 約16kg
- **プリンタ本体外形寸法** ： 幅678mm×奥行き509mm×高さ285mm
- **リボン寿命**
  - 黒リボンカートリッジ（VP4000RC） ： 600万文字
    （高品位、10CPI、48ドットで印字）
  - カラーリボンカートリッジ（VP4000CRC） ： ブラック　150万文字
    シアン　110万文字
    マゼンダ　110万文字
    イエロー　80万文字
    （各色とも高品位、10CPI、48ドットで印字）

インターフェイス仕様

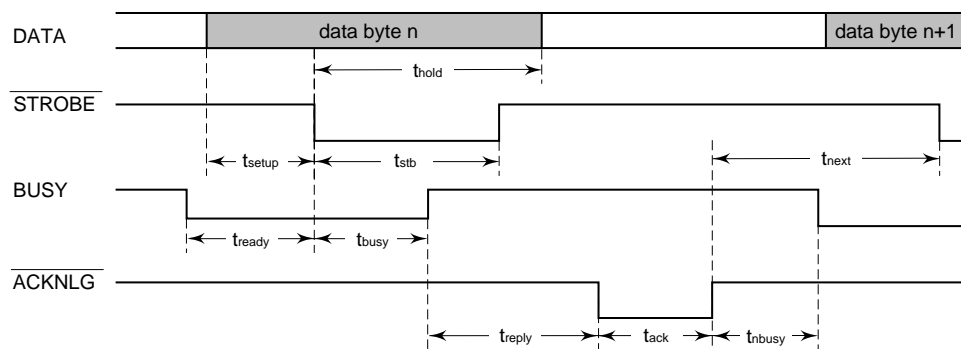
パラレルインターフェイス(フォワードチャネル)

- **データ転送方式**　：　8ビットパラレル
- **同期方式**　：　外部供給STROBEパルス信号
- **ハンドシェイク**　：　ACKNLGおよびBUSY信号
- **ロジックレベル**　：　TTLレベル(IEEE-1284 Level 1 device)
- **適合コネクタ**　：　57-30360(アンフェノール)の36ピンプラグまたは同等品(インターフェイスケーブルは必要最短距離とすること)
- **入力信号**(コネクタ端子の信号配列と信号)

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	$\overline{\text{STROBE}}$	センタマシン	データを読み込むためのストローブパルスです。パルス幅は受信端にて0.5μs以上必要です。定常状態は"HIGH"であり、"LOW"になった後にデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの1ビット目から8ビット目までの情報を表します。 "HIGH"はデータが"1"であり、"LOW"はデータが"0"であることを示します。
10	28	$\overline{\text{ACKNLG}}$	プリンタ	"LOW"は、プリンタのデータ受け取り準備ができていることを表すパルス信号です。
11	29	BUSY	プリンタ	"HIGH"は、プリンタがデータを受け取れない状態であることを示します。"LOW"はデータを受け取れる状態であることを示します。 "HIGH"になるのは次の状態のときです。 ①データエントリー中 ②エラー状態 ③バッファフル ④イニシャライズ中またはINIT信号が"LOW"の間 ⑤テスト印刷、設定モード中
12	28	PE	プリンタ	"HIGH"は、プリンタに用紙がないことを示します。
13	28	SLCT	プリンタ	常に"HIGH"状態。1.0KΩで、+5Vにプルアップされています。
14	30	$\overline{\text{AFXT}}$	センタマシン	使用していません。

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
15	―	NC	―	使用していません。
16	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
17	―	CHASSIS GND	―	プリンタシャーシのグランド
18	―	Logic H	―	常に“ HIGH ”状態。3.9KΩで＋5Vにプルアップされています。
19～30	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
31	30	$\overline{\text{INIT}}$	センタマシン	パルス幅50μs以上の“ LOW ”パルスによりプリンタは初期状態にセットされます。
32	29	$\overline{\text{ERROR}}$	プリンタ	“ LOW ”はプリンタがエラー状態であることを示します。
33	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
34	―	NC	―	使用していません。
35	―	＋5V	―	常に“ HIGH ”状態。1.0KΩ＋5Vにプルアップされています。
36	30	SLCT IN	センタマシン	使用していません。

- **“ LOW ” アクティブ信号の場合には、信号名の上に横棒がついています。**
- **リターン側とは、ツイストペアリターンを意味し、信号グランドレベルに接続します。なお、インターフェイスについて、各信号は必ずツイストペア線を使用して、リターン側についても必ず接続します。**
  さらに、このケーブルにはシールドを行い、コンピュータとプリンタのシャーシグランドに接続することでノイズ対策に効果があります。
- **インターフェイス条件は、すべてTTLレベルを基準とします。**
  プリンタ出力の立ち上がり／立ち下がり時間：120nsec以下
  センタマシン出力の立ち上がり／立ち下がり時間：200nsec以下
- **$\overline{\text{ACKNLG}}$またはBUSY信号を無視してのデータ転送は行わないでください（プリンタへのデータ転送は、$\overline{\text{ACKNLG}}$を確認するか、BUSYが “ LOW ” 状態のときに行ってください）。**

パラレルインターフェイスタイミングチャート

パラメータ	最小値	最大値
tsetup	500 nsec	—
thold	500 nsec	—
tstb	500 nsec	—
tready	0	—
tbusy	—	500 nsec
treply	—	—
tack	500 nsec	10 us
tnbusy	0	—
tnext	0	—

パラレルインターフェイス(リバースチャネル)

・データ転送方式 ： IEEE-1284ニブルモード
・同期方式 ： IEEE-1284準拠
・ハンドシェイク ： IEEE-1284準拠
・ロジックレベル ： TTLレベル(IEEE-1284 Level 1 device)
・データ転送タイミング ： IEEE-1284準拠
・拡張要求データ ： 拡張要求データ値が00Hまたは04Hの場合、要求を受けつける。それぞれの意味は次の通り。
00H：リバースチャネル転送をニブルモードで行う要求
04H：リバースチャネル転送のニブルモードを使用してデバイスIDを返すことを要求
・デバイスID ： [00H][44H]
MFG:EPSON;
CMD:ESCPL2J, PR201, ESCPSUPER, BDC;
MDL:VP-4200;
CLS:PRINTER;

・入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号）

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	HostClk	センタマシン	ホスト側のクロック信号。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの1ビット目から8ビット目までの情報を表します。" HIGH "はデータが" 1 "であり、" LOW "はデータが" 0 "であることを示します。
10	28	PtrClk	プリンタ	プリンタ側のクロック信号
11	29	PtrBusy/ DataBit-3,7	プリンタ	プリンタ側のBUSY信号およびリバースチャネルでのデータビット3またはデータビット7
12	28	AckDataReq/ DataBit-2,6	プリンタ	Acknowledgeデータ要求信号およびリバースチャネルでのデータビット2またはデータビット6
13	28	Xflag/ DataBit-1,5	プリンタ	X-flag信号およびリバースチャネルでのデータビット1またはデータビット5
14	30	HostBusy	センタマシン	ホスト側のBUSY信号
15	---	NC	---	使用していません。
16	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
17	---	Chassis	---	プリンタのシャーシのグランド
18	---	Logic H	プリンタ	" HIGH "はプリンタの出力するすべての信号が有効であることを示しています。
19〜30	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
31	30	$\overline{\text{INIT}}$	センタマシン	使用していません。
32	29	$\overline{\text{Data Avail}}$/ DataBit-0,4	プリンタ	Data available信号およびリバースチャネルでのデータビット0またはデータビット4
33	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
34	---	NC	---	使用していません。
35	---	+5V	プリンタ	常に" HIGH "状態 1.0kΩで+5Vにプルアップされています。
36	30	1284-Active	センタマシン	1284 active信号

シリアルインターフェイス

- **データ転送方式**　：　非同期シリアル
- **同期方式**　：　EIA-232Dに準拠
- **ワード長**　：　スタートビット　1ビット
  データビット　8ビット
  パリティビット　偶数、奇数、なし
  ストップビット　1ビット
  ＊ パリティビットの「無視」はサポートしていません。代わりに「偶数」を選択してください。
- **ボーレート**　：　300、600、1200、2400、4800、9600、19200bps
- **ハンドシェイク**　：　DTR信号とXON/XOFF送出による。
  インプットデータバッファの容量が256バイト以下に減った時点でDTR=MARK,XOFF送出が行われる。
  インプットデータバッファの容量が256バイトを超えるまで回復した時点でDTR=SPACE、XON送出が行われる。
- **エラー処理**　：　パリティエラーのみ検出する。オーバーランエラーやフレーミングエラーは無視する。
  エラーを検出した場合、その部分のデータを削除します。
- **コネクタ**　：　25ピンDジェルコネクタ（メス）
- **入力信号**（コネクタ端子の信号配列と信号）

ピン番号	信号名	入力／出力	説明
2	TXD	出力	データ送出
20	DTR	出力	データ端末レディ
11	REV	出力	チャネル反転
3	RXD	入力	データ受信
4	RTS	出力	データ送出要求
7	GND	ー	信号グランドレベル
1	Chassis GND	ー	プリンタシャーシのグランド
その他	ー	ー	未使用

初期化

次の3通りの方法で初期化(イニシャライズ)されます。ただし、いずれの初期化の場合も、操作パネルで設定した初期設定値になるとともに操作パネルの設定で変更された値は保持されます。

	ハードウェア初期化	ソフトウェア初期化	リセットスイッチ初期化
方法	電源を再投入あるいはプリンタがパラレルインターフェイスから$\overline{\text{INIT}}$を信号を受信	ソフトウェアによりESC@コード(プリンタの初期化)を送る	操作パネル上の[印刷可]スイッチを押しながら[給紙/排紙]スイッチを押す
初期化内容	・プリンタメカニズム ・入力データバッファ ・ダウンロード文字、外字 ・プリントバッファ ・オートインターフェイス選択 ・エラー状態 ・スタンバイ状態	・プリントバッファ	・入力データバッファ ・プリントバッファ ・ダウンロード文字・外字

●コントロールコード一覧表

本プリンタはEPSON ESC/P™のESC/P24-J84に準拠したコントロールコードで動作します。以下に使用できるコントロールコードの一覧を示します。各コントロールコードの詳細は、別売の「EPSON ESC/Pリファレンスマニュアル」を参照してください。

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
印字・紙送り	印字復帰	CR	
	改行	LF	
	改ページ	FF	
	n/180インチ順方向紙送り	ESC J n	0≦n≦255
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC C n	1≦n≦127
	インチ単位ページ長設定	ESC C0 n	1≦n≦22
	ミシン目スキップ設定	ESC N n	1≦n≦127
	ミシン目スキップ解除	ESC O	
	右マージン設定	ESC Q n	1≦n≦255
	左マージン設定	ESC 1 n	0≦n≦255
改行量設定	1/8インチ改行量設定	ESC 0	
	1/6インチ改行量設定	ESC 2	
	n/180インチ改行量設定	ESC 3 n	0≦n≦255
	n/360インチ改行量設定	ESC +n	0≦n≦255
タブ設定	水平タブ位置設定	ESC D[n]k NUL	1≦n≦255 1≦k≦32
	垂直タブ位置設定	ESC B[n]k NUL	1≦n≦255 1≦k≦16
	水平タブ実行	HT	
	垂直タブ実行	VT	
	絶対位置設定	ESC $ n1 n2	0≦(n1＋n2×256)≦815
	相対位置設定	ESC ＼ n1 n2	-2448≦(n1＋n2×256)≦2447
文字セット	文字品位選択	ESC x n	n＝0,1
	書体選択	ESC k n	n＝0,1, 5
	プロポーショナル指定／解除	ESC p n	n＝0,1
	10cpi指定	ESC P	
	12cpi指定	ESC M	
	15cpi指定	ESC g	
	スーパー/サブスクリプト指定	ESC S n	n＝0,1
	スーパー/サブスクリプト解除	ESC T	
	ライン付き文字選択	ESC (-	

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
文字セット	縮小指定	SI	
	縮小解除	DC2	
	アンダーライン指定／解除	ESC - n	n＝0,1
	縦倍拡大指定／解除	ESC w n	n＝0,1
	国際文字選択	ESC R n	0≦n≦12
	文字コード表選択	ESC t n	n＝1,3
文字定義	ダウンロード文字定義	ESC & 0 n m [a0 a1 a2 p1...pk]m-n＋1	32≦n≦m≦127 0≦a0≦127 0≦a1≦37 －128≦a2≦127 0≦p1...pk≦255
	ダウンロード文字セット指定／解除	ESC%n	n＝0,1
	文字セットコピー	ESC:0n0	n＝0,1,5
	文字間スペース量設定	ESC SP n	0≦n≦127
	イタリック指定	ESC 4	
	イタリック解除	ESC 5	
	強調指定	ESC E	
	強調解除	ESC F	
	二重印字指定	ESC G	
	二重印字解除	ESC H	
	文字スタイル選択	ESC q n	n＝0,1,2,3
	倍幅拡大指定／解除	ESC W n	n＝0,1
	一括指定	ESC !n	0≦n≦255
漢字文字セット	漢字モード指定	FS &	
	漢字モード解除	FS.	
	漢字書体選択	FS k n	n＝0,1
	半角文字指定	FS SI	
	半角文字解除	FS DC2	
	1/4角文字指定	FS r n	n＝0,1
漢字文字定義	外字定義	FS 2 al a2[d]k	a1＝77H 21H≦a2≦7EH k＝72
漢字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS S n1 n2	0≦n1≦127 0≦n2≦127
	半角文字スペース量設定	FS T n1 n2	0≦n1≦127 0≦n2≦127

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
漢字装飾	漢字縦書き指定	FS J	
	漢字横書き指定	FS K	
	半角縦書き2文字指定	FS D[d]k	k＝4
	4倍角指定／解除	FS W n	n＝0,1
	漢字アンダーライン指定／解除	FS - n	n＝0,1,2
	漢字一括指定／解除	FS ! n	0≦n≦255
ビットマップイメージ選択	ビットイメージ選択	ESC* m n1 n2[d]k	m＝0〜4,6,32,33,38〜40 0≦n1≦255 0≦n2≦19 j=1,3 k=(n1＋n2×256)×j
	ビットイメージリピート選択	ESC* r1 r2 m n1 n2[d]k	m＝167 0≦r1≦255 0≦r2≦19 0≦n1≦180 n2＝0 j=3 k=(n1＋n2×256)×j
グラフィックス	グラフィックスモード選択	ESC(G10m	m=1, 49
	ラスターグラフィックス選択	ESC.cvhm nl n2[d]k	C=0,1
初期化	初期化	ESC @	
キャリッジ制御	単方向印字指定／解除	ESC U n	n＝0,1
	漢字高速印字指定／解除	FS x n	n＝0,1
CSF制御	カットシートフィーダ制御	ESC EM n	n=“1”,“2”,“3”,“R”
その他	半角文字スペース量補正	FS U	
	半角文字スペース量補正解除	FS V	
	バーコード印字	ESC (B n1 n2 j m s v1 v2 c[d]k	0≦n1≦255 0≦n2≦127 0≦j≦7 2≦m≦5 -3≦s≦3 45≦(v1+v2×256)≦3960 0≦C≦255 k=n1+n2×256

●英数カナ文字コード表

カタカナコード表

拡張グラフィックスコード表

マルチリンガルコード表

国際文字

●漢字コード表

この漢字コード表はJIS X0208-1990に準拠しています。

旧 JIS との違いについて

JIS X0208-1990 ／旧 JIS の字形変更

旧JISから字形を変更し、旧JISの字形を新たに追加した漢字

第 1 水準と第 2 水準の位置を変えた漢字

JIS X0208-1990で字形を変更した漢字

漢字コード表はJIS X0208-1990に準拠しています。使用するコンピュータまたはソフトウェアによっては、画面上に現われる漢字と実際に印刷される漢字が異なることがあります。それは、コンピュータ側では旧JISを使用している場合があるからです。

●エプソン／NEC コンピュータ使用について

エプソンPCシリーズおよびNEC PC-98シリーズのコンピュータと接続して使用する場合、次の点に注意してください。

ハードコピー

- BASICプログラム中でのCOPY命令は使用しないでください。
- ハードコピーはNEC PC-PR201Hに比べ、縦方向に約8/9倍になる場合があります。

リスト出力（BASIC の LLIST 命令または MS-DOS の TYPE 命令）

- 「漢字が印刷されない」または「英数カナ文字と漢字の比が1：2にならない」ことがあります。

MS-DOSのバージョンにより、漢字と英数カナ文字の比率を設定できるものがあります。設定はコンピュータのメモリスイッチで行います。しかし、DISK-BASICでは漢字と英数カナ文字の比を変更することはできません。

PC-PR201H との違い

PC-PR201Hとは、最小分解能と漢字構成ドットが次のように違うため、印刷結果が多少異なる場合があります。

相違点	PC-PR201H
最小分解能（インチ）	1/160
漢字構成ドット（縦×横）	22×22

画面ハードコピー、縦罫線、グラフィックなどの縦方向の連続印刷は、PC-PR201Hに比べて約8/9倍になることがあります。しかし、プリンタのページ長には影響はありません。

● EPSON Remote!について

パネル設定ユーティリティソフト“EPSON Remote! ”ついて説明します。

EPSON Remote!の概要

EPSON Remote!は、プリンタの各種設定をコンピュータから変更することができるユーティリティソフトウェアです。例えば給紙位置を変更したい場合、プリンタが離れた場所にあっても、プリンタの所まで行かずにプリンタの設定を変更することができます。

EPSON Remote!は、コンピュータを使用している環境に応じて、DOS版、NetWare版の中からどれかを選んで使用します。

DOS版	DOS用です。DOSアプリケーションを使って印刷する場合に使用します。 印刷の基本的な設定はアプリケーションソフトで行います。しかし、ソフトによっては一部設定が変更できないことがあります。そのようなときに、EPSON Remote!がお役に立ちます。
NetWare版	NetWare用です。NetWare環境下で印刷する場合に使用します。

EPSON Remote!には、さらに複数の種類があります。

ユーティリティ名		98用	DOS/V用
DOS版	スタートアップユーティリティ	○	○
	設定ユーティリティ	○	○
	簡易設定ユーティリティ	○	○
NetWare版	設定ユーティリティ	○	○
	簡易設定ユーティリティ	共通	

EPSON Remote!は、次の3つのユーティリティソフトとして利用できます。

①スタートアップユーティリティ
プリンタの初期設定値（電源投入時の設定）を変更するユーティリティです。プリンタのパネル設定で行えるほとんどすべての設定が変更できます。変更した内容はプリンタに記憶されます。また、変更した内容は、再度変更しない限り変わることはありません。電源スイッチをオフにしても、設定は保持されます。

②設定ユーティリティ
設定できる項目を使用頻度の高い項目に絞ったユーティリティです。設定を変更しても、以下のいずれかの操作によって変更前の状態に戻ります。
・リセット
・電源スイッチオフ
・プリンタモード変更

③簡易設定ユーティリティ
設定ユーティリティで設定した内容をファイルとして保存できます。印刷する前にファイルの実行コマンドを実行するだけで、プリンタの各種設定を一度に変更できます。設定を変更しても、以下のいずれかの操作によって変更前の状態に戻ります。
・リセット
・電源スイッチオフ
・プリンタモード変更

DOS版を使う

・使用する場合のハードウェア条件は以下のとおりです。
使用できるコンピュータ ： エプソンPCシリーズ
NEC PC-9800シリーズ、PC98XL2・RLシリーズ、PC-H98シリーズ
（解像度ーノーマル／ハイレゾモード）
各社DOS/V仕様パソコン
・使用できるOS ： MS-DOS Ver3.1以上
DOS/V Ver5.x以上

ポイント

DOS/V対応パソコンでEPSON Remote!を使用する場合は、以下の点に注意してください。
・CONFIG.SYSファイルに［DEVICE=PRNESCP.SYS］*がある場合は、これを削除してください。
＊お使いのDOSのバージョンにより異なる場合があります。
・CONFIG.SYSファイルに［DEVICE=ANSI.SYS］がない場合は、これを追加してコンピュータを再起動してください。
・DOS/Vの動作モードは、日本語モードにしておいてください。

●インストール

ステップ **1** **DOSを起動します。**

DOSが起動すると、画面にプロンプト（A:\>など）が表示されます。

注意

> **EPSON Remote!は、Windows上の「DOSプロンプト」画面からはインストールできません。必ず通常のDOS画面上でインストールを行ってください。**

ステップ **2** **セットアップディスク1をセットします。**

CD-ROMをお使いの方は、プリンタユーティリティCD-ROMをセットします。

ステップ **3** **DOSプロンプト（A:\>など）で、ディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド（SETUP）を半角で入力し、リターンキーを押します。**

セットアップ画面が表示されます。

例：A:\>B:\SETUP

下線部のみ入力します。ディスクをBドライブにセットした場合。

ステップ **4** **お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。**

インストール先ディレクトリの確認画面が表示されます。

お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。

ステップ **5** **インストール先ディレクトリを確認し、よければリターンキーを押してインストールを実行します。**

EPSON Remote! ユーティリティセット アップ
コピー先のディレクトリを入力してください。
Enterでセットアップを開始し、Escで中止します。
[C:¥epremote]

ここにインストール先ディレクトリ名が表示されます。変更する場合は、変更するディレクトリ名をここに入力してからリターンキーを押します。

ステップ **6** **終了のメッセージが表示されたら、何かキーを押してください。**

DOSプロンプトに戻ります。

ポイント

- **インストール先ディレクトリについて**
  初期値では、ルートディレクトリにEPREMOTEディレクトリを作成し、その中にユーティリティをインストールします。
- **ユーティリティの起動用バッチファイルについて**
  ユーティリティの起動用バッチファイルはルートディレクトリにインストールされます。起動用バッチファイルは以下のとおりです。
  スタートアップユーティリティ：PRNSET.BAT
  設定ユーティリティ：PANEL.BAT
  バッチファイルを実行してもEPSON Remote!が起動しない場合、バッチファイルのあるディレクトリ（初期値はルートディレクトリ）がパスに指定されていないことがあります。パスの指定を確認してください。

●スタートアップ・設定ユーティリティの使いかた

ここでは、ページ長F(プッシュトラクタ、連続紙)の変更のしかたを例に挙げて、スタートアップユーティリティと設定ユーティリティの具体的な使いかたを説明します。

ポイント

- 設定ユーティリティは、スタートアップユーティリティの項目を少なくしたものですので、スタートアップユーティリティと設定ユーティリティの使いかたは基本的に同じです。どちらも以下の手順を参考にしてください。
- 用紙サイズ以外の項目の変更のしかたも、基本的に同じです。以下の手順を参考にして、設定を変更してください。

ステップ **1** **DOSプロンプト(A:\>など)で、ユーティリティの起動用バッチファイルを実行します。**

スタートアップユーティリティの場合:PRNSET
　例:A:\>PRNSET(下線部のみ入力します)
設定ユーティリティの場合:PANEL
　例:A:\>PANEL(下線部のみ入力します)

ユーティリティが起動し、プリンタ選択画面が表示されます。2回目以降の起動時にはプリンタ選択画面は表示されず、最初から設定画面が表示されます。このときはステップ4へ進んでください。

ポイント

DOS/V対応パソコンを使用していて、ユーティリティが起動しない場合は、「DOS版を使う」(137ページ)の「ポイント」をお読みください。

ステップ **2** **お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。**

プリンタモード設定画面が表示されます。

ステップ **3** **ESC/PSにカーソルを移動し、リターンキーを押します。**

設定画面が表示されます。

ポイント

プリンタモードは、基本的にESC/PSを選択してください。ESC/PSを選択して設定変更しても意図した印刷結果が得られない場合は、次の表を参照してプリンタモードを変更してください。

アプリケーションでのプリンタ設定	プリンタモード
ESC/P(VP系)	ESC/P
PC-PR	ESC/PS

ステップ **4** **ユーティリティの設定を確認します。**

選択されているプリンタ・プリンタモード・出力ポート（画面右上に表示）が使用するプリンタの設定と異なる場合は、使用するプリンタの設定に変更します。

プリンタ・プリンタモード → f･10キーを何回か押すことで、変更可能な画面に移ります。
出力ポート → f･4キーを押すことで変更されます。

設定ユーティリティの場合、出力先をファイルにすると、これから変更する設定をファイルとして保存します。保存したファイルは、簡易設定ユーティリティで使用します。

ステップ **5** **ページ長Fにカーソルを移動し、リターンキーを押します。**

連続紙のページ長の設定が表示されます。

ステップ **6** **実際にセットしてある連続紙のページ長にカーソルを移動し、リターンキーを押します。**

ステップ **7** **設定実行キー（f・1）を押します。**

設定を実行するかどうか確認してきますので、実行するときはYキー、しないときはNキーを押します。設定を実行すると、ユーティリティが終了し、DOSプロンプトに戻ります。

これで設定変更は終了です。この後、アプリケーションソフトウェアから印刷を実行してください。

スタートアップユーティリティの場合、変更した内容はプリンタに記憶され、再度変更しない限り変わることはありません。他の人とプリンタを共有している場合は、設定を元に戻しておくことをおすすめします。

NetWare 版を使う

NetWare版EPSON Remote!は、NetWare環境下で印刷する場合にお使いください。
使用する場合のハードウェア条件は以下のとおりです。

サーバ／クライアントコンピュータおよびドライバは、ノベル株式会社による認定品が必要です。

NetWareでは、プリントサーバに接続されたプリンタを、複数のクライアントが共有できます。

サーバコンピュータ
- ・NEC PC-9800シリーズ、PC-H98シリーズ、SV-H98シリーズ
- ・SONY QuaterLシリーズ
- ・日本IBM PS/55、PS/Vシリーズ
- ・日本DEC DEC PCシリーズ
- ・各社DOS/V対応パソコン

NOS
- ・NetWare3.1J、3.11Jまたは3.12J
- ・ESC/Pプリンタドライバ

クライアントコンピュータ
NetWare(MS-DOS)版
- ・エプソンPCシリーズ
- ・NEC PC-9800シリーズ(ディスプレイ解像度：ノーマル／ハイレゾモード)

NetWare(DOS/V)版
- ・日本IBM PS/55、PS/Vシリーズ
- ・SONY QuaterLシリーズ
- ・日本DEC DEC PCシリーズ(ディスプレイ解像度：VGAモード)
- ・各社DOS/V対応パソコン

クライアントOS
NetWare(MS-DOS)版
- ・MS-DOS3.1以上

NetWare(DOS/V)版
- ・IBM DOS J5.02/V以上
- ・MS-DOS 5.0/V以上

クライアントドライバ
- ・IPXドライバ
- ・ODIドライバ

プリンタ接続状態
- ・リモート、ローカルの双方の形態に適用

NetWare版EPSON Remote!には、エプソンPCシリーズ／NEC PC-9800シリーズ用のMS-DOS用と、DOS/Vコンピュータ用のDOS/V用があります。クライアント側のシステムに合わせて選択してください。

ポイント

NetWare用EPSON Remote!は、スーパーバイザ（ネットワーク管理者）による設定とクライアントマシン設定の双方が必要です。インストールする場合は必ずスーパーバイザにご相談ください。
NetWare版EPSON Remote!を使用する際は、以下の点に注意してください。
- **プリンタモードは、必ずESC/Pモードに変更してください。**
- **コード変換：非変換の環境で使用してください。**
  CAPTUREコマンドでCONVオプション（コード変換：変換）を使用しないでください。もし、使用した場合は、必ずCONVオプションで再度CAPTUREコマンドを実行してください。NetWareコマンドについては、NetWareに付属のプリントサーバマニュアルを参照してください。

- **NetWare版のEPSON Remote!は、クライアント側の操作で、プリンタの設定状態を変更するだけでなくCAPTURE機能の実行／終了も指定できます。**
  CAPTURE機能の実行を利用することで、CAPTUREコマンドオプションのパラメータを詳しく知らなくても、EPSON Remote!と同じ操作でオプションが指定できるので便利です。
- **NetWare版のEPSON Remote!にはスタートアップユーティリティの機能はありません。プリンタの電源投入時の設定を変更したい場合はDOS版を使用してください。**

DOS版の場合

1）DOS版のEPSON Remote!をインストールします（138ページ参照）。
2）EPSON Remote!のプログラムがあるディレクトリに変更します。
　例：A:\>CD EPREMOTE（ディレクトリがEPREMOTEの場合）
3）次の手順でスタートアップユーティリティを起動します。
　A:\>CASTOFF ALL*
　A:\>PRNSET
　＊ CASTOFF ALLを実行した後は、サーバーおよび他のワークステーションからのメッセージはすべて無視されますのでご注意ください。
4）プリンタの各機能を設定します（140ページ参照）。
5）設定終了後に次のコマンドを入力します。
　A:\>CASTON

●スーパーバイザによるインストール

スーパーバイザは、一般ユーザーの使用に先立って、ネットワークドライブ（ボリューム：SYS）に対して、次のようにインストールプログラムを実行してください。

ステップ **1** **セットアップディスク1をセットします。**

CD-ROMをお使いの方は、プリンタユーティリティCD-ROMをセットします。

ステップ **2** **DOSプロンプト（A:\>など）で、ディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド（SETUP□/SUPER）を半角で入力し、リターンキーを押します。**

セットアップ画面が表示されます
例：A:\>B:\SETUP□/SUPER
　下線部のみ入力します。□はスペース。ディスクをBドライブにセットした場合。

この後は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

ポイント

NetWare版EPSON Remote!を使用する場合、Printer Reset BufferとPrinter Setup Bufferに十分なメモリを確保するため、NetWareのコンフィグレーションファイルSHELL.CFGまたはNET.CFGに次の2行を追加しておいてください。
PRINT HEADER=255
PRINT TAIL=26以上*
*** EPSON Remote!を使用するには、26のPRINT TAILが必要になります。他のシステム条件も合わせて、この値を設定してください。**

●一般ユーザーのインストール

一般ユーザーは、各クライアントマシンで、次のようにインストールプログラムを実行してください。

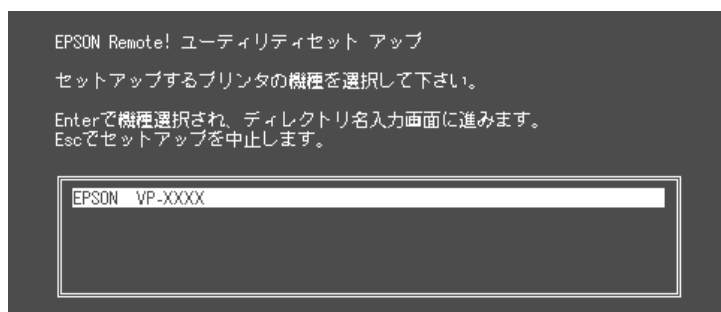
ステップ **1** **セットアップディスク1をセットします。**

CD-ROMをお使いの方は、プリンタユーティリティCD-ROMをセットします。

ステップ **2** **DOSプロンプト（A:\>など）で、ディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド（SETUP□/NETWARE）を半角で入力し、リターンキーを押します。**

セットアップ画面が表示されます。
例：A:\>B:\SETUP□/NETWARE
　下線部のみ入力します。□はスペース。ディスクをBドライブにセットした場合。

ステップ **3** **お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。**

インストール先ディレクトリの確認画面が表示されます。

お使いの機種名にカーソルを移動し、リターンキーを押します。

ステップ **4** **インストール先ディレクトリを確認し、よければリターンキーを押してインストールを実行します。**

ここにインストール先ディレクトリ名が表示されます。変更する場合は、変更するディレクトリ名をここに入力してからリターンキーを押します。

終了のメッセージが表示されたら何かキーを押してください。DOSプロンプトに戻ります。

インストール先ディレクトリについて
初期値では、ルートディレクトリにEPREMOTEディレクトリを作成し、その中にユーティリティをインストールします。

●設定ユーティリティの使い方

設定ユーティリティは、クライアントマシンからCAPTURE機能を実行したり、プリンタの設定状態を変更できます。設定した内容は、[ENDCAP]または[LOGOUT]が実行されない限り有効です。

- **設定ユーティリティは、印刷の前に設定しておく必要があります。アプリケーションソフトウェアを起動する前に設定ユーティリティを実行し、各設定をしてください。**
- **NetWare版EPSON Remote!で設定すると、CAPTUREコマンドなどで設定されたプリントジョブ環境が上書きされるため、前の設定は無効になります。**

設定ユーティリティの操作手順

ステップ **1** **MS-DOSの画面からNetWareにログインします。**

NetWareのファイルサーバにログインした後、画面にプロンプト(A:\>など)が表示された状態にします。

ステップ **2** **ユーティリティの起動用バッチファイルを実行します。**

MS-DOSの場合:EPREMOTE98
　例:A:\>EPREMOTE□98　(下線部のみ入力します。□はスペース)

DOS/Vの場合:EPREMOTE DOSV
　例:A:\>EPREMOTE□DOSV　(下線部のみ入力します。□はスペース)

プリンタの選択画面が表示されます。中止する場合はESCキーを押してください。

ステップ **3** **プリンタ名を選択します。**

矢印キーでカーソルをお使いの機種名に移動し、リターンキーを押して選択します。

ステップ **4** **プリンタモードを選択します。**

矢印キーでカーソルを使用するプリンタモードに移動し、リターンキーを押して選択します。機能選択画面が表示されます。

ステップ **5** **機能を選択します。**

矢印キーでカーソルを使用する機能に移動し、リターンキーを押すと、機能が実行されます。この画面から、前のプリンタ選択画面に戻るときはESCキーを、設定を終了するときはf･2キーを押します。

（表示画面の例）

各機能を実行します。

CAPTURE機能の実行　→149ページ
プリント環境の設定　→150ページ
CAPTURE機能の終了　→149ページ

ステップ **6** **設定後、ユーティリティを終了します。**

各機能で設定を終了すると、ステップ5の画面に戻ります。ここで、「終了」を選択するかf･2キーを押すと設定が有効になり、設定ユーティリティを終了します。

CAPTURE 機能の実行

機能選択画面で「CAPTURE機能の実行」を選択すると、CAPTUREコマンドで指定できるCAPTUREオプションが設定できる画面になります。ここでは、プリントバナーやタイムアウト、オートエンドキャップなどのオプションがまとめて設定できます。

ステップ **1** **ファイルサーバ名とプリントキュー名を指定します。**

ファイルサーバー名とプリントキュー名をそれぞれ該当欄に入力します。

ステップ **2** **オプションを選択します。**

矢印キーで変更するオプションにカーソルを移動してリターンキーを押すと、変更できる設定値の一覧が表示されます。画面下の説明欄には、現在指定しているオプションの説明が表示されます。

ステップ **3** **設定を変更します。**

矢印キーで設定値を選択してリターンキーを押すと、設定が変更されます。
変更しないときは、ESCキーを押すと、設定値を変更せずに項目選択画面に戻ります。

ステップ **4** **実行項目を選択します。**

f•1、f•3のファンクションキーで実行項目を選択します。
ファンクションキーには、次のような機能があります。

f•1： 設定した内容を記憶し、CAPTURE機能を実行します。
f•3： ユーティリティ上の設定を購入時の設定に戻します。

CAPTURE 機能の終了

機能選択画面で「CAPTURE機能の終了」を選択すると、CAPTUREを終了するポートを選択する画面になります。
矢印キーでポートにカーソルを移動してリターンキーを押すと、CAPTURE機能が終了します。

プリント環境の設定

機能選択画面で「プリント環境の設定」を選択すると、プリンタの設定状態が変更できる画面になります。
ここでは、給紙選択や縮小、節電などの設定がまとめて設定できます。

ステップ1 項目を選択します。

矢印キーで変更する項目にカーソルを移動してリターンキーを押すと、変更できる設定値の一覧が表示されます。画面下の説明欄には、現在カーソルが指定している設定項目の説明が表示されます。（すべてが表示されないときは、画面左下に「UP：前ページ」、「DOWN：次のページ」などの指示がでますので［ROLL UP］／［PAGE UP］、［ROLL DOWN］／［PAGE DOWN］キーでページを切り替えてください。

ステップ2 設定を変更します。

矢印キーで設定値を選択してリターンキーを押すと、設定が変更されます。
変更しないときは、ESCキーを押すと、設定値を変更せずに項目選択画面に戻ります。

ステップ3 実行項目を選択します。

f･1〜f･3のファンクションキーで実行項目を選択します。
ファンクションキーには、次のような機能があります。

f･1： 設定した内容を記憶し、プリンタの状態を変更します。
f･2： コンピュータ本体の出力ポートを切り替えます。押すたびに、画面右上の出力の欄が変更します。
出力ポートではファイルも選択できます。ファイルを選択すると、簡易設定ユーティリティで使用する出力ファイルを作成できます。簡易設定ユーティリティについては151ページを参照してください。
f･3： ユーティリティ上の設定を購入時の設定に戻します。

簡易設定ユーティリティの使いかた

EPSON Remote!には、設定ユーティリティで設定した内容を実行ファイルとして保存しておき、印刷前に実行する簡易設定ユーティリティ機能があります。

●実行ファイルの作成

ステップ **1** **設定ユーティリティを起動し、設定を変更します。**

ステップ **2** **出力先をファイルにします。**

f･4キーを押して、画面表示右上の「出力」をファイルにします。

ステップ **3** **設定を実行します。**

f･1キーを押して設定を実行すると、画面下の説明欄に確認のメッセージが表示されます。

ステップ **4** **メッセージにしたがって、「サブディレクトリ名」と「ファイル名」を入力します。**

ポイント

- ファイル名の拡張子は自動的に「_PR」になるので、入力は不要です。
- ファイル名は、「A4._PR」や「B5._PR」のように設定値がわかるような名称にしておくと便利です。
- 複数のプリンタを使用するときは、プリンタごとに専用のサブディレクトリを作成して、ファイルをまとめておくと間違えずに使えます。

●簡易設定ユーティリティの実行

ステップ **1** **MS-DOSまたはDOS/Vの画面にします。**

画面にプロンプト（A>など）が表示された状態にします。

ここでは、ドライブAにEPSON Remote!がインストールされているとします。

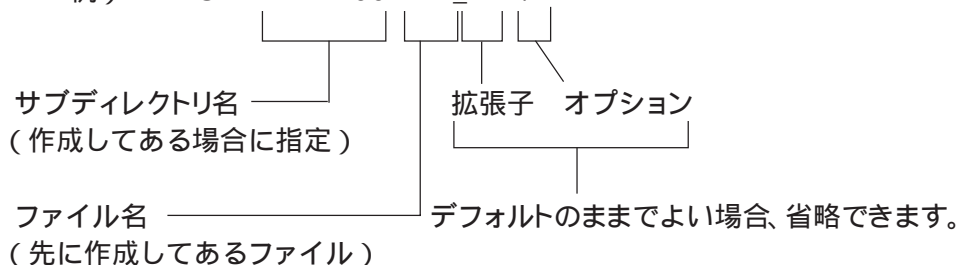
ステップ **2** **ユーティリティを実行します。**

次のように出力ファイルを指定して、ユーティリティを実行します。実行コマンドはDOS、DOS/V、NetWareによって異なります。

エプソンPCシリーズおよびNEC PC-9800シリーズ用DOSの場合

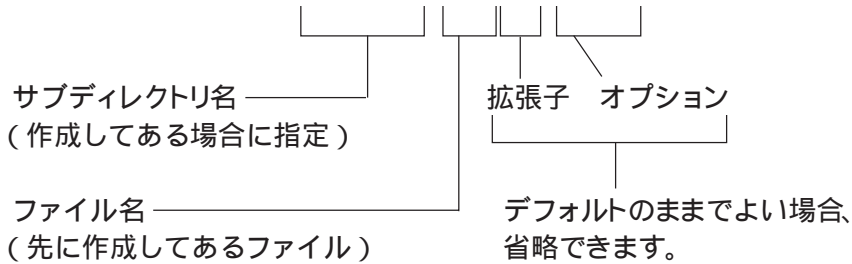
A>PSET□[ファイル名]□[オプション]↵　　　（□はスペース）

[ファイル名]：出力データファイルの名前。サブディレクトリがある場合は、ディレクトリ名を指定してください。拡張子が_PRの場合は、拡張子を省略できます。

[オプション]：設定を実行するポートの指定。省略すると/Pに指定されます。
パラレルインターフェイスの場合 ..... /P
シリアルインターフェイスの場合 ...... /S

DOS/Vの場合

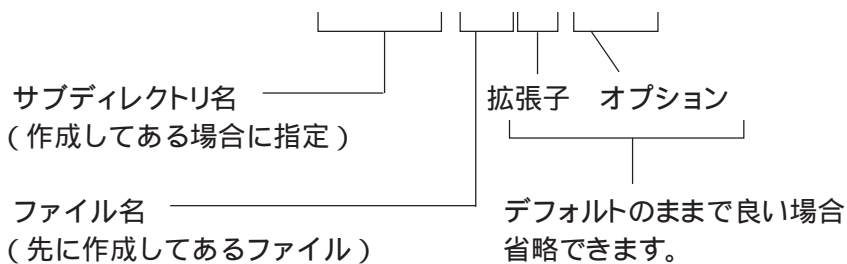
A>PSETDV□[ファイル名]□[オプション]↵　　　　　(□はスペース)

[ファイル名]：出力データファイルの名前。サブディレクトリがある場合は、ディレクトリ名を指定してください。拡張子が_PRの場合は、拡張子を省略できます。

[オプション]：設定を実行するポートの指定。省略するとLPT1に指定されます。
パラレルインターフェイスの場合 ... /LPT1, /LPT2, /LPT3
シリアルインターフェイスの場合 .... /COM1, /COM2, /COM3, /COM4

NetWareの場合

A>PNETSET□[ファイル名]□[オプション]↵　　　　　(□はスペース)

[ファイル名]：出力データファイルの名前。サブディレクトリがある場合は、ディレクトリ名を指定してください。拡張子が_PRの場合は、拡張子を省略できます。

[オプション]：設定を実行するポートの指定。省略するとLPT1になります。

出力ファイルが実行され、プリンタの設定状態が変更されます。

●用語の説明

以下に説明している用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

アルファベット

A

A3　297mm(横)×420mm(縦)の用紙サイズです。

A4　210mm(横)×297mm(縦)の用紙サイズです。

ACKNLG　インターフェイス信号の1つで、プリンタがデータを正しく受け取ったことをコンピュータに知らせるためのものです。

ASCII　American Standard Cord for Information Interchange／情報交換用米国基準コードの略で、文字コードや制御コードの標準規格です。国内ではASCIIにはないカナ文字を扱うため、JISコードを使用します。

B

B4　257mm(横)×364mm(縦)の用紙サイズです。

B5　182mm(横)×257mm(縦)の用紙サイズです。

C

CPI(Characters Per Inch)　25.4mm{1インチ}の範囲で印字出来る文字数を表します。

CPL(Characters Per Line)　1行に印字できる文字数を表します。

CPS(Characters Per Second)
1秒間に印字できる文字数を表す単位です。

E

EPSON Remote!(エプソンリモート)
プリンタの各種設定をコンピュータから変更できるようにするユーティリティソフトです。

ESC(Escape／エスケープ)
拡張用の制御コードで、次に続くコードと組み合わせて1つの機能を実現します。

ESC/P(イーエスシーピー)　Epson Standard Code for Printerの略で、セイコーエプソンのターミナルプリンタが持つ機能とコントロールコード体系を標準化したものです。

F

FF(Form Feed／フォームフィード)
改ページを行う制御コードです。

J

JIS(Japanese Industrial Standard／ジス)
日本工業規格のことで、文字コードや漢字コードを規定しています。

L

LF(Line Feed／ラインフィード)
改行をする制御コードです。

数字

10CPI	25.4mm{1インチ}に10文字印字できる基本的な文字ピッチです。パイカとも呼ばれます。
12CPI	25.4mm{1インチ}に12文字印字できる文字ピッチです。エリートとも呼ばれます。
15CPI	25.4mm{1インチ}に15文字印字できる文字ピッチです。
16進ダンプ機能	コンピュータから送られたデータを16進数で印字する機能です。この機能によってコンピュータからデータが正しく送られているかを確認することができます。

アイウエオ

ア	**アプリケーションソフト**	具体的な処理を行なうためのソフトウェアです。
イ	**印刷可**	プリンタがホストコンピュータからのデータ受信をできる状態です。
	インターフェイス	プリンタとコンピュータのように機能や条件の違うものの間で、データなどをやりとりするためのハードウェアやソフトウェアのことです。
	インチ	長さの単位で、1インチは約25.4mmです。
エ	**英数カナ文字**	英数文字とカナの総称です。コンピュータやプリンタで扱う文字には、1バイトで表される文字と、2バイトで表される文字があります。このうち、1バイトで表される文字を英数カナ文字といいます。
カ	**改行**	印字位置を次の行に移すことです。
	改ページ	印字位置を次のページの先頭位置に移すことです。
	紙ホチキス紙	複写紙の綴じかたの1つで、複数枚の用紙を紙ホチキス(ギャザー)で綴じている用紙のことを指します。
キ	**給紙**	用紙ガイドやプッシュトラクタにセットされている用紙を印刷開始位置まで紙送りすることです。
	給紙位置	用紙内で印刷が開始される位置です。
ケ	**桁数**	プリンタが1行に印字できる最大文字数です。文字ピッチ10CPIの英数カナ文字を基準として桁数を表します。桁をカラムと呼ぶこともあります。
コ	**高速印字**	高品位の文字を構成しているドットを間引きして、約2倍の速度で印字します。文章の下書き印字などに使用します。
	コントロールコード	プリンタの機能をコントロールするために送るコードのことです。

	用語	説明
シ	**自動改行**	指定のコードが入力されたときに自動的に改行する機能です。
	受信バッファ	コンピュータからのデータを一時的に蓄えるメモリです。受信バッファを設定すると効率よくコンピュータを使用できます。
	初期設定値	電源をオンしたときに設定される設定です。
セ	**セルフテスト**	プリンタ単体で印字動作や印字の確認をするテストです。
テ	**ティアオフ機能**	連続紙の印刷したページを切り離すために、印刷終了後ミシン目位置まで用紙を送り出す機能です。
ト	**ドラフト**	高品位に対する文字品位で、英数カナ文字のみを高速で印字するときに指定します。
ハ	**排紙**	用紙をプリンタから排出することです。
ヒ	**微小送り**	ページ先頭位置や印刷位置を微量調整するための機能です。
フ	**プラテン**	プリンタの内部にある、用紙を支持する細長い円筒の部分のことです。
マ	**マルチウェイローディング機能**	連続紙を使用中に、連続紙を取りはずすことなく単票用紙が印字できる機構です。
ミ	**ミシン目スキップ**	連続紙のミシン目をはさんで25.4mm{1インチ}分飛び越えて印刷することです。
リ	**リセット**	各設定を初期設定に戻すことです。
レ	**連続紙**	ページごとにミシン目のついている用紙です。両端の穴をトラクタにセットして使用します。
	連量	四六版(788×1091mm²)の用紙1000枚の重量をkgで表したものです。
ロ	**ロジカルシーキング**	双方向印字で次の行に改行するとき、現在の印字位置から最短で移動するように次印字位置を考慮して印字を行う機能です。

●サポートのご案内

お客さまへの各種サービス、サポートは次の通りです。

エプソン FAX インフォメーション

EPSON製品に関する最新情報をファックスでお知らせします。
ファックス付属の電話機(プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種)からおかけください。
ファックス番号:本書裏表紙をご覧ください。

エプソンインフォメーションセンター

EPSONプリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。
電話番号 : 本書裏表紙をご覧ください。
受付時間 : 午前9:00〜午後5:30
月曜日〜金曜日(祝日および弊社指定の休日を除く)

インターネット・パソコン通信サービス

EPSON製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、パソコン通信による情報の提供を行っています。
また、Windowsプリンタドライバは、SEIKO EPSON WWWサーバおよびパソコン通信による提供が行われています。最新プリンタドライバを組み込む場合は、ダウンロードした圧縮ファイルを解凍後、SETUP.EXEを実行してインストールしてください。

■インターネット
エプソン販売 www SERVER : http://www.i-love-epson.co.jp
(ソフトウェアダウンロードサービス)

■パソコン通信名
NIFTY-Serve :EPSON information Forum (コマンド:GO FEPSONI)
PC-VAN :EPSON情報コーナー (コマンド:J EPSON)
 は、半角スペースです。

エプソンパソコンスクール

「EPSON EDUCATION SYSTEM (EES)」は、「コンピュータを学ぶ」というよりも、生活や仕事に密着したコンピュータの知識が習得できる画期的なパソコンスクールです。DOSアプリケーションソフトとWindowsのそれぞれに対し、基礎コースと実践コースを用意しました。
基礎コースは、これからパソコンを始めようとしている方に、最低限必要となる知識を学んでいただけます。
実践コースは、実務に役立つパソコンの使い方が身につくようなカリキュラムを組んでおります。
EESについての詳細は、エプソンFAXインフォメーションでご確認ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、慌てずに、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないかを必ずご確認ください。

保証書の発行について

ご購入の製品には、お客様情報カードを添付しています。お客様への正式保証書の郵送やお客様へ有益な情報・ご連絡を差し上げるために使用いたします。回答ハガキを切り取り、必要事項をご記入の上必ずご返送ください。
なお、お客様情報カードの仮保証書は、正式保証書が届くまでの間にプリンタの故障などで修理を依頼される場合に必要となります。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないことを確認の上大切に保管してください。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
■お買い求めいただいた販売店

■エプソンサービス認定店
エプソンサービス認定店は全国に約120店ございます。サービス認定店の詳細は、最寄りのエプソンサービスセンターまでお問い合わせください。

■エプソンサービスセンター
電話番号： 本書裏表紙をご覧ください。
受付時間： 午前9:00～午後5:30
月曜日～金曜日（祝日および弊社指定の休日を除く）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の3種類の保守サービスを用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。

種類	概要	サービス料金・支払い方法
年間保守契約	故障が発生した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行ないます。年間一定の料金をお支払い頂くだけで、修理のつど修理代・部品代の費用がかかりませんので、予算化が可能です。	年間一定保守料金 一括前払いにて、指定銀行にお振込み頂きます。 ＊消耗品（リボンカートリッジ、用紙など）は料金に含まれません。
出張修理スポット	故障が発生した場合、ご連絡頂いて数日以内に技術者が製品の設置場所に出向き、現地にて修理を行ないます。	修理完了後、都度現金にてお支払い頂くか指定銀行にお振り込み頂きます。
持込修理	故障が発生した場合、お客様に修理品を送付して頂き、一旦お預りして修理致します。	修理完了品をお届けした際に、現金にてお支払い頂きます。

保証期間内に製品が故障した場合、「保証書」もしくは「仮保証書」の条項に従い、無償にて修理を行ないます。保証期間内に修理の場合は、必ず「保証書」をご提示願います。
保証条項につきましては、「保証書」をご確認下さい。

索引

アルファベット

数字

アイウエオ

修理依頼票

□初めて故障
□再修理

※お手数をおかけし申し訳ありませんが、迅速・確実な修理をするために、必要事項をご記入のうえ、必ず製品に添付してください。

機種名		製造番号	
お買上店名		お買上日	年 月 日
修理品への添付	□保証書 □ケーブル（種類： ） □ AC コード □リボンカートリッジ □（ ） □（ ） □（ ）		

☆発生の日時／頻度について、ご記入ください

初めて故障した日時	年 月 日
故障が発生する時	電源ON時 ・ 使用開始直後 ・ 使用開始後 分／時間してから ・ 電源OFF時
故障頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき（ 時間／日に 回）・まれ（ 週間に 回）

☆自己診断（セルフテスト）での結果について、ご記入ください

セルフテスト結果	良好・異常（ ）

☆故障内容について、文字／イラスト等、具体的にご記入ください

お願い：印刷結果に関する故障は、印刷サンプルを添付してください。用紙によって発生する場合は該当紙の添付をお願いします。
また、特定のファイルで現象が発生する場合、お差し支えなければ、フロッピーディスクにてファイルの添付をお願いします。

☆お客様のコンピュータについて、ご記入ください

コンピュータ	メーカー名： 機種：
メモリ	標準 MB ＋ 増設 MB（メーカー： 型番： ）＝合計 MB
インターフェイス	パラレル ・ 双方向パラレル ・ SCSI ・ シリアル ・ その他（ ）
接続ケーブル	メーカー名：

☆故障発生時のソフトウェアをご記入ください

OS	□MS-DOS （メーカー： Ver. ） □漢字 Talk （メーカー： Ver. ） □Windows 3.1（メーカー： Ver. ） □ネットワーク（メーカー： Ver. ） □Windows 95（メーカー： Ver. ） □その他 （メーカー： Ver. ）
ドライバ	メーカー： ドライバ名： Ver.
アプリケーション	メーカー： アプリケーション名： Ver.
一日の使用時間／印字あるいは取り込み枚数	時間／ 枚（用紙サイズ ）

フリガナ お名前	電話番号 TEL： FAX：
ご住所 〒 －	お客様 ID コード （取得済みの方のみ）

＊ 保証期間中の修理依頼については、必ず保証書を添付してください。

キリトリセン

電波障害自主規制について

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。